取扱説明書
ROAD EXPLORER MM 6.0

DELICA D:5 オリジナル10.1型ナビゲーション

このたびはお買い上げいただき
ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

本書の「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しております。必ず内容をよくお読みになり、正しくお使いください。→ P.4

●仕様変更等により、本書の内容の一部が、本機と一致しない場合があります。
あらかじめご了承ください。

●本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 および 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

安全のため、走行中は操作できる項目や表示される項目が限定されます。
車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ 本書に記載されているマークの意味

⚠ 警告
指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

⚠ 注意
指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

❗ お願い
「警告」や「注意」には該当しませんが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準 備
操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

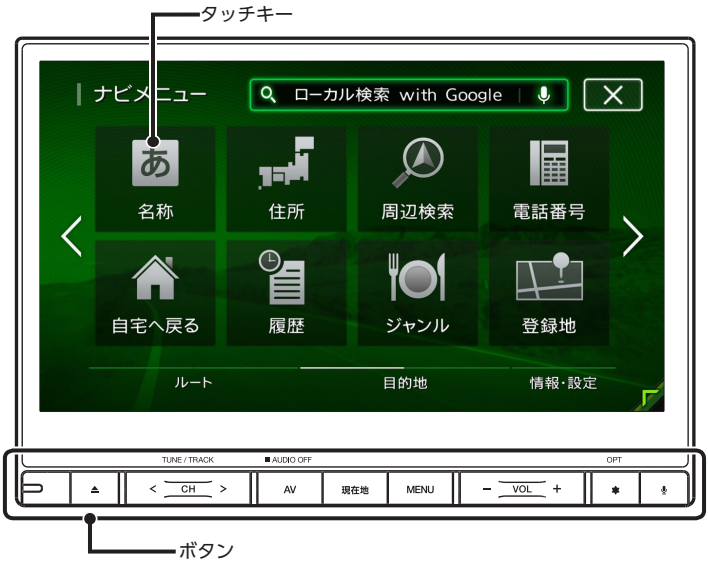
お知らせ
操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO
本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ボタンとタッチキーについて

操作パネルに配置されているボタンを操作するとき、本書では以下の例のように表記しています。
操作手順や説明文内に記載されている場合、該当のボタンを押してください。
例：MENU 現在地 ⏏

画面上のタッチキーを操作するとき、本書では以下の例のように表記しています。
操作手順や説明文内に記載されている場合、該当のタッチキーを操作してください。
例：目的地 情報・設定 はい



Memo

本書の構成

操作の前に→ P.14

地図画面の見かた→ P.32

目的地を探す→ P.42

ルートの設定と案内→ P.57

情報を利用する→ P.72

通信機能を利用する→ P.81

スマートフォンと連携する→ P.93

オーディオ・ビジュアルを楽しむ→ P.95

各種設定→ P.140

アクセサリーを使う→ P.163

ナビゲーションを更新する→ P.177

困ったときに…→ P.181

付録→ P.199

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

運転者や周囲の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよくご理解されてから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使いかたや取り付けかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

（禁止）	してはいけない内容です。
（必ず行う）	必ず行っていただく内容です。
（注意）	注意しなければならない内容です。

警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

（禁止）

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

（禁止）

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。

分解や改造をしない

（禁止）

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

（禁止）

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

（禁止）

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

(必ず行う)

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

(必ず行う)

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルートガイド(推奨ルートや音声案内)などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

(必ず行う)

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

(注意)

SDメモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

注意

(禁止)

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

(必ず行う)

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

(注意)

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

(注意)

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損、変形する原因となります。

- 上に物を置かない
- 手で強く押さない
- ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない
- 水滴やジュースなどの飲みものをかけない

(注意)

操作パネルの開閉時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

お願いとお知らせ

■ 液晶表示について

●画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
●タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.217

■ 使用環境について

●バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
●本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中や車両の電源をOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
●キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーを離してご使用ください。
●本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

■ ルートについて

●検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
●音声データにより聞き取りにくい名称があります。
●提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
●ルート（経路）探索ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して探索してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、探索できない場合があります。

■ 保証期間内の保証に関するご注意

●保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
●保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
●本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
●次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
・お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

■ 著作権について

●本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。
取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

目次

安全にお使いいただくために 4
安全に関する表示 4
目次 7

操作の前に 14

各部の名称とはたらき 14
操作パネル 14
本体（操作パネル開） 16
基本的な使いかた 17
電源を入れる 17
スタートアップガイド画面について 17
操作パネルを開閉する 17
Quad View画面について 18
Quad View画面のレイアウトを切り替える 19
Quad View画面の表示モードを切り替える 20
Quad View画面の各エリアを入れ替える 21
Quad View画面のAPPエリアにショートカットを表示させる 22
メインメニュー画面を表示する 22
画面を非表示／時計表示にする 23
時計の表示を設定する 23
文字パネルを操作する 23
文字の種類を切り替える 23
文字を入力／変換する 24
予測候補を表示する 24
フリック・スワイプ・ピンチアウト／イン操作について 25
リストをスクロールする 26
50音タブを使って選ぶ 26
リストの項目を選択／解除する 26
リストの項目を並べ替える 27
リストの項目を絞り込む 27
条件を指定して絞り込む 27
近隣県を指定する 28
施設情報を確認する 28
関連する地図を表示する 29
数値を増減する 29
自宅を登録する 29
登録済みの自宅情報を編集する 29

地図画面の見かた 32

現在地の地図画面 32
現在地メニューを表示する 33
地図を拡大／縮小する 33
地図の向きを変える 34
地図をスクロールする 34
平面地図のスクロール 35
3D地図のスクロール 35
友達マップを利用する 35
地図の表示方法を変える 36
地図を1画面で表示する 36
地図を2画面で表示する 36
3D地図の角度を調整する 37
ルート情報モードで表示する（一般道路） 37
ルート情報モードで表示する（高速道路） 37
SA/PA図 38
一方通行を表示する 38
地図画面の設定をする 39
ルートガイド開始までの流れ 40

目的地を探す 42

目的地検索画面を表示する 42
基本的な探しかた 43
地図で探す 43
地点メニュー画面について 43
施設の名称で探す 43
住所で探す 44
地名で探す 44
登録した地点から探す（登録地リスト） 44
電話番号で探す 44
個人宅を検索する場合 45
施設のジャンルから探す 45
ジャンル名を入力して探す 46
自宅に戻る 46
自車位置周辺／目的地周辺から探す 46
自車位置周辺の施設をジャンルから探す 46
よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー） 47
よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する 47
自車位置周辺の施設を現在地メニューから探す 47

目的地周辺の施設をジャンルから探す……47
目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン検索）……48
ルート沿いの施設を探す……48
インターネットを利用して探す ……49
ローカル検索を利用する……49
ローカル検索で目的地を探す……49
Intelligent VOICEを利用する ……50
音声で目的地を検索する……50
Door to Doorナビゲーションを利用する ……50
Door to Doorナビゲーションで目的地を探す ……50
目的地付近の駐車場に着いたら……51
こんな探しかたもあります……52
目的地の履歴から探す……52
目的地の履歴を消去する……52
地図表示位置周辺から探す……52
地図表示位置周辺の駐車場を探す……53
マップコードで探す……53
バックアップ登録地から探す……53
緯度・経度で探す……53
登録ルートから探す……53
NaviConを利用する ……54
NaviConで目的地を設定する ……54
目的地を設定したら……55
検索した地点の位置を修正する……56
検索した地点をルート上に追加する……56
検索した地点を本機に登録する……56
検索した地点周辺の駐車場を探す……56
検索した地点の施設情報を表示する……56

ルートの設定と案内 ……57

走行するルートを設定する……57
現在の条件でルートを探索する……57
異なる条件のルートから選択する……58
有料道路の出入口を選択する……59
ルートの確認・登録をする……59
行き先を追加する……59
ルートガイドを中断する……60
ルートを消去する……60
設定済みのルートを再探索する……60
設定した条件で再探索する……60
探索条件を変更して再探索する……61
迂回ルートを再探索する……61
目的地・経由地を編集する……62
目的地・経由地設定時のご注意……62
経由地を追加する……62
目的地・経由地の位置を修正する……63
目的地・経由地の順番を並べ替える……63
目的地・経由地を消去する……63
区間ごとに探索条件を設定する……64
有料道路の出入口を変更する……64
スマートICとは ……65
設定したルートを確認する……65
ルート情報を見る……65
ルートをシミュレーション走行する……65
現在のルートを登録する……66
ルート上の地図をスクロールする……66
ルートガイド中の地図画面……67
ルートガイド中の案内表示とガイド音声……68
一般道路での拡大案内図表示……68
高速道路での拡大案内図表示……68
ETCレーンガイドの表示……69
細街路での案内表示……69
ルートガイド中の音声案内例……70
進行方向の案内について……70
逆走報知機能について……71
逆走注意喚起……71
逆走検知……71

情報を利用する ……72

情報・設定メニュー画面を表示する……72
VICS情報を利用する ……73
VICSとは ……73
交通情報の表示について……73
地図上に表示されるVICS情報（レベル3）……74
FM VICS情報を利用する ……75
FM VICS情報を見る ……75
気象・災害エリア情報について……75
ETC2.0情報を利用する ……75
ETC2.0情報を見る ……75
ETC情報を利用する ……76
ETC情報とは……76
ETC情報の画面表示と案内……76
予告案内……76
警告表示……76
料金表示……76
最新の利用履歴を読み上げる……76
ETCの利用履歴を表示する……77

ETC/ETC2.0のセットアップ情報を表示する ……77
ETCの設定をする……77
その他の情報を利用する……78
GPSから現在地の情報を取得する……78
メンテナンス情報を利用する……78
お知らせ設定をする……78
お知らせメッセージを確認する……79
販売店情報を登録する……79
販売店を登録したら……79
本機の情報（確認コード）を見る……80
エコロジー情報を表示する……80
マルチメーター情報を見る……80

通信機能を利用する ……81

通信を利用してできること……81
Wi-Fi、Bluetooth機器の取り扱いについて ……81
Bluetooth対応機器を登録する……82
Bluetooth（ブルートゥース）とは……82
Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）……83
Bluetooth機能のON/OFFを切り替える ……84
接続するBluetooth対応機器を切り替える……84
登録したBluetooth対応機器を消去する……85
パスキー・デバイス名称を変更する……85
携帯電話を利用する……86
通話中の画面……86
番号を入力して電話をかける……87
電話を受ける……87
発着信履歴からかける……87
ハンズフリー電話帳を登録する……88
ハンズフリー電話帳から電話をかける……89
施設情報から電話をかける……89
販売店へ電話をかける……89
短縮ダイヤルを登録する……89
短縮ダイヤルから電話をかける……90
短縮ダイヤルの編集をする……90
電話の設定をする……90
通話音量と着信音の設定をする……90
電話のメモリを消去する……91
携帯電話の電話帳を自動でダウンロードする……91
Wi-Fiで接続する ……91
Wi-Fi対応機器を登録する ……91
Wi-Fi接続のON/OFFを切り替える……92
接続するWi-Fi対応機器を切り替える ……92
登録したWi-Fi対応機器を消去する ……92
車載機のWi-Fi情報を表示する ……92

スマートフォンと連携する …93

Smart Accessを利用する ……93
スマートフォン側での準備……93
Smart Accessアプリケーションを起動する ……94
Smart Accessを終了する ……94

オーディオ・ビジュアルを楽しむ ……95

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた ……95
ディスク・SDカードの出し入れ ……95
ディスクの入れかた……95
ディスクの取り出しかた……95
SDカードの入れかた ……96
SDカードの取り出しかた ……96
ソース選択画面を表示する……96
オーディオの音量を調整する……96
オーディオ画面／地図画面を切り替える……97
オーディオ画面に切り替える……97
地図画面に切り替える……97
オーディオをON/OFFする ……97
OFFからONにする……97
ONからOFFにする……97
オーディオの音質を設定する……97
本機と後席用モニターでAVソースを切り替える（2-Zone）……98
リア側（リアスピーカー）のオーディオ音量を調整する ……98
ラジオを聴く……99
ラジオを受信する……99
ラジオ受信時の操作……99
FM/AMを切り替える ……99
自動で選局する……99
手動で選局する……99
プリセットチャンネルリストから選局する……99
ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する ……100
プリセットチャンネルとは……100
地域別プリセットチャンネルリストを切り替える ……100

リストに自動で登録する（オートストア）……100
リストに手動で登録する……100
ラジオの交通情報を受信する……101
ラジオの設定をする……101
ラジオの受信地域を選択する……101
テレビを見る……102
テレビ放送の受信について……102
はじめてテレビを見るときは……102
操作画面を表示する……103
テレビの選局をする……103
テレビ画面から選局する……103
自動で選局する……103
受信可能な中継局／系列局を探す……103
番組表（EPG）から選局する……104
チャンネル番号を入力して選局する……104
テレビのプリセットチャンネルリストを利用する……104
プリセットチャンネルとは……104
地域別プリセットチャンネルリストを切り替える……105
リストに自動で登録する（オートストア）……105
リストに手動で登録する……106
メイン／サブチャンネルを選局する……106
テレビの便利な機能を利用する……106
テレビの番組内容を見る（12セグ放送のみ）……106
データ放送を利用する（12セグ放送のみ）……106
緊急放送を見る……108
地上デジタル放送の設定をする……108
1セグ／ 12セグの切り替え設定をする……108
音声言語を切り替える……108
二重音声を切り替える……109
字幕表示を切り替える……109
放送局を自動で切り替える……109
系列局／中継局を自動で探す……109
テレビの画質を調整する……110
優先エリアを切り替える……110
デバイスIDを表示する……111
テレビの設定情報を初期化する……111
映像／音声のずれを補正する……112
DVDを見る……112
DVDを再生する……112
DVD再生時の操作……113
再生と停止について……113
再生を停止する……113
一時停止する……113
前／次のチャプターを再生する……114
早戻し／早送りする……114
スロー再生する……114
リピート再生をする……114
メニューから再生する（DVDビデオ）……114
タイトルリストから再生する（DVD-VR）……115
プレイリストから再生する（DVD-VR）……115
静止画の切り替えをする（DVD-VR）……115
タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）……116
DVDの設定をする……116
字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）……116
字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）……116
DVDの画質を調整する……116
画面サイズを切り替える……117
DVDの再生状態の表示を設定する……117
DVDの初期設定を変更する……118
DVDのモニターサイズを設定する……118
優先する言語を設定する（DVDビデオ）……118
パレンタルレベルとパスワードを設定する（DVDビデオ）……119
カントリーコードを設定する（DVDビデオ）……120
CD、MP3・WMA・AACディスクの音楽を聴く……120
CDを再生する……120
MP3・WMA・AACのディスクを再生する……121
ディスク再生時の操作……121
一時停止する……121
早戻し／早送りする……121
前／次の曲を再生する……121
前／次のフォルダを再生する（MP3・WMA・AAC再生時）……121
リピート・ランダム再生をする……121
タイトルリストから再生する……122
録音の設定をする（CDのみ）……122
Music Catcherを使う……123
Music Catcherに録音する……123
録音する前にお読みください……123
録音についてのご注意……123
録音の設定をする……123
自動で録音する……124
手動で録音する……124
Music Catcherについて……124
タイトル表示について……124

録音した音楽データについて……125
Music Catcherを再生する……125
Music Catcher再生時の操作……125
一時停止する……125
早戻し／早送りする……125
前／次の曲を再生する……126
リピート・ランダム再生をする……126
リストから再生する……126
アルバム・トラック情報を編集する……127
アルバム情報を編集する……127
演奏中の曲情報を編集する……127
アルバムを消去する……128
曲を消去する……128
アルバム情報を更新する……128
オンライン経由で情報を更新する……128
SDカード経由で情報を更新する……129
VISMASTER（ビスマスター）について……129
SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る……130
SDカードを再生する……130
USBメモリーを再生する……130
SDカード・USBメモリー再生時の操作……130
ミュージックモードとビデオモードを切り替える……130
一時停止する……131
早戻し／早送りする……131
前／次の曲またはビデオを再生する……131
リストから再生する……131
リピート・ランダム再生をする……132
SDカード・USBメモリーのビデオ設定をする……133
画面サイズを切り替える……133
画質を調整する……133
再生状態の表示を設定する……133
iPodミュージックを聴く……134
接続できるiPod……134
iPod/iPhoneの接続……134
iPodミュージックを再生する……135
iPod再生時の操作……135
一時停止する……135
早戻し／早送りする……135
前／次の曲を再生する……135
リピート・シャッフル再生をする……135
リストから再生する……136
Bluetoothオーディオを聴く……137
Bluetoothオーディオを再生する……137
Bluetoothオーディオ再生時の操作……138
一時停止する……138
早戻し／早送りする……138
前／次の曲を再生する……138
トラックリストから再生する……138
リピート・シャッフル再生をする……138
接続するBluetoothオーディオ機器を切り替える……139

各種設定……140

各種設定を行う……140
ツールエリアについて……140
ナビゲーションの設定をする……141
登録地を編集する……141
登録ルートを編集する……143
SDカードのデータを編集する……143
登録地点を書き出す……143
登録地点を取り込む……143
登録地点のグループ名を変更する……144
登録地点を消去する……144
ダウンロードボイスデータの取り込み……144
オープニング画面の取り込み……145
地図上のアイコンの設定をする……145
走行軌跡の設定をする……146
ルートガイドの設定をする……146
交差点ガイドの設定をする……147
バラエティボイスの設定をする……148
到着予想時刻の計算基準速度を設定する……148
オートリルートについて……149
交通情報・VICS情報の設定をする……149
ルート探索条件の設定をする……150
探索条件の設定をする……150
ルートの学習の設定をする……151
その他の探索条件を設定する……151
その他のナビゲーション設定をする……152
自車位置を修正する……152
ガイド音声・探索設定をする……153
画面の設定をする……153
画面の明るさを調整する……153
昼画面と夜画面を切り替える……153
ナビゲーションの音量を調整する……153
言語の選択をする……154
Smart Accessの設定をする……154

Smart Accessアプリケーションの通知文言の表示を切り替える …… 154
Smart Accessアプリケーションのキャッシュを削除する …… 155
オープニング画面の設定をする …… 155
デザインテーマを変更する …… 155
ショートカットの設定をする …… 156
その他の設定をする …… 157
初期設定をする …… 157
車種選択をする …… 158
盗難防止設定をする …… 158
盗難防止用に暗証番号を設定する …… 158
暗証番号を変更する …… 158
暗証番号を忘れてしまったら …… 159
オーディオの音質を設定する …… 159
スピーカーの音量バランスを調整する …… 160
ヴォーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する …… 160
ヴォーカル成分のレベルバランスを調整する …… 160
音質効果メモリーを選んで設定する …… 161
お好みの音質効果を設定する …… 161
Volume Smootherを調整する …… 161
Intelligent Tuneを使う …… 162
音響設定を初期値に戻す …… 162
OPTIONボタンの操作方法 …… 162
OPTIONボタンに機能を割り付ける …… 162

アクセサリーを使う …… 163

リモコンを使う …… 163
リモコン使用時のご注意 …… 163
電池を交換する …… 164
リモコンの使いかた …… 164
リモコンボタンの名称とはたらき …… 164
ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチを使う …… 166
スイッチの名称とはたらき …… 166
接続した外部機器を再生する（別売） …… 167
HDMI機器を接続する …… 167
ドライブレコーダー（スタンドアローンタイプ）を接続する …… 167
外部機器映像画面のサイズを切り替える …… 168
外部機器映像の画質を調整する …… 169
後席用モニターを使う（別売） …… 169
後席用モニターに表示できる映像 …… 169
本機と後席用モニターで別々のソースを視聴する（2-Zone） …… 170
2-Zone機能ON時に本機・後席用モニターで選択可能なソース一覧 …… 171
カメラを使う（別売） …… 172
リアカメラを使う（別売） …… 172
リアカメラの映像について …… 172
リアカメラの映像を表示する …… 172
モニターの画質を調整する（リアカメラ） …… 173
ガイドラインの表示を切り替える …… 173
ガイドラインを調整する …… 173
擬似バンパーラインの表示を切り替える …… 174
擬似バンパーラインを調整する …… 174
マルチアラウンドモニターを使う（別売） …… 175
マルチアラウンドモニターの映像について …… 175
マルチアラウンドモニターの映像を表示する …… 175
モニターの画質を調整する（マルチアラウンドモニター） …… 176

ナビゲーションを更新する …… 177

地図データを更新する …… 177
地図更新の方法について …… 177
無料地図更新情報を確認する …… 177
プログラム更新／地図データ更新の手順 …… 178
地図データを更新する …… 178
プログラムを更新する …… 179
SDカードまたはUSBメモリー経由で更新する …… 179
オンライン経由で更新する …… 179

困ったときに… …… 181

自車位置がずれていたら …… 181
自車位置のずれを修正するには …… 181
3Dセンサーによる上下道路判定について …… 181
自車位置の精度について …… 182
故障かなと思ったら …… 183
ナビゲーション …… 183
オーディオ …… 185
Wi-Fi接続 …… 189
リアカメラ …… 190
マルチアラウンドモニター …… 190
その他 …… 191
よくある質問について …… 192

ナビゲーション編……192
オーディオ編……194
その他編……196

付録 …… 199

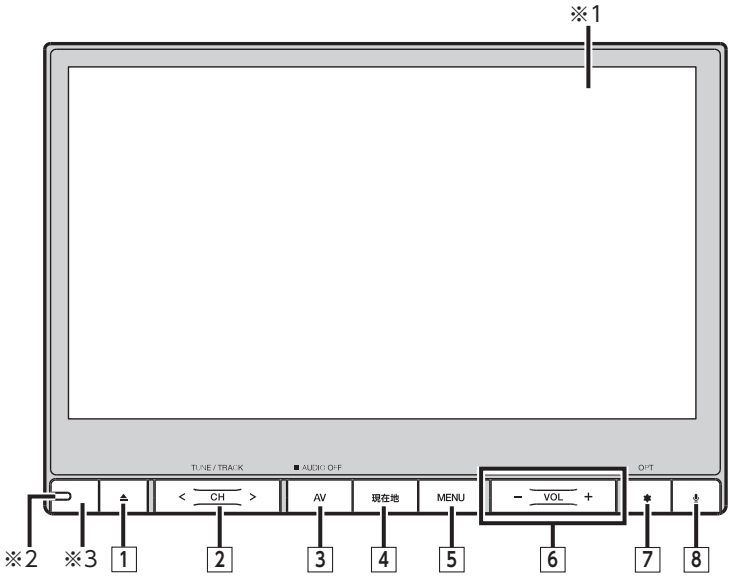
収録データベースについて……199
お客様へのお願い……201
市街地図収録エリア一覧……202
VICS情報について ……206
VICS情報の更新に伴う表示変更 ……206
VICSシステムの問い合わせ先 ……206
VICS情報有料放送サービス契約約款 ……207
本機で使用できるメディアについて……208
本機で再生できるディスク……208
再生できるCD ……208
再生できないCD ……208
再生できるMP3・WMA・AACディスク ……208
再生できるDVD ……208
再生できないDVD ……209
本機で使用できるSDカード／USBメモリー ……209
SDカード取り扱い上のご注意 ……209
本機で再生可能な音声ファイルについて…210
MP3ファイルについて ……210
WMAファイルについて……211
AACファイルについて ……211
FLACファイルについて ……212
WAVファイルについて ……212
本機でMP3・WMA・AAC・FLAC・WAVを
再生するためのご注意 ……212
音声ファイルのフォルダ構成について……213
ディスクのフォルダ構成……213
SDカード／USBメモリーのフォルダ構成 ……213
本機で再生可能な動画ファイルについて…214
再生可能な動画ファイルの仕様について……214
本機で動画ファイルを再生するためのご注意……215
カントリーコード一覧……216
お手入れ……217
ディスクのお手入れ……217
本体のお手入れ……217
TVアンテナのお手入れ ……217
保証書とアフターサービス……217
仕様……218
商標について……219
Gracenote® Music Recognition Service℠について
……221
製品を廃棄・譲渡・転売するときは……222
ナビゲーション内のデータ消去について……222
お客様のプライバシー保護のために……222
著作権保護のために……222
データを消去（初期化）する……222
メニューマップ……223
索引……234
地図に表示される色やマーク……240
一般地図凡例……241
市街地図凡例……241
SA/PA図 ……241
VICS情報マーク ……241
交通障害情報……241
交通規制情報……241
駐車場情報、SA/PA情報 ……241
臨時駐車場情報……241
気象・災害エリア情報……241

操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称とはたらき

操作パネル

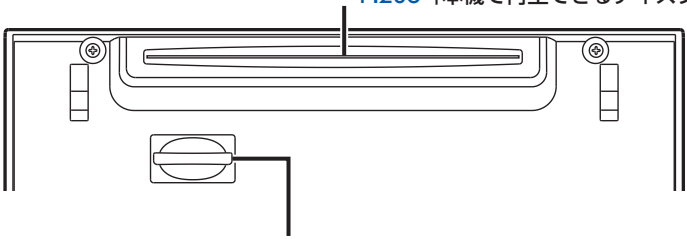


※1 タッチパネルです。タッチキー操作時に使用します。
※2 盗難防止イルミです。盗難防止設定を「ON」に設定している場合に点滅させて、盗難を抑止します。→ P.158
※3 リモコン受光部です。同梱のリモコンからの信号を受信します。

本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明	
1	⏏	短押し	操作パネルの開閉を行う画面を表示します。→ P.17 同じ画面からディスクも取り出せます。→ P.95
		長押し	本機に挿入されているディスクを排出します。
2	< >	短押し	オーディオ・ビジュアル機能で、周波数を切り替えたり、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		長押し	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。またラジオ、テレビを選択中は自動で放送局を選択できます。
3	AV	短押し	現在選択中のオーディオ画面や、ソース選択画面を表示します。→ P.96
		長押し	オーディオ・ビジュアルのON/OFFを切り替えます。
4	現在地	短押し	現在地の地図画面を表示します。→ P.32
		長押し	その時点での走行状態に応じた音声ガイドを確認できます。
5	MENU	短押し	メインメニュー画面を表示します。この画面から各メニューを選択します。 メインメニュー画面表示中に押した場合は、メインメニューが解除されます。
		長押し	Quad View画面を均等4分割画面表示に切り替えます。 均等4分割画面表示中に長押しした場合は、均等4分割表示が解除されます。
6	− +	短押し	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.96「オーディオの音量を調整する」、 → P.153「ナビゲーションの音量を調整する」
		長押し	音量調整の際、連続して音量を変えます。
7	✸	短押し	ボタンに割り付けたお好みの機能を実行します。 マルチアラウンドモニター接続時は、カメラの表示を呼び出します。→ P.175
		長押し	ボタンに機能を割り付ける際の選択画面を表示します。→ P.162
8	🎤	短押し	Intelligent VOICEアプリケーション等を起動します。→ P.50

本体（操作パネル開）



ディスク挿入口
→ P.208「本機で再生できるディスク」

SDメモリーカード挿入口
→ P.178「プログラム更新/地図データ更新の手順」
→ P.209「本機で使用できるSDカード／ USBメモリー」

⚠ 警告

- **ディスクを排出した状態のまま走行しないでください。**
  操作パネルが閉まる際に、ディスクがはさまれ本機やディスクが破損したり、振動によりディスクが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

❗ お願い

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- 操作パネルの開閉中は、SDメモリーカード（以降、「SDカード」）やディスクを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

基本的な使いかた

電源を入れる

1 車両の電源を「ACC」、または「ON」にする

本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、Quad View画面が表示されます。

— MEMO —

- 車両の電源をOFFにすると、本機の電源が切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。→ P.158

スタートアップガイド画面について

本機購入後、初回起動時には、スタートアップガイド画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。この画面から以下の設定が行えます。

●Bluetoothを設定する→ P.83

— MEMO —

- スタートアップガイド終了後、次回起動時にもスタートアップガイドを表示する／しないを確認するメッセージが表示されます。
  いいえ をタッチすると、次回、本機を起動したときはQuad View画面からはじまります。
- スタートアップガイド画面の最初に
  スキップする>> をタッチすると、スタートアップガイド表示をスキップできます。

操作パネルを開閉する

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードを排出した状態のまま走行しないでください。**
  振動によりディスクやSDカードが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

1 ⏏

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。
操作パネルを閉じる場合は、もう一度 ⏏ を押すか、パネル開／閉 をタッチしてください。

— MEMO —

- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。
- 「パネルをオープンしてください。」と表示された場合、パネル開／閉 をタッチして操作パネルを開閉してください。

Quad View画面について

Quad View画面は、以下の4つのエリアから各機能を操作できます。Quad View画面のレイアウトや各エリアの表示位置はお好みで変更できます。→ P.19

ナビエリア

地図画面やナビゲーション機能に関するメニューが表示されます。

例：初期状態のエリア配置

オーディオエリア

オーディオ・ビジュアル機能に関するメニューが表示されます。

ツールエリア

画面表示設定や電話の登録など、さまざまな設定メニューが表示されます。

APPエリア

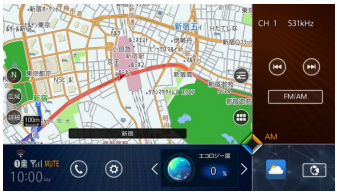
Smart Accessなど、スマートフォンとの連携に関するメニューが表示されます。

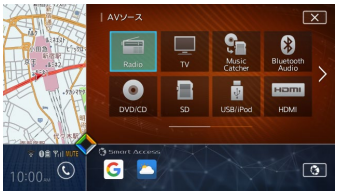
レイアウトには以下の種類があります。

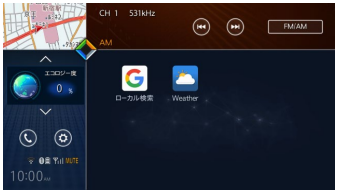
全画面表示

均等4分割画面（4つのエリアを等分に表示）

4分割画面（1つのエリアをメインに表示）



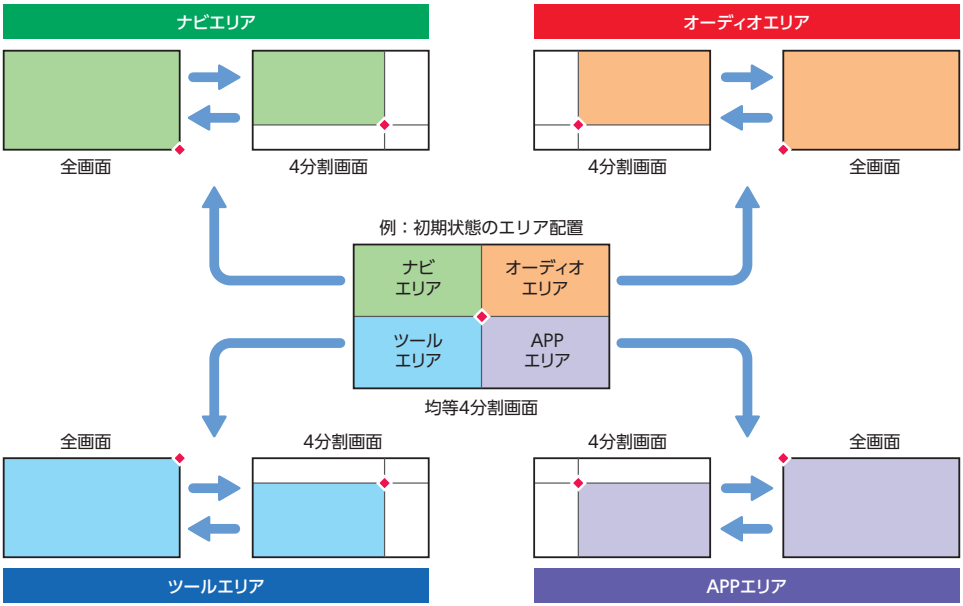




MEMO

- Quad View各画面の表示内容は一例です。

Quad View画面のレイアウトを切り替える

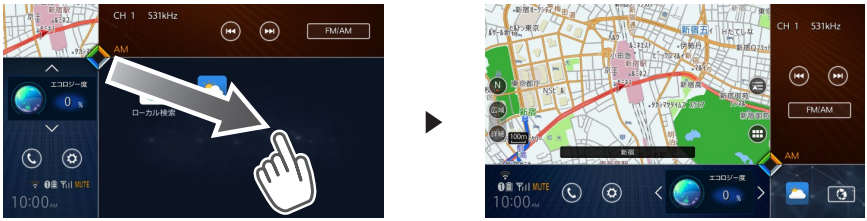


お知らせ

- カメラ画面は、設定にかかわらず、全画面表示になります。
- 本書では、各機能の説明に全画面表示の画面を使用しています。

■ クロスポイントをドラッグして切り替える

画面上のクロスポイント（交差点）をドラッグすることでレイアウトを切り替えます。



注意

- **走行中は、クロスポイントのドラッグ操作はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。**

お知らせ

- クロスポイントを画面の四隅までドラッグすると、全画面表示に切り替えられます。

Quad View画面の表示モードを切り替える

均等4分割画面でクロスポイントを長押しすることで、全画面優先モードとQuad View画面優先モードを切り替えられます。（初期値：Quad View画面優先モード）

表示モードによって、均等4分割画面におけるタップの動作が異なります。

■ Quad View画面優先モード

均等4分割画面で、いずれかのエリアをタップ（すばやくタッチ）すると、選択したエリアをメインとする4分割画面を表示します。

また、それ以外の画面では、以下のように表示が切り替わります。

- ●4分割画面で、クロスポイントをタップした場合、メインのエリアを全画面表示します。
- ●4分割画面で、メイン以外のエリアの、タッチキーでない部分をタップした場合、選択したエリアをメインとする4分割画面を表示します。
- ●全画面表示中に、クロスポイントをタップした場合、そのエリアをメインとする4分割画面を表示します。

例：均等4分割画面でツールエリアをタップ

■ 全画面優先モード

均等4分割画面で、いずれかのエリアをタップ（すばやくタッチ）すると、選択したエリアを全画面表示します。

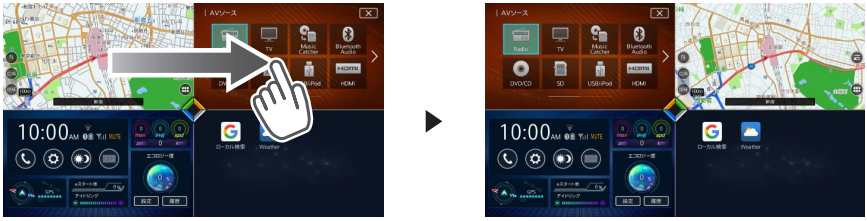
また、それ以外の画面では、以下のように表示が切り替わります。
●4分割画面で、クロスポイントをタップした場合、メインのエリアを全画面表示します。
●4分割画面で、メイン以外のエリアの、タッチキーでない部分をタップした場合、選択したエリアをメインとする4分割画面を表示します。
●全画面表示中に、クロスポイントをタップした場合、均等4分割画面を表示します。

例：均等4分割画面でツールエリアをタップ

— お知らせ
• クロスポイントをドラッグしてレイアウトを変更した場合は、全画面のクロスポイントをタップしても均等4分割画面には切り替わりません。全画面表示していたエリアをメインとする4分割画面が表示されます。

Quad View画面の各エリアを入れ替える

均等4分割画面でドラッグまたはスワイプすることで、各エリアの位置を入れ替えられます。

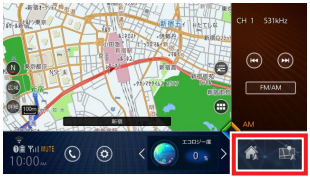


— お知らせ
• 均等4分割画面では、各エリア内の機能を直接操作することはできません。

— MEMO
• ドラッグまたはスワイプの始点と終点のエリアが入れ替わります。
• 入れ替えたエリアの配置は、メインメニュー画面にも反映されます。→ P.22

Quad View画面のAPPエリアにショートカットを表示させる

スマートフォンと連携していない場合、APPエリアにショートカットを表示できます。（初期値：OFF）
ショートカットの設定や各アイコンについて詳しくは、「ショートカットの設定をする」をご覧ください。→ P.156



— MEMO

- 以下のサイズでAPPエリアを表示している場合、ショートカットは表示されません。
  - 均等4分割画面（4つのエリアを等分に表示）
  - APPエリアを全画面表示
  - 4分割画面でAPPエリアをメインに表示
- APPエリアの表示サイズによって、表示されるショートカットの個数は異なります。
- 表示されるショートカットの表示順序は、ショートカット設定 で選択した順番になります。→ P.156

メインメニュー画面を表示する

MENU を押すと、メインメニュー画面が表示されます。
メインメニュー画面表示中に押した場合は、メインメニューが解除されます。

例：初期状態のエリア配置

各メニューエリアのキーをタッチして、直接機能を選択できます。

— お知らせ

- メインメニュー画面はレイアウトを調整できません。
- 本書では、各手順において、4つのエリアのどのキーをタッチするか、以下のアイコンで示しています。
  - ：ナビエリア
  - ：オーディオエリア
  - ：ツールエリア
  - ：APPエリア

  例：MENU ▶ ツールエリア の 設定

  アイコンは、初期状態のエリア配置に対応したものです。各エリアの表示位置を入れ替えた場合は、該当するエリアの位置に置き換えてお読みください。

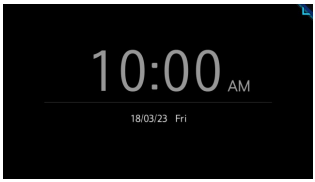
画面を非表示／時計表示にする

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 各項目を設定

画面消し：
画面を非表示にする。

時計画面表示：
ツールエリア全体に時計を表示する。



MEMO

- 以下のいずれかの操作を行うと、画面非表示および時計画面が解除されます。
  - 画面をタッチする
  - MENU、現在地、✱、AV、⏏、🎤のいずれかを押す
- 画面非表示、または時計表示の状態で車両の電源をOFFにしても、次に「ACC」、または「ON」にするとQuad View画面が表示されます。

時計の表示を設定する

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 ＞ ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定

時計表示（地図・オーディオ操作画面）：
各画面での時計表示のON/OFFを設定する。

時計表示（映像画面）：
テレビ／DVDなど、映像画面での時計表示ON/OFFを設定する。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示（ON）／12時間表示（OFF）で切り替える。

MEMO

- 画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

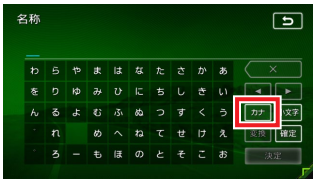
文字パネルを操作する

お知らせ

- 文字の種類、および入力方式の切り替えは、登録地の名称変更、販売店の名称入力など、編集時のみの機能です。

文字の種類を切り替える

1 入力したい文字の種類を選択



文字の種類は以下の順で切り替わります。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

お知らせ

- 文字パネルによっては、カタカナや英数の半角切り替えができないものもあります。

文字を入力／変換する

1 画面上の文字を1文字ずつ選択

小文字：
ひらがな、カタカナキーのとき、「っ」「ょ」「ィ」などの小文字を入力する場合に、文字パネルの一部を切り替える。
元の文字パネルに戻す場合は、大文字 をタッチしてください。

◀、▶：
カーソルを左右に移動する。
文字を挿入したい場合は、挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動してください。

×：
1文字消去する。
カーソルが文字の右端にあるときに長押しすると、文字がすべて消えます。カーソルが文字の間にあるときに長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

2 変換

変換候補が表示されます。

確定：
変換しないで入力を確定させる。

— お知らせ
- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

3 変換対象を選択

◀、▶：
変換する文字列の範囲を変更する。

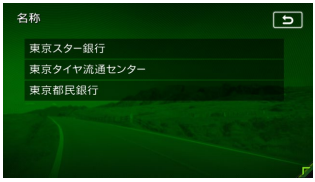
— お知らせ
- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

予測候補を表示する

表示される候補の例：
●すでに入力した語句
●県名・ブランド名などよく入力される語句
●有名施設名

1 文字を入力 ▶ 予測候補

2 目的の項目を選択



タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

— お知らせ
- 予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

フリック・スワイプ・ピンチアウト／イン操作について

本機では、以下の画面でフリック／スワイプ操作が可能です。

- ●ナビメニュー画面
- ●ソース選択画面
- ●設定メニュー画面
- ●目的地検索結果画面
- ●リスト画面
- ●地図画面のスクロール
- ●均等4分割画面

また、以下の画面でピンチアウト／ピンチイン操作が可能です。

- ●地図画面の拡大／縮小

フリック操作の方法

画面上をタッチしたまま、上下左右にすばやくスライドしながら指を離してください。

スワイプ操作の方法

画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドしてください。

ピンチアウト操作の方法

画面上をタッチしたまま、2本の指の間隔を広げるように動かしてください。

ピンチイン操作の方法

画面上をタッチしたまま、2本の指でつまむようにして間隔を狭めてください。

地図画面でフリックすると、フリックした方向にスクロールしていきます。

例：地図画面でフリック操作

▼

例：地図画面でスワイプ操作

リスト画面で上下にフリックすると、フリックした方向に連続してスクロールします。

また、リストの項目名がすべて表示されていない場合、項目名部分を左へフリックすると、テキストが左へスクロールします。

地図画面でピンチアウト／ピンチイン操作をすると、地図を拡大／縮小できます。

リストをスクロールする

1 《∧》、《∨》 **をタッチ**

1ページ分リストがスクロールします。

連続してページをスクロールさせるには、《∧》または《∨》を長押ししてください。

— MEMO —

- リスト画面では、フリックまたはスワイプ操作でもスクロールすることができます。
→ P.25

50音タブを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「た行」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 《た》 **をタッチ**

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

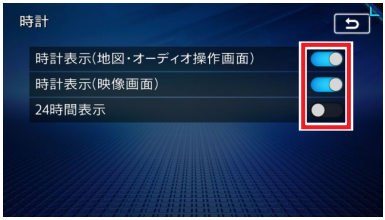
2 **リストから該当する項目を選択**

— MEMO —

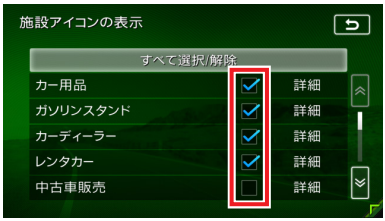
- タブがすべて表示されていない場合は、《∧》、《∨》をタッチしてページをスクロールしてください。

リストの項目を選択／解除する

リストの項目をタッチすると、選択 (ON) と解除 (OFF) が切り替わります。



同様に、タッチすると選択／解除を ☑ ／ ☐ で示すキーもあります。



《すべて選択／解除》：
すべての項目の選択／解除を切り替える。

リストの項目を並べ替える

1 並べ替える

2 並べ替える方法を選択

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

— お知らせ —

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

読み順：
50音順にリストを並べ替える。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストを並べ替える。

登録順：
地点登録順にリストを並べ替える。
（登録地点リストのみ）

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストを並べ替える。（インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリア検索のみ）

リストの項目を絞り込む

リストの項目数が多い場合など、複数の条件を指定して項目を絞り込めます。
絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。
例：地域（東京都）とジャンル（公園）で絞り込んだ場合、東京都の公園に該当する施設がリストに表示されます。

条件を指定して絞り込む

1 検索結果リスト画面で 候補を絞る

絞り込み指定の画面が表示されます。

2 絞り込む方法を選択

— お知らせ —

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

地域を指定する：
都道府県や市区町村名から項目を指定する。

ジャンルを指定する：
施設のジャンルから項目を指定する。
選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。

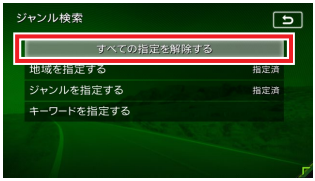
キーワードを指定する：
施設名に含まれる文字から項目を指定する。
1文字でも絞り込めます。

3 候補を表示

項目が絞り込まれて表示されます。再度 候補を絞る をタッチして、項目を絞り込むこともできます。

指定を解除：
絞り込みを解除する。
キーワード指定による絞り込みを解除するには、文字入力画面で ✕ を長押しして、文字を消してください。
すべての絞り込みを解除するには、以下の方法があります。

・絞り込み指定の画面で
すべての指定を解除する



・検索結果リスト画面で

近隣県を指定する

住所から目的地を探すときに、自車位置周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県

MAP：
選択した県の中心となる場所を地図に表示する。

2 絞り込みたい県を選択

施設情報を確認する

ジャンル検索や周辺検索の「ガソリンスタンド」などのジャンルから目的地を検索した場合、施設名の横に施設情報アイコンが表示され、施設のサービスや設備を確認できます。

施設情報アイコン

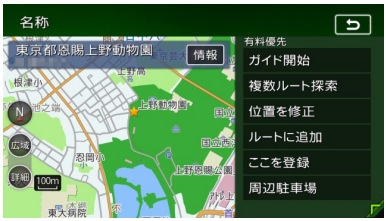
— お知らせ —
• データの整備状態によっては、施設アイコンが表示されない場合があります。

— MEMO —
• 施設情報アイコンには以下の種類があります。
- 24（24時間営業）
- P（駐車場）
- （トイレ）
- セルフ（セルフ給油方式）
- 洗車（洗車場）
- （整備場）
- （ドライブスルー）
- （お酒）
- （タバコ）
- ?（不明）

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合、タッチすると施設の検索結果画面が表示されます。

▼



また、検索結果リスト画面でジャンルアイコンをタッチすると、画面左側の地図に選択した施設の位置が表示されます。

ジャンルアイコン

数値を増減する

リストの項目に ＋ 、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 自宅へ戻る

3 はい ▶ 住所

4 都道府県を選択

5 市区町村を選択

6 地域を選択

7 番地、号を入力 ▶ 決定

番地一覧：
番地一覧から選択する。

8 必要に応じて、地図をスクロールして位置を修正 ▶ 決定

9 終了

— お知らせ —

- 手順4 ～ 6で MAP を選択すると、選択した地域の中心となる場所が地図に表示されます。

登録済みの自宅情報を編集する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定

2 ナビ設定

3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

— MEMO —

- 自宅が未登録の場合は、自宅（未登録） が表示され、このキーから自宅の登録ができます。

4 編集

位置を修正：
地図をスクロールして自宅の位置を修正する。

消去：
登録済みの自宅情報を消去する。

終了：
手順3に戻る。

5 編集する項目を選択

地図上表示：
ONに設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示する。

アイコン：
自宅に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定する。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定する。
方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定する。

電話番号：
電話番号を編集する。

Memo

地図画面の見かた

地図画面の表示内容や操作方法について説明しています。

現在地の地図画面

現在地 を押すと、現在地の地図画面が表示されます。

1 **自車位置マーク**
自車位置と進行方向を示しています。
マークの種類は変更できます。→ P.39

2 **現在地メニューキー**
現在地メニューが表示されます。→ P.33
このメニューでは、自車位置を本機に登録したり、自車位置周辺の検索などが行えます。
また、地図表示変更 をタッチすると、地図表示変更メニューを表示できます。→ P.36

3 **NaviConキー**
本機とNaviConが連携している場合に表示されます。→ P.54
タッチすると友達マップメニュー画面が表示されます。→ P.35

4 **ナビメニュー**
ナビメニュー画面が表示されます。→ P.42

5 **現在地名称表示**
自車位置周辺の情報が表示されます。
また、地図画面が全画面表示の場合のみ、タッチすると、自車位置周辺の情報と再生中のオーディオ情報で表示が切り替わります。

6 **地図縮尺表示**
現在の地図の縮尺を表示しています。

7 詳細 ／ 広域 **詳細／広域キー**
地図の縮尺を拡大／縮小できます。
→ P.33

8 N ／ **方位マーク**
現在の地図の向きを表示しています。
タッチすると地図の向きが切り替わります。
また、地図を3Dで表示できます。→ P.34

※1 10:00
受信済みのVICS情報の提供時間が表示されます。

※2 ETC
別売のETCユニット、またはETC2.0ユニット接続時に表示されます。

現在地メニューを表示する

現在地メニューでは、自車位置を本機に登録したり、自車位置周辺の検索などを行えます。

1 地図画面の ☰ をタッチ

2 目的の項目を選択

周辺施設を検索：
自車位置周辺の施設を検索する。→ P.46

周辺駐車場：
自車位置周辺の駐車場を検索する。
→ P.47

ここを登録：
自車位置の地点を本機に登録する。
→ P.56

地図表示変更：
地図表示変更メニューを表示する。
→ P.36

地図を拡大／縮小する

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14段階（2D）／13段階（3D））
市街地図：
10m（2Dのみ）、25m、50m
通常地図：
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11段階）
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

— お知らせ —
- 道路整備や拡張により、実際の道路状況と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示されない場合があります。

1 地図画面の 詳細 または 広域

地図が拡大／縮小されます。
詳細 または 広域 を長押しすると、地図を細かく拡大／縮小できます。

— お知らせ —
- 市街地図50m、通常地図256kmスケール時や、2画面表示の右地図では、詳細 または 広域 を長押しして地図を拡大／縮小できますが、細かい調整はできません。

通常地図50m画面

市街地図50m画面

— MEMO —
- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと「市街地図データがありません。」と表示されます。その際は、広域 をタッチしてください。自車位置が市街地図の収録エリア外に出た場合は、50mスケールの通常地図に自動的に切り替わります。
- ピンチアウト／ピンチイン操作でも、地図を拡大／縮小できます。→ P.25

地図の向きを変える

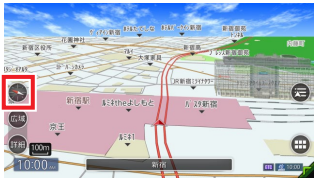
1 地図画面の N または をタッチ

タッチするごとに地図の表示方向が、北方向上向き、進行方向上向き、進行方向上向き（3D地図）の表示に切り替わります。

北方向上向き

進行方向上向き

進行方向上向き（3D地図）



※地図描画のため、自車位置表示が遅れる場合があります。

— MEMO —

- 2画面表示の場合、3D地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。このとき1画面に切り替えると、左地図の表示設定が1画面に反映されます。
- 3D表示では、一部の建物や施設が立体的なポリゴンで表示されます。
- 3D地図では、視点の角度を調整できます。→ P.37

地図をスクロールする

— お知らせ —

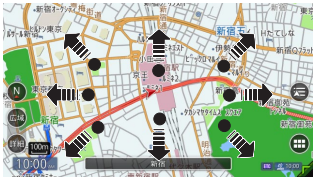
- 2画面表示の場合、右画面はスクロールできません。
- 市街地図を表示しているときに、市街地図の収録エリア外へのスクロールはできません。
  広域 をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
- スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、消去 が表示されます。タッチすると、地点を消去できます。

— MEMO —

- をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。
- スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
- 画面上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離や方向が表示されます。
- 詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠い場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻る場合は、現在地 を押すか、 をタッチしてください。
- フリックまたはスワイプ操作でもスクロールすることができます。→ P.25
  フリックの強弱によって、地図のスクロールするスピードが変わります。
- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。

平面地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



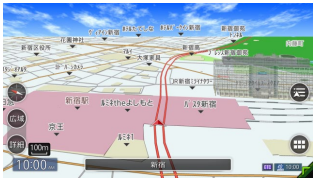
地図をスクロールできます。

— MEMO —

- 平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。

3D地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



地図をスクロールできます。

2 、 で向きを調整

友達マップを利用する

NaviConの「友達マップ」機能を利用すると、スマートフォンのアプリケーション上で登録している友達の位置情報を、地図画面に表示できます。本機とNaviConの連携方法については、「NaviConを利用する」をご覧ください。
→ P.54

1 地図画面上の をタッチ

友達マップメニュー画面が表示されます。

友達マップリストの人数が表示されます。

友達マップ機能のON/OFFを切り替えます。（初期値：OFF）

自車位置から近い順に友達マップリストが表示されます。（最大20件）
リストをタッチすると、選択した友達を中心としたスクロール地図画面が表示されます。

友達アイコン表示画面

友達マップアイコンに切り替わります。

地図の表示方法を変える

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 設定したい表示方法を選択

地図モードを選択してください。

MEMO

- 現在地 を押すごとに、現在地地図画面と選択した地図モードの画面を切り替えられます。

1画面：
地図を1画面で表示する。→ P.36

2画面：
地図を分割し、2画面で表示する。→ P.36

ルート情報：
ルート情報モードに切り替える。→ P.37

N ／ ：
地図の向きを切り替える、または地図を3Dで表示する。→ P.34

／ ：
3D地図の角度を調整する。
地図表示を3Dに設定しているときに表示されます。→ P.37

ハイウェイモード：
ルート情報モードの自動表示の設定を切り替える。
自動表示をONに設定している場合は、高速道路・有料道路走行中、自動的にルート情報モードに切り替わります。→ P.37

一方通行：
一方通行情報の表示/非表示を切り替える。
→ P.38

施設アイコン：
地図上に表示する施設アイコンを選択する。

VICS表示：
地図上に表示するVICS情報を選択する。

その他：
地図表示に関するさまざまな設定を行う。
→ P.39「地図画面の設定をする」

地図を1画面で表示する

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 1画面 ▶ ▶

地図が1画面で表示されます。

地図を2画面で表示する

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 2画面 ▶ ▶

地図が2画面で表示されます。

MEMO

- 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます。→ P.33「地図を拡大／縮小する」、→ P.34「地図の向きを変える」
  ただし、右地図ではスケールの細かい調整はできません。
- スクロール操作は左地図で行います。
- 2画面表示から1画面に切り替えた場合、左地図の表示設定が1画面に反映されます。

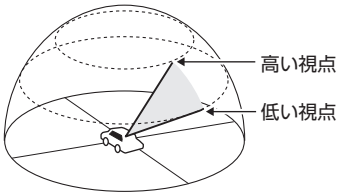
3D地図の角度を調整する

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 または をタッチ

をタッチして視点を高くした場合

をタッチして視点を低くした場合



ルート情報モードで表示する（一般道路）

一般道路走行中に1 ～ 3つ先の交差点情報や目的地、経由地情報を表示できます。

準 備

●目的地を設定してください。→ P.42

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 ルート情報 ▶ ▶

ルート情報リストが表示されます。

ルート情報リスト

— MEMO —

- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や3Dで表示できます。→ P.33「地図を拡大／縮小する」、→ P.34「地図の向きを変える」
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図※→ルート情報モード
  ※表示可能な場合のみ
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ルート情報モードで表示する（高速道路）

高速道路および一部の有料道路を走行中に、以下の情報を表示できます。

●インターチェンジ／ジャンクション／サービスエリア（SA）／パーキングエリア（PA）／ランプ／目的地までの合計料金など

準 備

●目的地を設定してください。→ P.42

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 ルート情報 ▶ ▶ ▶

ルート情報リストが表示されます。

ルート情報リスト

— お知らせ —

- すべてのVICS規制アイコンが表示されるわけではありません。必ず現地の交通規制にしたがって走行してください。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行わないことがあります。
- オートリルートすると、ルート情報モードが一時的に解除される場合があります。→ P.149
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引や期間限定の料金体系などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。

— MEMO —

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にルート情報モードに切り替わります。
  - 地図表示変更メニューの「ハイウェイモード」が「ON」に設定されている。→ P.36
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している。
- 各ルート情報の間の線には、渋滞状況が表示されます。
  (赤：渋滞、オレンジ：混雑、水色：順調)
- 渋滞状況が灰色で表示されるのは、以下の場合です。
  - VICS渋滞情報が配信されていない
  - 本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない
- SA/PAをタッチするとSA/PA情報が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジをタッチすると、目的地や経由地に設定できます。同様にジャンクションをタッチすると、分岐道路名称などの情報が表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチできません。
- 料金所では、料金所のゲート情報を簡略化して表示します。時間帯、規制等により実際の状況と一致しない場合がありますので、必ず現地の指示にしたがって走行してください。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や3Dで表示できます。→ P.33「地図を拡大／縮小する」、→ P.34「地図の向きを変える」
- 「ハイウェイモード」がONの場合は、現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。→ P.36
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図※→ルート情報モード
  ※表示可能な場合のみ
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

SA/PA図

SA/PAの施設情報です。ルート情報リストでSA/PAの名前をタッチすると表示されます。

地図を表示 ：
施設の地図を表示する。

一方通行を表示する

⚠ 警告

- **一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が双方通行の場合があります。必ず実際の規制にしたがって走行してください。**

1 地図画面の ▶ 地図表示変更

2 一方通行 ▶ ▶

一方通行情報が矢印で表示されます。

— お知らせ —

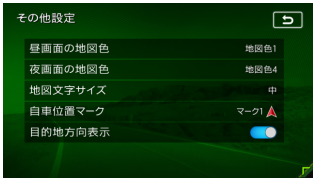
- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m以下のスケールで表示されます。
- 3D地図では表示されません。
- 細街路の一方通行情報はスクロール地図で走行中は表示されません。

地図画面の設定をする

1 **地図画面の** ▶ 地図表示変更

2 その他

3 **設定したい項目を選択**



昼画面の地図色 ／ 夜画面の地図色 ：
昼画面、夜画面の表示色を選択する。
（初期値：昼画面地図色1、夜画面地図色4）

地図文字サイズ ：
地図画面に表示する文字の大きさを選択する。（初期値：中）

自車位置マーク ：
地図画面に表示する自車位置のマークを選択する。（初期値：自車位置マーク1）

目的地方向表示 ：
地図画面に目的地の方向を示す直線の表示／非表示を選択する。（初期値：ON）

ルートガイド開始までの流れ

① 目的地を探す

MENU ▶▶ ナビエリア の 目的地 をタッチ

目的地メニュー画面が表示されます。

さまざまな方法で目的地を探すことができます。

- ローカル検索 キーワードを入力して インターネットで探す → P.49
- 🎤 キーワードを音声で入力して インターネットで探す → P.50
- 名称 施設の名称で探す → P.43
- 住所 住所で探す → P.44
- 周辺検索 自車位置周辺／目的地周辺 から探す → P.46
- 電話番号 電話番号で探す → P.44
- 自宅へ戻る 自宅へ戻る → P.46
- 履歴 目的地の履歴から探す → P.52
- ジャンル 施設のジャンルから探す → P.45
- 登録地 本機に登録した地点から探す → P.44

＞ をタッチ

- 登録ルート 本機に登録したルートから 探す → P.53
- バックアップ登録地 SDカードに保存した登録 地点から探す → P.53
- 緯度・経度 緯度・経度で探す → P.53
- マップコード マップコードで探す → P.53

② ルートを設

目的地を設定したら…

以下のような検索結果
画面が表示されます。

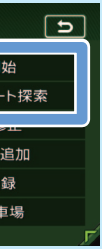
すぐにルートガイドを
開始したい

ガイド開始

他のルートを探してから
ルートガイドを開始したい

複数ルート探索

定する



③ ルートガイド開始

現在のルートで
ガイドが開始されます。

この画面からこんな操作もできます。

位置を修正	→ P.56	ここを登録	→ P.56
ルートに追加	→ P.56	周辺駐車場	→ P.56

異なる条件で探索された最大5つの
ルートから選択してください。

ガイド開始

お好みのルートで
ガイドが開始されます。

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

目的地検索画面を表示する

目的地メニュー画面では、本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探せます。また、現在地メニュー画面からも目的地を探せます。

MENU ▶▶
ナビエリア の 目的地 ▶▶

目的地メニュー画面

▶▶ ＞ ▶▶

現在地 ▶▶ ▶▶

現在地メニュー画面

お願い

- 検索結果として表示される施設の位置は、その施設の出入口と一致しない場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

基本的な探しかた

地図で探す

1 **地図をスクロールさせて目的地を表示**
→ P.34

2 **をタッチ**

3 ここに行く

4 **ルート探索結果画面が表示されます。**
→ P.57

地点メニュー画面について

地図をスクロールした先で をタッチすると、地点メニューが表示されます。

この地点メニューから、スクロール先の地点を目的地に設定する以外にも、以下の操作を行えます。

ルートに追加：
ルート設定時にスクロール先の地点を目的地、または経由地に追加する。→ P.56

周辺施設を検索：
スクロール先周辺の施設を検索する。
→ P.52

周辺駐車場：
スクロール先の駐車場を目的地として設定する。→ P.53

ここを登録：
スクロール先の地点を登録する。

地図表示変更：
地図の表示方法を変更する。→ P.36

施設の名称で探す

1 MENU ▶
ナビエリア の 目的地 ▶ 名称

2 **施設の名称を入力** ▶ 候補を表示
入力した施設名の候補が5件以下の場合
→手順3

3 **施設を選択**

4 **検索結果画面が表示されます。**
→ P.55

— お知らせ —

- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。

住所で探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地 ▶ 住所

2 目的地の都道府県を選択

近隣県：
自車位置周辺の都道府県を指定する。
→ P.28

3 市区町村を選択

4 地域名を選択

5 番地、号を入力 ▶ 決定

番地一覧：
番地一覧から選択する。

6 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

お知らせ
- 手順2 ～ 4で MAP を選択すると、選択した地域の中心となる場所が地図に表示されます。
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

地名で探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地 ▶ 住所

2 地名を入力

3 地名を入力 ▶ 候補を表示
地名の途中までででも検索できます。

4 目的の地名を選択

5 番地、号を入力 ▶ 決定

6 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

登録した地点から探す（登録地リスト）

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 登録地

3 登録地を選択

4 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

MEMO
- 本機には、400件まで地点を登録できます。
→ P.56

電話番号で探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地 ▶ 電話番号

2 電話番号を市外局番から入力（9 ～ 11桁） ▶ 決定

MEMO
- 複数の施設がリストに表示された場合は、リストから目的の施設を選択してください。

3 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

お知らせ
- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- タウンページに掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。

個人宅を検索する場合

入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地 ▶ 電話番号

2 電話番号を市外局番から入力（9 ～ 11桁）▶ 決定

3 入力した電話番号先の名字を入力 ▶ 決定

— お知らせ

- 一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
- 個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読みかたで登録されている場合があります。

4 検索結果画面が表示されます。

→ P.55

施設のジャンルから探す

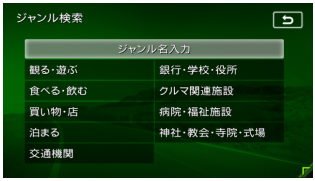
お願い

- 高速道路上の施設を検索した場合、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 ジャンル

3 ジャンルを選択



4 さらにジャンルを選択

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。
ブランド名などを指定できます。

5 目的地の都道府県を選択

— MEMO

- 検索の結果、対象となる施設数が膨大な数になった場合、市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の市区町村をタッチしてください。市区町村が不明の場合は、都道府県内 全域で探す をタッチしてください。

6 目的の施設を選択

7 検索結果画面が表示されます。

→ P.55

ジャンル名を入力して探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 ジャンル

3 ジャンル名入力

4 キーワードを入力 ▶ 候補を表示

予測候補：
予測変換候補リストからジャンルや施設を選択する。

— お知らせ —
- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

5 ジャンルを選択

6 目的地の都道府県を選択

— MEMO —
- 検索の結果、対象となる施設数が膨大な数になった場合、市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の市区町村をタッチしてください。市区町村が不明の場合は、都道府県内 全域で探す をタッチしてください。

7 目的の施設を選択

— MEMO —
- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探すことをおすすめします。

8 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

自宅に戻る

準 備

●自宅を登録してください。→ P.29

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 自宅へ戻る

自宅までのルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.57

自車位置周辺／目的地周辺から探す

— お知らせ —
- 目的地周辺を検索する場合は、目的地までのルートを設定してください。

自車位置周辺の施設をジャンルから探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

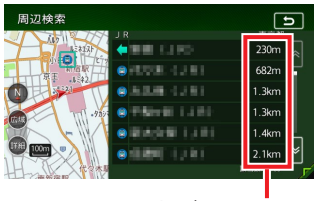
2 周辺検索 ▶ 自車周辺

3 ジャンルを選択

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.46

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を自車位置周辺から探す。→ P.47

4 目的の施設を選択



施設までの距離が表示されます。

5 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

— MEMO —
- 自車位置周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

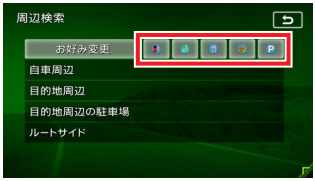
よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）

お好みアイコンキーに登録したジャンルから、自車位置周辺の施設を探せます。

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 周辺検索

3 お好みアイコンキーを選択



4 施設を選択

5 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

— MEMO —
- 自車位置周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。コンビニ、ガソリンスタンドなどは、ブランド名を指定して登録できます。

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 周辺検索 ▶ お好み変更

3 登録したいお好み番号を選択

設定を初期状態に戻す：
お好みアイコンキーに登録したジャンルを初期化する。

— MEMO —
- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。

4 ジャンルを選択

5 さらにジャンルを選択

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

— MEMO —
- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

自車位置周辺の施設を現在地メニューから探す

1 現在地 ▶

2 周辺施設を検索

周辺駐車場：
自車位置周辺800m以内にある駐車場を探せます。（最大10件）

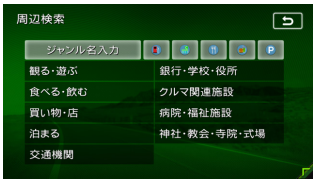
3 ジャンルを選択→ P.46の手順「ジャンルを選択」

目的地周辺の施設をジャンルから探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺

3 ジャンルを選択



ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.46

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探す。→ P.47

4 目的の施設を選択

施設までの距離が表示されます。

5 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

— MEMO
- 目的地周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン検索）

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺の駐車場

3 駐車場を選択

— MEMO
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

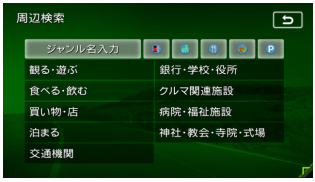
— MEMO
- 目的地周辺800m以内にある駐車場を探せます。（最大10件）

ルート沿いの施設を探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 周辺検索 ▶ ルートサイド

3 ジャンルを選択



ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.46

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探す。→ P.47

4 目的の施設を選択

施設までの距離が表示されます。

— MEMO
- 施設までの距離の右側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

5 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

— お知らせ
- ルートサイド検索は自車位置がルート上にあると認識された場合のみ可能です。また、自車位置が高速道路上にあると認識された場合には、走行路線を対象としたルートサイド検索が可能です。

— MEMO
- ルート上から80m以内、ルートの距離で100km以内にある施設を探します。（最大100件）

インターネットを利用して探す

本機とお手持ちのスマートフォンを連携することで、インターネット上の情報を利用して地点を検索できます。
スマートフォンとの連携について詳しくは、P.93 をご覧ください。
各アプリケーションの機能、音声での操作方法などの詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。
https://www.clarion.com/jp/ja/products-personal/service/

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

❗ お願い

- 通信状況によっては、検索結果表示までに時間がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
- はじめてご利用になる場合は、「Smart Access」サーバーから必要なデータをダウンロードするため、通信状況にかかわらず時間がかかることがあります。

ローカル検索を利用する

入力したキーワードに関連する場所を、Googleのデータベースから検索します。（最大60件）

— お知らせ
- 初回利用時には利用規約への同意が必要です。

ローカル検索で目的地を探す

準備

●お手持ちのスマートフォンを本機と連携してください。→ P.93

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地

2 検索バーをタッチ

3 キーワードを入力 ▶ 検索

検索結果リスト画面が表示されます。

お気に入り、履歴から選択します。

検索した内容を表示します。

リストを1つ移動します。

検索範囲を、目的地周辺、自車位置周辺から選択します。

4 検索結果リストから目的の施設を選択

5 ここに行く

ここに寄る：
施設を経由地として追加する。
（ルート設定時のみ表示）

ルートガイドが開始されます。

— MEMO
- ローカル検索は、APPエリアのSmart Access アプリケーション一覧画面からも起動できます。
- 本サービスは、今後予告なく変更および終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

Intelligent VOICEを利用する

行きたい場所を、思いついた言葉で話しかけるだけで「目的地検索」ができます。

音声で目的地を検索する

準 備

●同梱のハンズフリー用マイクの接続が必要です。
●お手持ちのスマートフォンを本機と連携してください。→ P.93

1 🎤

2 「ピッ」という音が鳴ったら、マイクに発話する

施設名、施設ジャンル、住所などで目的地を検索できます。
例：「ガソリンスタンドを探す」

検索結果リスト画面が表示されます。

3 検索結果リストから目的の施設を選択

4 ここに行く

ここに寄る：
施設を経由地として追加する。
（ルート設定時のみ表示）

ルートガイドが開始されます。

MEMO

- 検索結果リスト画面から、「1番へ行く」「2番に立ち寄る」など発話すると、直接目的地または経由地に設定することもできます。
- 目的地メニュー画面の 🎤 をタッチしても、Intelligent VOICEを開始できます。
- ご利用開始日から3ヶ月間、全機能を無料でご利用いただけます。
- 本サービスは、今後予告なく変更および終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

Door to Doorナビゲーションを利用する

スマートフォンで設定した目的地を自動的にナビゲーションと同期、ルートガイドすることでシームレスな移動を実現します。
Googleのデータベースから施設検索、NAVITIMEのデータベースから目的地周辺の時間貸駐車場も検索可能です。

Door to Doorナビゲーションで目的地を探す

準 備

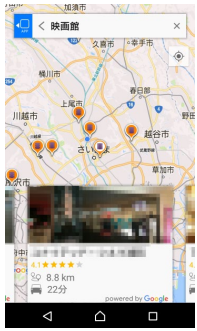
●お手持ちのスマートフォンを本機と連携してください。→ P.93

1 スマートフォンで「Smart Access 4Car」を起動する

2 APPリストの「Door to Doorナビゲーション」を起動する

3 キーワードを入力して、目的地を検索する

検索結果画面が表示されます。



MEMO

- キーワードを入力した状態で地図画面をスクロールすると、検索エリアを指定できます。検索したいエリアでキー表示をタッチし、再検索してください。

4 検索結果から目的の施設を選択

5 ここに行く ▶ OK

駐車場も探す：
検索した地点から半径1km以内にある時間貸駐車場を探す。

6 **ルート探索条件を選択 ▶ OK**

「有料優先」、「一般優先」、「距離優先」から探索条件を選択します。
（初期値：有料優先）

7 **スマートフォンと本機を接続する**

スマートフォンと本機がBluetooth接続した状態で「Smart Access 4Car」が起動すると、スマートフォンで設定された目的地が本機に同期され、自動的にルートガイドが開始されます。

駐車場までの到着予想時刻

駐車場から目的地までの徒歩での到着予想時刻

設定した目的地の位置

設定した駐車場の位置

※画面は目的地付近の場合です。

— お知らせ —

- Door to Doorナビゲーションで検索した地点を、履歴、登録地、登録ルートとして本機に保存することはできません。
- 本機に経由地が設定されていた場合でも、同期されるのは目的地のみです。

— MEMO —

- 本サービスは、今後予告なく変更および終了する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 目的地設定された地点は、履歴としてDoor to Doorナビゲーションに自動で保存されます。
- 以下の方法で目的地を設定することもできます。
  - 地図上の施設名称、またはアイコンをタッチ
  - 地図上の任意の場所を長押し
  - 目的地設定履歴リストから地点を選択

■ 駐車場満車通知

行き先として設定した目的地付近の駐車場まで2kmの地点を通過した時点で、駐車場が満車の場合、本機の地図画面上に通知が表示されます。同時に、目的地から最も近い空いている駐車場への目的地変更する／しないを確認するメッセージが表示されます。（空いている駐車場が見つからない場合もあります。）

— お知らせ —

- 設定した駐車場が混雑情報を保持していない場合、本機能は動作しません。

目的地付近の駐車場に着いたら

駐車場から目的地までの徒歩ルートがスマートフォンに表示されます。
また、駐車位置を示すアイコンが表示され、目的地から車に戻る際、キー表示を選択すると、駐車位置までの徒歩ルートを確認できます。

こんな探しかたもあります

目的地の履歴から探す

1 MENU ▶ ナビエリア の 目的地 ▶ 履歴

2 目的の地点を選択

3 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

MEMO
- 履歴は最新のものから順に自動で保存されます。（最大100件）
- 目的地は地図上に★で表示されます。

目的地の履歴を消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定

2 ナビ設定

3 目的地履歴の消去

4 目的の項目を選択

最近の行き先の全件消去：
すべての目的地履歴を消去する。

最近の行き先の1件消去：
目的地履歴から1件ずつ選択して消去する。

前回出発地の消去：
前回ルートガイドした際の出発地点履歴を消去する。

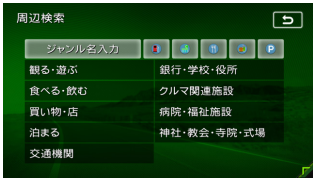
地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した地点周辺にある施設を探します。

1 地図をスクロール ▶

2 周辺施設を検索

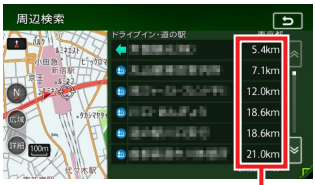
3 ジャンルを選択



ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.46

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を表示先周辺から探す。→ P.47

4 目的の施設を選択



施設までの距離が表示されます。

5 検索結果画面が表示されます。
→ P.55

MEMO
- 地図表示位置周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

地図表示位置周辺の駐車場を探す

地図をスクロールした先の駐車場を目的地として設定できます。

1 **地図をスクロール** ▶

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO —
- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 **検索結果画面が表示されます。**
→ P.55

— MEMO —
- 地図表示位置周辺800m以内にある駐車場を探せます。（最大10件）

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、マップコード、マップコードHR（高分解能）どちらにも対応しています。

1 MENU ▶
ナビエリア の 目的地 ▶ ＞

2 マップコード

3 **マップコードを入力** ▶ 決定

4 **検索結果画面が表示されます。**
→ P.55

— MEMO —
- マップコードに関する内容については以下をご覧ください。
https://www.denso-solution.com/mapcode/
（株式会社デンソーソリューション）

バックアップ登録地から探す

SDカードに保存した登録地から、目的地を探せます。

準 備

●登録地を保存したSDカードを本機に挿入してください。→ P.143

1 MENU ▶
ナビエリア の 目的地 ▶ ＞

2 バックアップ登録地

3 **グループを選択**

4 **地点を選択**

5 **検索結果画面が表示されます。**
→ P.55

— MEMO —
- SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件です。

緯度・経度で探す

1 MENU ▶
ナビエリア の 目的地 ▶ ＞

2 緯度・経度

3 **北緯と東経を入力** ▶ 決定

4 **検索結果画面が表示されます。**
→ P.55

登録ルートから探す

本機に登録したルートから、目的地を設定します。

準 備

●ルートを登録してください。→ P.66

1 MENU ▶
ナビエリア の 目的地 ▶ ＞

2 登録ルート

3 **目的の登録ルートを選択**

現在のルートを登録：
目的地が設定されている場合に、そのルートを本機のルートリストに登録する。

4 **目的地までのルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。**
→ P.57

NaviConを利用する

本機はNaviConに対応しています。多彩な連携アプリで探した行き先を、ワンタッチで本機に転送し、目的地に設定できます。
NaviConの入手方法、および詳細については、以下をご覧ください。
NaviConサポートサイト
https://navicon.com/user/support/

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

準 備

●NaviConをお手持ちのスマートフォンにインストールしてください。
対応OS：iOS、Android

NaviConで目的地を設定する

NaviConで指定した地点を本機に送信して目的地に設定できます。

1 **スマートフォンを本機にBluetooth接続する**→ P.83

MEMO
- iPhoneの場合、iPhoneをUSBで本機に接続することでもNaviConを利用できます。

2 **スマートフォンでNaviConを起動して、目的地を検索する**

MEMO
- NaviConを利用できる状態にあるときは、画面右側に が表示されます。

3 **NaviConから本機に地点情報を転送する**

転送された地点が本機に表示され、ルートガイドが開始されます。
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

お知らせ
- 本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

MEMO
- NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。
また、NaviCon側で地図を拡大／縮小すると、本機の地図も拡大／縮小されます。その場合、NaviCon側のスケールと本機のスケールは一致しない場合があります。

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。ルートを設定する前にこの画面から、地点の位置修正、地点の登録、施設情報の確認などができます。

あらかじめ設定された探索条件が表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート探索では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 ガイド開始

目的地までのルートが探索され、ルートガイドが開始されます。
目的地に到着すると、自動的にルートガイドは終了します。

複数ルート探索：
異なる条件で複数のルートを再探索する。→ P.58

位置を修正：
地点の位置を調整する。→ P.56

ルートに追加：
現在のルートに経由地、または目的地として追加する。→ P.56
ルート設定時に表示されます。

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録する。→ P.56

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示する。→ P.56

情報：
施設情報を表示する。→ P.56

— お知らせ —

- 地図をスクロールして地点を設定した場合などは、表示される画面が異なります。
  → P.43の手順「ここに行く」
- 施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。
  必要に応じて、目的地を「位置を修正」で移動して決定してください。→ P.56
  - 表示されている場所が施設出入口のため、車を駐車するのには適さない場所に誘導される場合（到着地点を示す星マークのほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。）
    「施設出入り口地点を表示します。」
- 複数の出入口を持つ施設、専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に出入口、駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設、または出入口、駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。出入口、駐車場を選択すると到着地点を示す星マークのほかに、実際の目的地にも星マークと黄色い旗が表示されます。

— MEMO —

- 以下の場合、一般道と有料道路（または高速道路）のどちらを現在走行中であるかを確認する画面※が表示されます。有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  - 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合

  ※この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
- 探索したルートに時間規制道路、交通規制、冬季規制道路がある場合は、ルートガイドがはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 救急施設（病院など）を目的地にした場合、確認画面が表示されます。
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路、または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了する／しないを確認する画面が表示されます。なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。
- ルート探索の条件は変更できます。
  → P.58、P.61

検索した地点の位置を修正する

1 **検索結果画面で** 位置を修正

2 **地図をスクロールして位置を修正**

▶ 決定

検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。

検索した地点をルート上に追加する

1 **検索結果画面で** ルートに追加

行き先追加画面が表示されます。

2 ここに追加

選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.57

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機に登録できます。(最大400件)

1 **検索結果画面で** ここを登録

— お知らせ —

- 地点の検索方法が「登録地」の場合は、この操作は行えません。

— MEMO —

- 本機に登録した地点は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件までSDカードに保存できます。→ P.143

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索した地点から半径800m以内にある駐車場を探します。(最大10件)

1 **検索結果画面で** 周辺駐車場

2 **駐車場を選択**

検索結果画面に戻ります。

検索した地点の施設情報を表示する

1 **検索結果画面で** 情報

施設情報画面が表示されます。

電話をかける：
情報に電話番号データがある場合、表示中の施設に電話をかける。
Bluetooth対応携帯電話の接続が必要です。

— お知らせ —

- 施設に情報がない場合、情報 は表示されません。

ルートの設定と案内

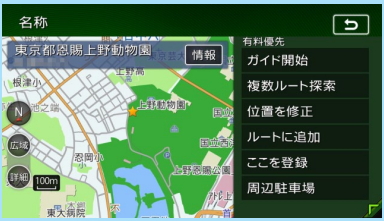
目的地を設定したら、ルート探索を開始します。ルートが設定されるとルートガイドがはじまりますので、案内にしたがって走行してください。

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを設定します。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。

地点を検索→ P.42 ▶▶

検索結果画面



地点メニュー画面→ P.43 ▶▶

ここに行く ▶▶

ルート探索結果画面

現在の条件でルートを探索する

1 **地点を検索**→ P.42
現在の条件でルートが探索されます。

2 ガイド開始
ルートガイドが開始されます。

MEMO

- ルート探索時に考慮する統計交通情報データの元となる道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）から提供されています。
  また、統計交通情報データには、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。
  ※「統計交通情報を考慮」がONの場合のみ→ P.151
- ルート探索結果画面を表示したまましばらくすると、現在の条件で自動的にルートガイドを開始します。
- 探索したルートに時間規制道路、交通規制、冬季規制道路がある場合は、ルートガイドがはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

複数ルート探索 をタッチすると、異なる条件で探索された最大5つのルートから、お好みのルートを選択できます。

1 地点を検索→ P.42

▶ 複数ルート探索

ルート選択画面が表示されます。

2 お好みのルートを選択

「省エネルートを考慮」ONの場合

「省エネルートを考慮」OFFの場合

(有料道路を優先的に使用するルート)

有料優先 **：**
目的地までの所要時間が短くなるよう考慮したルートを探索する。

有料（省エネ） ※1 **：**
目的地までの燃料消費量が少なくなるよう考慮したルートを探索する。

有料優先（別ルート） ※2 **：**
「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用する。
「有料優先」のルートと同じルートになる場合もあります。

(一般道路を優先的に使用するルート)

一般優先 **：**
目的地までの所要時間が短くなるよう考慮したルートを探索する。

一般（省エネ） ※1 **：**
目的地までの燃料消費量が少なくなるよう考慮したルートを探索する。

一般優先（別ルート） ※2 **：**
「一般優先」とは異なる一般道路を優先的に使用する。
「一般優先」のルートと同じになる場合もあります。

距離優先 **：**
目的地までの距離が短くなるよう考慮したルートを探索する。
渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

※1「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。
※2「省エネルートを考慮」OFFの場合のみ表示されます。

3 ガイド開始

ルートガイドが開始されます。

お知らせ

- 探索されるルートの種類は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。→ P.152
  「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。→ P.152
- 経由地、または高速道路出入口の指定がある場合は、この操作は行えません。

MEMO

- 省エネルートを選択すると、ルート探索結果画面に「省エネ度」が表示されます。どの程度燃料消費量が改善されているかを確認できます。この機能はアイドリングストップ車、ハイブリッド車、電気自動車には適応していません。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、「統計交通情報を考慮」の設定に関係なく、統計交通情報を考慮して探索します。→ P.151

有料道路の出入口を選択する

1 ルート選択画面、またはルート探索結果画面で入口施設名称、または出口施設名称を選択

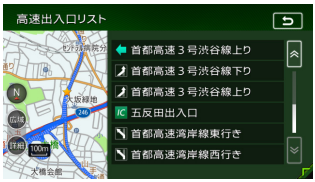
入口施設名称　出口施設名称

選択した出入口の前後、最大で3つまでの出入口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

— お知らせ —

- 「有料道入口」、または「有料道出口」と表示されている入口施設名称、出口施設名称はタッチできません。

2 変更する出入口の名称を選択



「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが探索されます。

ルートの確認・登録をする

1 地点メニュー画面→ P.43

▶ ここに行く

2 ルートの確認・登録

3 目的の項目を選択

ルート情報：
ルート上の情報を表示する。→ P.65

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録する。
→ P.66

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認する。→ P.66

行き先を追加する

1 地点メニュー画面→ P.43

▶ ここに行く

2 行き先を追加

3 行き先を検索→ P.42

4 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.56

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

5 ここに追加

選択した位置に地点が追加されます。

— お知らせ

- 経由地が5つ設定されている場合は追加できません。

ルートガイドを中断する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート

2 ガイド中断

ルートガイドを中断します。
ルートガイドを再開したい場合は、
MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ガイド再開 をタッチしてください。

— お知らせ

- ルートガイド中断中に、「省エネルートを考慮」の設定を切り替えると、ルートガイドを再開できません。→ P.152
目的地メニュー画面から目的地を再設定してください。

ルートを消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート

2 ルート消去 ▶ はい

現在のルートが消去され、ルートガイドが中止されます。

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、ルートの再探索、迂回路の探索などができます。

MENU ▶▶ ナビエリア の ルート ▶▶

ルートメニュー画面

— お知らせ

- ルートが未設定の状態では、ルートメニュー画面の探索条件キーをタッチできません。探索条件を変更したい場合は、情報・設定メニュー画面の ガイド音声・探索設定 ▶ 探索条件 をタッチして選択してください。設定された探索条件は、次回のルート探索に引き継がれます。

— MEMO

- ルートガイド中、ルート上の交通情報の変化により現在のルートより早いルートが見つかった場合は、新しいルート画面が表示されます。→ P.149

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された最大5つのルートをすべて再探索します。
→ P.58「異なる条件のルートから選択する」

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート

2 再探索

— お知らせ

- 経由地、または有料道路の出入口が設定されている場合は、1ルートのみ探索します。

— MEMO

- 以下の場合、一般道と有料道路（または高速道路）のどちらを現在走行中であるかを確認する画面※が表示されます。 有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  - 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合

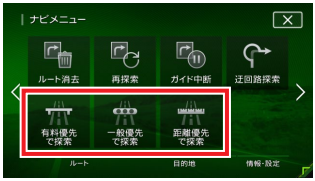
  ※この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
- 有料道路の出入口設定時は、設定を継続する／しないを確認するメッセージが表示されます。

探索条件を変更して再探索する

高速道路を走行中に一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート

2 希望の探索条件を選択→ P.150

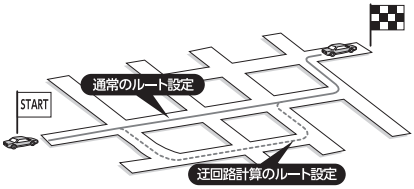


「省エネルートを考慮」をONに設定している場合は、＜ をタッチすると 有料（省エネ）で探索 と 一般（省エネ）で探索 も選択できます。

選択した探索条件で、ルートを再探索します。

迂回ルートを再探索する

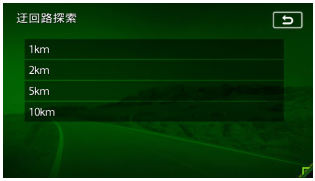
渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 MENU ▶ ナビエリア の ルート

2 迂回路探索

3 迂回ルートを探索する、自車位置からの距離を選択



迂回するルートが再探索されます。

— お知らせ

- 迂回ルート情報が見つからない場合もあります。
- 自車位置周辺に迂回ルート情報がない場合は、迂回路探索 はタッチできません。

目的地・経由地を編集する

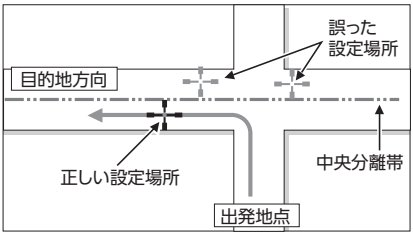
目的地・経由地設定時のご注意

ルートの途中で寄り道をしたいときなどに、ルートに経由地を設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが探索されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。
以下の内容を考慮して目的地・経由地を設定してください。

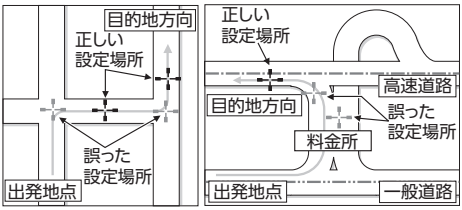
お知らせ

- 高速道路の本線上に目的地・経由地を設定した場合、ルートが見つからないことがあります。その場合は、目的地・経由地を本線以外へ設定し直してください。

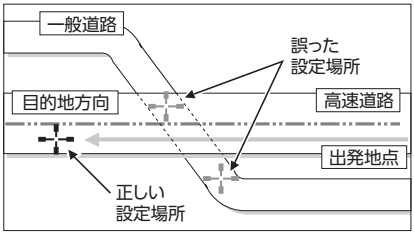
1 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。



2 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



3 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経由地を設定しないでください。

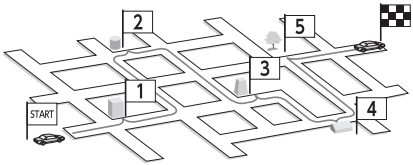


お知らせ

- 設定した目的地・経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

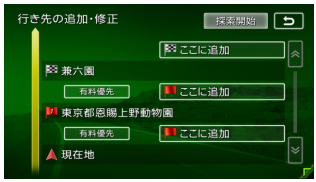
経由地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 経由地を追加する位置の ここに追加



4 地点を検索→ P.42

5 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置を修正する。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.56

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

6 探索開始

経由地が追加され、新しいルートが探索されます。

目的地・経由地の位置を修正する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 位置を修正したい地点を選択

4 位置を修正

5 位置を修正して 決定

6 探索開始

目的地、または経由地の位置が修正され、ルートが探索されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

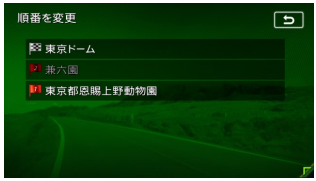
1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 順番を変えたい地点を選択

4 順番を変更

5 移動する位置を選択



6 探索開始

目的地、または経由地の順番が入れ替わり、新しいルートが探索されます。

— お知らせ —

- 地点の順番を並べ替えると、指定ICは解除されます。

目的地・経由地を消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 消去したい地点を選択

4 消去 ▶ はい

5 探索開始

選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが探索されます。

— お知らせ —

- 目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

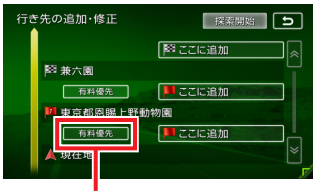
区間ごとに探索条件を設定する

現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

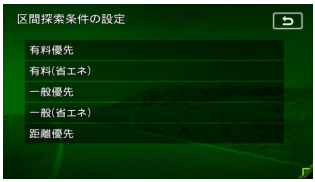
3 探索条件を設定したい区間の探索条件キー選択



探索条件キー

4 希望の探索条件を選択

→ P.150「探索条件の設定をする」



MEMO

- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択後に はい または いいえ をタッチしてください。
- 省エネルートを選択してルートガイドを開始した場合、全区間において統計交通情報を考慮して探索します。「統計交通情報を考慮」の設定は自動的にONになります。→ P.151

5 探索開始

選択した探索条件で、ルートが探索されます。

お知らせ

- 探索条件を変更して再探索を行うと、区間ごとに設定した探索条件は解除されます。

有料道路の出入口を変更する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ＜

2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正

3 入口を変更 または 出口を変更

入口ICを元に戻す ／ 出口ICを元に戻す ：指定したICを解除する。

4 変更する出入口の名称を選択

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

ルート探索結果画面に戻り、入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

5 ガイド開始

ルートガイドが開始されます。

MEMO

- 選択した出入口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。 はい をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、いいえ をタッチすると、選択が取り消されます。

スマートICとは

スマートICは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置される、ETCを搭載した車両専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマートICを考慮してルート探索を行います。

— お知らせ

- スマートICは、ETCユニット、またはETC2.0ユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICによっては対象車種に制約がありますが、それを考慮したルート探索は行いません。実際の道路状況にしたがって走行してください。

設定したルートを確認する

⚠ 注意

- **走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。**

ルート情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認できます。

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ <

2 ルート確認・登録

3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。

— お知らせ

- 現在走行中の道路の情報は表示されません。そのため、各道路の走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

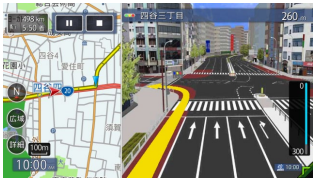
ルートをシミュレーション走行する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ <

2 ルート確認・登録

3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。



シミュレーション中は、以下のキーを操作できます。

▶：
ルートシミュレーションを再生する。

II：
ルートシミュレーションを一時停止する。

■：
ルートシミュレーションを中止する。

詳細 ／ 広域：
地図の縮尺を変更する。

— お知らせ

- ルートシミュレーション中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - 現在地 を押す
  - Intelligent VOICEでの目的地探索や目的地設定
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合、キーは表示されません。
→ P.59

現在のルートを登録する

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ <

2 ルート確認・登録

3 現在のルートを登録 ▶ はい

— お知らせ

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。
- Googleのデータベースから検索した地点を目的地に設定している場合は、本機能は使用できません。

— MEMO

- 登録できるルートは最大5件です。

ルート上の地図をスクロールする

1 MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ <

2 ルート確認・登録

3 地図スクロール

カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルートガイド中の地図画面

ルートガイド中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなどの情報が表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート探索では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 7.9 km 10:36 着 **目的地情報キー**
自車位置から目的地までのルート距離と到着予想時刻※が表示されます。
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。
タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。

2 **音声案内地点**
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路で、案内地点が近づくと進行方向を音声で案内します。
→ P.70「ルートガイド中の音声案内例」

3 **目的地方向表示**
目的地の方向が直線で表示されます。表示／非表示を切り替えられます。
→ P.39「地図画面の設定をする」

4 **案内ルート**
目的地までの経路が表示されます。
経路色：黄色（一般道路）、黄緑色（有料道路）、暗い黄色（細街路）

5 **走行軌跡**
自車が走行した軌跡がマーク（点）で表示されます。
軌跡の表示／非表示を切り替えられます。→ P.146「走行軌跡の設定をする」

※到着予想時刻は「到着予想時刻の速度設定」の設定を反映しています。→ P.148
渋滞情報は考慮されません。

ルートガイド中の案内表示とガイド音声

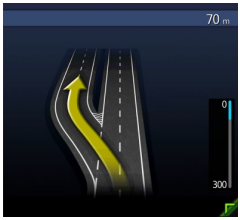
一般道路での拡大案内図表示

ルートガイド中は、交差点や都市高速道路入口などの約300m手前から、拡大案内図が表示されます。一部の交差点、都市高速道路入口の手前では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

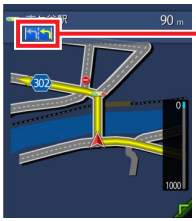
都市高速道路入口の手前※1

複雑交差点の手前※2

側道分岐点の手前（簡略図）※3



交差点の手前



レーンガイド※4

※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。
→ P.146「ルートガイドの設定をする」
※2 イラストが表示される地域は、政令指定都市と東京23区内のみです。
※3 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
※4 交差点の手前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、推奨する走行レーンが黄色で表示されます。

高速道路での拡大案内図表示

都市高速道路の入口※1

入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2

出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2

分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.146「ルートガイドの設定をする」
※2 「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.146「ルートガイドの設定をする」

— MEMO

- 以下の分岐点の手前では、分岐形状を簡略化した拡大図が表示されます。
  - 側道分岐点
  - 高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
  - 画像がない場合の高速道路の分岐点

  ※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
- 簡略図には、通行車線が表示されます。

ETCレーンガイドの表示

ETC利用可能時（本機と連動する別売のETCユニット、またはETC2.0ユニットが接続状態であり、さらにETCカードが挿入されているとき）に「黄色矢印」がETCレーン側に表示されます。それ以外の場合は、矢印が一般レーン側に表示されます。

	ETC利用不可時	ETC利用可能時
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

— お知らせ

- ETCレーンの整備などにより、実際のレーンと異なる場合があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行･通過してください。

細街路での案内表示

出発地や目的地周辺の細街路（幅5.5m以下）でも、目的地までルートガイドされます。

⚠ 警告

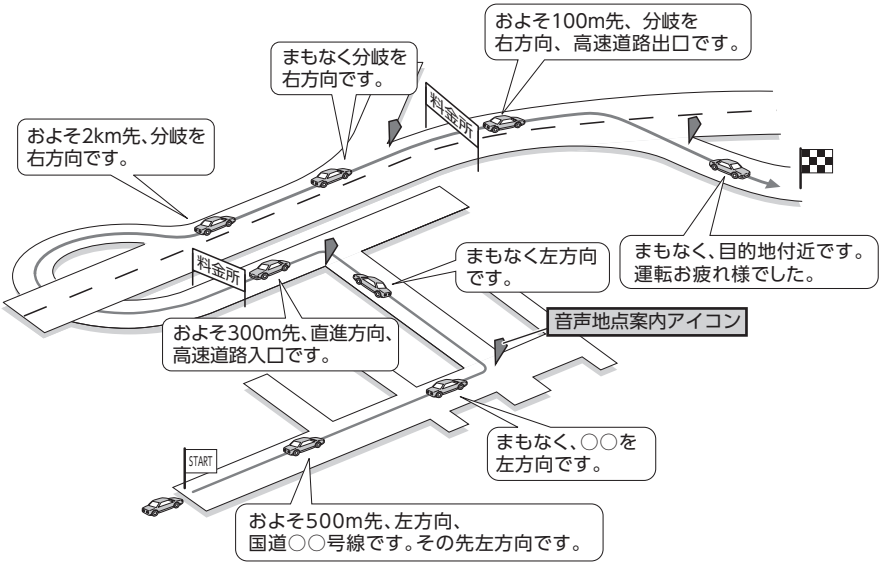
- **出発地、目的地周辺では細街路および地図データ上の幅3.3 ～ 5.5mの一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートには交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路が含まれる場合があります。必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。**

お知らせ

- 以下の場合、細街路は表示されません。
  - 地図の縮尺が500mスケール以上のとき
  - 地図の縮尺が200m、100mスケールで、細街路以外を走行しているとき
  - 地図の縮尺が50mスケールで、走行中に地図をスクロールしているとき

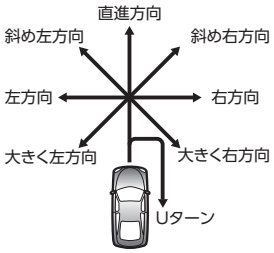
ルートガイド中の音声案内例

案内地点が近づくと、音声で案内されます。



進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、8方向で案内されます。



逆走報知機能について

高速道路および有料道路にて、逆走に対する注意喚起および逆走検知時の警告をメッセージと音声で案内します。

MEMO

• 逆走注意喚起、および逆走報知メッセージの表示／非表示を設定できます。→ P.152

逆走注意喚起

高速道路および有料道路のサービスエリア／パーキングエリアでの駐車後の再発進時に、画面表示と音声で逆走注意喚起します。

逆走検知

高速道路および有料道路のジャンクション、インターチェンジ、サービスエリア／パーキングエリアの本線合流部で逆走を検知し、画面表示と音声で警告します。

情報を利用する

FM VICS情報やETC/ETC2.0情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報や本体情報（バージョン情報）などもご活用ください。

情報・設定メニュー画面を表示する

情報・設定メニュー画面から、FM VICS情報や、ETC/ETC2.0情報、車のメンテナンス情報などが見られます。

MENU ▶▶
ナビエリア の 情報・設定 ▶▶

情報・設定メニュー画面

Quad View画面のツールエリアを表示→ P.18 ▶▶

MENU ▶▶
ツールエリア の 設定 ▶▶

設定メニュー画面

VICS情報を利用する

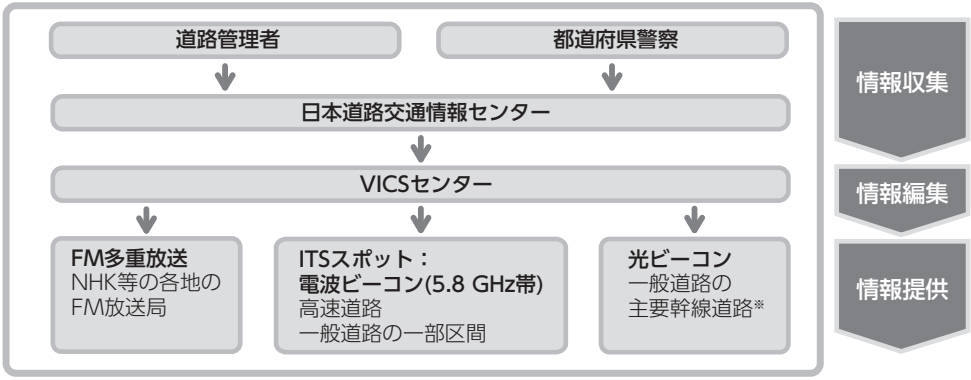
VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、渋滞や交通規制などの道路交通情報を、FM多重放送やビーコンを使ってリアルタイムにカーナビゲーションなどの車載機に届け、文字・図形で表示する情報通信システムです。

■「VICSワイド」について

本機は「VICSワイド」に対応しています。一般道リンク旅行時間情報、気象災害情報など、次世代VICSのサービスが利用できます。

■ VICS情報の流れ



※ 本機では使用できません。

交通情報の表示について

文字表示（レベル1）

簡易図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。
また、ルート情報リストでも、渋滞情報を色で確認できます。→ P.37
ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

渋滞情報を線で表示
（1km以下のスケールで表示）

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.149

受信マーク表示
VICS情報が提供された時刻を表示します。
※受信した時刻ではありません。
※メンテナンス等で休止している時間以外は、24時間VICS情報を提供しています。

VICSアイコン表示（1km以下のスケールで表示）
以下の情報をアイコンで表示します。→ P.240

交通障害情報：
事故、故障車、路上障害物、工事、作業など

交通規制情報：
通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制

駐車場情報：
駐車場、SA/PA、臨時駐車場の満車・空車情報

気象・災害エリア情報：
気象警報速報、災害速報、特別警報
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。（気象警報速報、災害速報のみ）→ P.149

カーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。
（2D地図のみ）

工事　電気工事
車線規制　1車線規制
4月13日　09時13分　～　17時00分

VICSアイコン情報は、「スクロール地点情報表示」で表示／非表示を設定できます。→ P.152

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

FM VICS情報を利用する

本機は内蔵の受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。
渋滞情報、所要時間、事故情報、事象・規制情報などが数分ごとに更新されます。

緊急情報以外のレベル1情報、およびレベル2情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

お願い

- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

MEMO

- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- FM多重情報の受信地域は変更できます。
→ P.149「FM多重情報の受信地域選択」

FM VICS情報を見る

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ FM VICS情報

2 見たい情報を選択

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を表示する。

3 見たい項目の番号を選択

FM VICS情報が表示されます。

気象・災害エリア情報について

「気象・災害情報」をONに設定した場合、気象・災害エリアの10km以内に接近すると、気象・災害情報が表示されます。

また、気象警報速報、災害速報、特別警報の地図上アイコンにカーソルを合わせると、簡易情報が表示されます。この画面で 詳細 をタッチすると、詳細情報が確認できます。

ETC2.0情報を利用する

別売のETC2.0ユニット接続時に受信できる情報です。
高速道路に設置されたETC2.0路側アンテナと、ETC2.0ユニット間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流などの情報を、リアルタイムに画像と音声で案内します。
緊急／注意警戒情報以外のレベル1情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル2情報を受信すると、自動的にETC2.0情報画面に切り替わり、情報が割り込み表示されます。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

ETC2.0情報を見る

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ETC2.0情報

2 見たい情報を選択

以下の情報を確認できます。

図形情報
文字情報
緊急・注意警戒情報
多目的情報
電子標識情報
安全運転支援情報
長文読み上げ情報

3 見たい項目を選択

MEMO

- 音声データがある場合は、自動的に音声で情報を読み上げます。
→ P.150「ETC2.0情報の自動音声読み上げ」
- 図形情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。
→ P.149「受信情報の割り込み表示」
- ETC2.0情報内の各情報は、ITSスポット情報などを受信した場合のみ選択できます。

ETC情報を利用する

ETC情報とは

本機と連動する別売のETCユニットまたはETC2.0ユニットを接続すると、料金所ゲート通過時に、ETCの料金情報、予告案内、警告情報などが表示および音声で案内されます。

— MEMO —
- 表示料金は目安です。割引などにより実際に請求される金額と異なる場合があります。

準備

●ETCユニットまたはETC2.0ユニットにETCカードを正しく挿入してください。詳しくは、ETCユニットまたはETC2.0ユニットの取扱説明書をご覧ください。

ETC情報の画面表示と案内

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。同時に「○○にお進みください。」など、車線の誘導が表示されることがあります。
予告案内例：
●**「ETCは利用できません。」**
●**「ETCがご利用可能です。」**
●**「ETC車線を通行できます。」**

警告表示

●**「ETCカードを確認してください。」**
ETCカードが故障したとき、またはETCカード以外を挿入したときに表示されます。
●**「ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください。」**
ETCユニットの異常により、本機との通信ができないときに表示されます。
●**「ETCカードを挿入してください。」**
ETCカードが正常に挿入されていないときなどに表示されます。
- ETCカードの入れ忘れ警告をONに設定した場合、本機起動時に表示されます。
→ P.77
- ETCカード未挿入の状態で 利用履歴 、最新利用日履歴 をタッチしたときに表示されます。

●**「ETCユニットがセットアップされていません。」**
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。
●**「ETCとETC2.0がセットアップされていません。」**
ETC2.0ユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。
●**「ETCユニットのセットアップは行われませんでした。カードを確認してください。」**
ETCユニットのセットアップが正常に行われなかったときに表示されます。
●**「ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください。」**
ETCカードの有効期限が切れているときに表示されます。
●**「ETCカードの有効期限が近づいています。」**
ETCカードの有効期限まで1ヶ月未満のときに表示されます。

— お知らせ —
- ETCユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETCカードの有効期限に関する警告は表示されません。

料金表示

ETCゲート通過時に料金が課金された場合、または料金の払い戻しがあった場合に表示されます。
料金表示例：
●**利用料金は、xxxx円です。**
●**払い戻し料金は、xxxx円です。**
※表示料金は目安です。

最新の利用履歴を読み上げる

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ETC情報

2 最新利用履歴の読み上げ
最後に課金されたETCの利用料金が音声で案内されます。

— お知らせ —
- 直近のETC利用後に本機の電源を切った場合、利用履歴の読み上げはできません。

ETCの利用履歴を表示する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ETC情報

2 利用履歴 または 最新利用日履歴

ETCカードが挿入されているときにETC情報が表示されます。

利用履歴：
最新の履歴より、最大100件のETC情報を表示する。

最新利用日履歴：
最新日に利用したETC情報のみ表示する。

— MEMO —

- 履歴読み出し中にETCカードを排出した場合などは、読み出しが正常に行われません。このとき「すべての情報を取得できませんでした。一部の情報が表示できません。」と表示されることがあります。
- 使用履歴のないETCカードの場合は、「情報がありません。」と表示されます。
- ITSスポット付近では、ETC情報の履歴の読み出しが正常に行えない場合があります。
- 利用履歴の最大表示件数はETCカードにより異なります。

ETC/ETC2.0の セットアップ情報を表示する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ETC情報

2 セットアップ情報

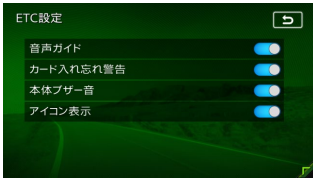
ETCの場合…
車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。
ETC2.0の場合…
車載器管理番号、型式登録番号が表示されます。

ETCの設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ETC情報

2 ETC設定

3 各項目を設定



音声ガイド：
本機からの音声案内をする（ON）／しない（OFF）を切り替える。
（初期値：ON）

カード入れ忘れ警告：
ETCカードを入れ忘れたときに警告する（ON）／しない（OFF）を切り替える。
（初期値：ON）

本体ブザー音：
ブザータイプのETCユニット接続時に、ブザー音を鳴らす（ON）／鳴らさない（OFF）を切り替える。（初期値：ON）
以下の場合にブザー音を鳴らします。

- ゲート通過時
- ETCカード挿入時／排出時
- 車両の電源を「ACC」または「ON」時にETCカード未挿入
- 車両の電源を「ACC」または「ON」時に有効期限間近/有効期限切れのカード挿入済

※ETC2.0ユニット接続時は、本体ブザー音 は表示されません。

アイコン表示：
画面上にETCアイコンを表示する（ON）／しない（OFF）を切り替える。
（初期値：ON）

その他の情報を利用する

GPSから現在地の情報を取得する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定

2 GPS現在地情報

GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星・準天頂衛星の数が表示されます。

— MEMO —

- 準天頂衛星について
  GPS衛星に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部や都市部でもより正確な測位ができます。

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、お車の消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ表示、交換間隔／更新機能を設定できます。

オイル関連：
エンジンオイル、オイルフィルタ、ミッションオイル、ブレーキオイル

タイヤ関連：
空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換

消耗品：
ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド

点検・車検：
車検、定期点検
（日付とお知らせ表示のみ、設定できます）

免許証・保険：
免許証更新、自動車保険更新
（日付とお知らせ表示のみ、設定できます）

オリジナル1 ～ オリジナル3：
任意の項目を設定できます。
（お知らせ表示、名称、お知らせ日、お知らせ距離が設定できます）

— MEMO —

- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際にメンテナンスが必要な時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

ここでは、例としてエンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を説明します。

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ メンテナンス

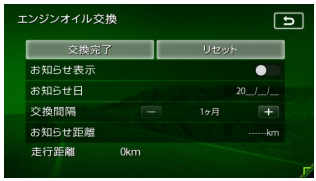
2 オイル関連

— MEMO —

- オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチした場合→手順4

3 エンジンオイル

4 各項目を設定



設定できる項目は以下のとおりです。
設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：
メンテナンス時期をお知らせ表示する（ON）／しない（OFF）を設定する。
（初期値：OFF）

お知らせ日：
お知らせする日を設定する。

交換間隔 ＋ － ：
1 ヶ月単位でお知らせする交換間隔を設定する。
例：「交換間隔」を24 ヶ月に設定し 交換完了 をタッチすると、現在の日付から24 ヶ月後がお知らせ日に設定されます。お知らせ日に、再度同じ間隔で案内させる場合は、交換完了 をタッチすると、さらに24 ヶ月後がお知らせ日に設定されます。

お知らせ距離 ：
お知らせする走行距離を設定する。
計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

走行距離 ：
お知らせ表示をONにした後、走行距離がカウント表示される。

名称 ：
メンテナンス項目の名前を設定する。
手順2で オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチしたときのみ表示されます。

交換完了 ：
走行距離を0にリセットする。
設定した交換間隔でお知らせ日が更新されます。

リセット ：
選択した項目のお知らせ設定を初期化する。

お知らせメッセージを確認する

メンテナンス項目が設定された年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにお知らせのメッセージが表示されます。

1 確認

後で見る ：
後からメンテナンス項目を確認する。
「お知らせ設定をする」の手順2、3で ⓘ が表示されている項目がお知らせされた項目です。→ P.78
交換完了 をタッチすると、ⓘ は消えます。

2 **お知らせ項目を選択**

次のメンテナンス時期を設定します。

お店へ行く ：
登録した販売店までのルートを探索する。

— MEMO —
- 「お知らせ日」と「お知らせ距離」を両方設定できる項目は、どちらか一方だけでも設定できます。両方設定した場合は、どちらかの設定に達するとお知らせ表示されます。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルートガイドできます。

1 MENU ▶ **ナビエリア** の 情報・設定 ▶ メンテナンス

2 販売店情報

3 販売店登録

4 **販売店の地点を探す**

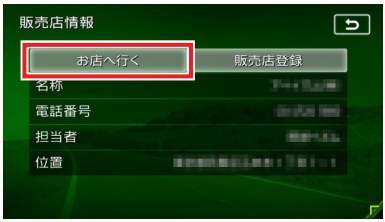
5 決定

6 はい

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

販売店を登録したら

販売店情報を登録した後の販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの検索結果画面が表示されます。



検索結果画面の ガイド開始 をタッチすると、販売店までのルートが探索され、ルートガイドが開始されます。

— MEMO —
- 販売店情報を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチしてください。

本機の情報（確認コード）を見る

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞ ▶ 本体情報

バージョン情報画面が表示されます。

2 情報を選択

バージョン情報：
地図データのバージョン情報を表示する。

製品情報：
地図更新の際に使用する確認コードなどを表示する。

本体更新：
以下を表示または実行する。
- プログラム／地図更新
- 無料地図更新の有効期間
- 無料地図更新を促すメッセージ表示や音声案内の切り替え

エコロジー情報を表示する

1 ツールエリアを表示→ P.140

瞬間エコロジー度とエコロジー運転情報を確認できます。

エコロジー運転情報

瞬間エコロジー度

瞬間エコロジー度
停車、加速、減速などの走行状態から、1秒あたりのエコロジー度を判定したものです。

設定：
車両設定画面を表示する。

履歴：
エコロジー情報履歴画面を表示する。
（最大10日分）
1日あたりの平均エコロジー度が棒グラフで表示されます。

エコロジー運転情報
走行状態によって、eスタート率、アイドリング時間、急加速警告などの情報が表示されます。
eスタートとは…
燃費向上のため少し緩やかに発進することで、「最初の5秒間で時速20kmに達するくらいの加速」が目安となります。発進時、このeスタートをどれだけの割合でできたかを判定したものがeスタート率です。

マルチメーター情報を見る

お願い
- マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。実際の車両速度は、お車のスピードメーター表示で判断してください。

1 ツールエリアを表示→ P.140

マルチメーター情報を確認できます。

以下の情報を表示します。
- max：最高速度(km/h)
- avg ：平均速度(km/h)
- spd ：走行速度(km/h)
- odo：走行距離(km)

目的地設定、ルート消去、ガイド中断などを行うと、表示された情報はリセットされます。

通信機能を利用する

通信を利用してできること

Bluetooth接続では、Bluetooth対応携帯電話／スマートフォンを使って、ハンズフリー通話、スマートフォンとの連携などの機能を利用できます。
Wi-Fi接続では、スマートフォンを使って、本機との連携機能を利用できます。
Wi-Fi接続でスマートフォンと連携する場合はBluetooth接続も必要です。

準 備

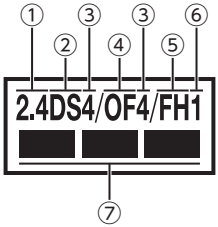
●Bluetooth接続を使ってハンズフリー電話、Bluetoothオーディオ、スマートフォンとの連携を利用する際は、携帯電話を本機に登録（ペアリング）してください。
ご利用可能な携帯電話の種類については、以下のWebサイトをご覧ください。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/
●Wi-Fi接続を使ってスマートフォンとの連携を利用する際は、以下の設定を行ってください。
・スマートフォンを本機に登録→ P.91

Wi-Fi、Bluetooth機器の取り扱いについて

Wi-Fi、Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。



①2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
②DS：DS-SS変調方式を表します。
③4　：想定される与干渉距離は約40mです。
④OF：OFDM変調方式を表します。
⑤FH：FH-SS変調方式を表します。
⑥1　：想定される与干渉距離は約10mです。
⑦　：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域は回避可能です。

Bluetooth対応機器を登録する

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、携帯電話のハンズフリー通話、対応機器のオーディオ再生などができます。
機器登録は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。
接続可能な携帯電話の情報については、以下のWebサイトをご覧ください。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

MENU ▶▶
ツールエリア の 電話 ▶▶

電話メニュー画面

MENU ▶▶
ツールエリア の 設定 ▶
▶ Bluetooth設定 ▶▶

Bluetooth設定画面

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器間で通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。→ P.83

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリー通話
HFP（Hands-Free Profile：ハンズフリープロファイル）

電話帳転送
OPP（Object Push Profile：オブジェクトプッシュプロファイル）
PBAP（Phone Book Access Profile：フォーンブックアクセスプロファイル）

オーディオ
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile：高度オーディオ配信プロファイル）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile：オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル）

スマートフォンとの連携
SPP（Serial Port Profile：シリアルポートプロファイル）

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

MEMO
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth対応機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- Bluetooth対応機器について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）

はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ Bluetooth設定

2 機器登録

3 機器登録する

Bluetoothでできること：
Bluetooth機能を使って本機でできることを紹介する。

— お知らせ —

- すでに5台まで登録されている場合は、確認画面が表示されます。 消去 をタッチして、登録情報を消去してください。

4 接続するBluetooth対応機器のBluetooth設定をONにする

5 Bluetooth対応機器から「NX-BT」（初期値）を選択し、パスキー「1212」（初期値）の表示を確認

USBケーブル接続で登録（iPhoneのみ）：
iPhoneの場合、画面の指示にしたがいBluetooth設定を「ON」にしたうえでUSB接続する。
ペアリングできない場合は、USB接続を一度解除し、再度接続してください。

対応機器について：
対応機器の詳細を確認する。

— MEMO —

- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

6 終了する

携帯電話を接続した場合、ペアリング完了後、ツールエリアのトップ画面に以下のアイコンが表示されます。

接続機器の登録番号を表示します。

Bluetooth接続中の携帯電話の受信感度を表示します。

Bluetooth接続中の携帯電話の電池残量を表示します。

— お知らせ —

- ペアリング完了後、Bluetooth設定画面の「Bluetooth」がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続（通話、通信）やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されます。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

- Bluetooth対応機器を再登録する際は、Bluetooth対応機器から本機（NX-BT）を消去してから再度登録してください。

MEMO
- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- iPhoneをペアリング完了後にUSB接続を一度解除し、再度接続した場合は、iPhone内の登録機器名称が「NX-BT」から「QY9000MD」へ変更される場合がありますが、そのままご使用できます。
  車載機のデバイス名を変更していても、「QY9000MD」に上書きされる場合があります。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
  ただし、自動的に再接続を試みるのは、電話メニュー画面の「使用機器」で表示されているBluetooth対応機器のみになります。また、Bluetoothオーディオ再生中は再接続を行いません。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth設定画面の 接続機器の選択 をタッチしてリストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.84

Bluetooth機能のON/OFFを切り替える

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ Bluetooth設定

2 Bluetooth

BluetoothのON/OFFが切り替わります。（初期値：OFF）

MEMO
- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ Bluetooth設定

2 接続機器の選択

3 切り替えたい機器をタッチ

未登録 ：
Bluetooth機器登録画面を表示する。
→ P.83
すでに5台まで登録されている場合は表示されません。

お知らせ
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは1台のみです。

MEMO
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録したBluetooth対応機器を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ Bluetooth設定

2 接続機器の選択

3 消去したい機器の 消去 をタッチ

4 はい

— お知らせ —

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいときなどに、パスキーとデバイス名称を変更できます。（初期値：パスキー「1212」、デバイス名「NX-BT」）

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ Bluetooth設定

2 車載機のBluetooth情報・変更

3 パスキー または デバイス名

4 新しいパスキー、または名称を入力

5 決定

— お知らせ —

- デバイスアドレスは変更できません。

携帯電話を利用する

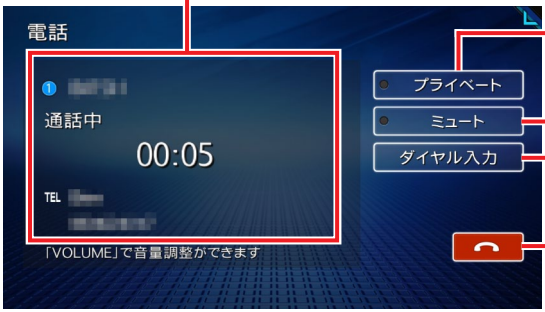
お願い

- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面



通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。
ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

送話音声が消音状態になります。

番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力できます。

通話を終了します。

お知らせ

- 携帯電話の機種によっては、通話中に別の着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 ダイヤル入力

3 電話番号を市外局番から入力

4 電話をかける

入力した電話番号で発信され、電話がかかります。

：
呼び出し途中に電話を切る。

5 通話を終了する場合は

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。

MEMO

- 携帯電話の機種によっては、ダイヤル発信中に電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらく経ってから、再度ダイヤル発信を行ってください。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 電話がかかってきたら

保留する：
応答を保留する。
保留を解除する場合は、 をタッチしてください。
通話を終了したい場合は、 をタッチしてください。電話を切り、着信直前の画面に戻ります。

：
着信中に電話を切る。

着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

発着信履歴からかける

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 発着信履歴

3 着信履歴 、発信履歴 または 不在着信履歴

4 リストから発信先を選択

5 電話をかける

登録されている電話番号で発信され、電話がかかります。

短縮登録する：
短縮ダイヤルとして登録する。

— お知らせ —
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

— MEMO —
- 発着信および不在着信の履歴は、本機に記録された最新の100件が表示されます。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称が表示されます。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴が表示されます。

ハンズフリー電話帳を登録する

携帯電話の電話帳を本機に登録できます。

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 **(はじめて登録する場合)**
ハンズフリー電話帳 ▶ はい

(2回目以降の場合)
ハンズフリー電話帳 ▶ 電話帳ダウンロード

3 **ダウンロード方法を選択**

携帯メモリー括ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

携帯メモリ追加ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

— MEMO —
- 2回目以降の登録では、確認画面が表示されます。 はい をタッチして電話帳を更新してください。

接続機器の選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。

— お知らせ —
- 携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯メモリ追加ダウンロード を選択した場合、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて携帯電話側で電話番号を消去してください。

— MEMO —
- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。再度、接続機器の選択画面から接続する携帯電話を選択してください。
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり2000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  - (携帯電話)
  - (一般電話)
  - (自宅)
  - (会社)
  - TEL (その他)
- 転送した電話帳は、50音順（読みがな）でリスト表示されます。携帯電話での表示順とは異なる場合がありますので、発信の際は電話番号をご確認ください。

ハンズフリー電話帳から電話をかける

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 ハンズフリー電話帳

3 電話をかける相手を選択

電話帳ダウンロード：
電話帳データに変更がある場合、更新する。

4 電話番号を選択

5 電話をかける

登録されている電話番号で発信され、電話がかかります。

施設情報から電話をかける

Bluetooth対応携帯電話を本機に接続すると、施設情報画面に 電話をかける が表示され、電話をかけられます。

1 施設情報画面で 電話をかける

登録されている電話番号で発信され、電話がかかります。

販売店へ電話をかける

メンテナンス情報に登録されている販売店へ電話をかけます。

準 備

●販売店を登録してください。→ P.79

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 販売店に電話する

3 電話をかける

登録されている販売店に電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

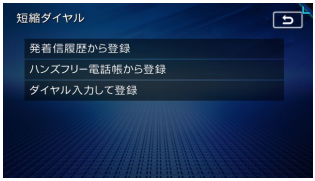
本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 短縮ダイヤル

3 新規登録

4 登録する方法を選択



発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択する。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択する。

ダイヤル入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力する。
入力後は、決定 をタッチしてください。

5 登録情報を確認

短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

— MEMO
- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

短縮ダイヤルから電話をかける

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 短縮ダイヤル

3 ダイヤルしたい相手先を選択

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルで発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 短縮ダイヤル

3 編集したい短縮ダイヤルを選択

4 編集する

編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

5 決定

電話の設定をする

通話音量と着信音の設定をする

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 電話設定 ▶ 電話音量調整

3 各項目を設定

着信音量 ＋ － ：
着信音量をレベル1 ～ 16に設定する。（初期値：レベル4）

受話音量 ＋ － ：
受話音量をレベル1 ～ 16に設定する。（初期値：レベル4）

送話音量 ＋ － ：
送話音量をレベル1 ～ 5に設定する。（初期値：レベル3）

自動応答保留 ：
電話着信時の2秒後に電話をつなぎ、保留状態にする。（初期値：OFF）

車載機の着信音使用 ：
本機からの着信音を使用する（ON）／しない（OFF）を切り替える。（初期値：OFF）

— MEMO
- 着信中、または通話中に、＋ － を操作しても、音量を調整できます。
- 通話中の音量レベルは保存されます。AVソースで音量を変更しても、次回通話時に自動的に元の音量に戻ります。

電話のメモリを消去する

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 電話設定 ▶ メモリ消去

3 消去するデータを選択

短縮ダイヤル：
登録済みの短縮ダイヤルをすべて消去する。

発着信履歴：
発着信履歴を消去する。
- 一括消去 をタッチすると、すべての発着信履歴を消去します。
- 履歴ごとに消去 をタッチすると、消去したい履歴を選択できます。

ハンズフリー電話帳：
ハンズフリー電話帳のデータをすべて消去する。

メモリ全消去：
短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去する。

4 はい

選択したデータが消去されます。

携帯電話の電話帳を自動でダウンロードする

車両の電源を「ACC」または「ON」にしたとき携帯電話が接続されていれば、電話帳を自動で一括ダウンロードします。自動ダウンロード機能を利用しない場合は、「自動ダウンロード」をOFFに設定してください。

1 MENU ▶ ツールエリア の 電話

2 電話設定 ▶ 自動ダウンロード

自動ダウンロードのON/OFFを切り替えます。（初期値：ON）

Wi-Fiで接続する

お知らせ
- スマートフォンとの連携機能には、専用アプリケーションのSmart Access 4Carが必要です。
- Wi-Fi接続でスマートフォンとの連携を利用する場合はBluetooth接続も必要です。
- Wi-Fi接続を使用するためには、スマートフォンのテザリング契約が必要です。詳しくは、ご契約の通信事業者にご確認ください。
- 本機は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することができません。

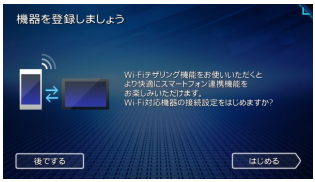
Wi-Fi対応機器を登録する

はじめてWi-Fi対応機器を利用するときは、本機に登録してください。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 Wi-Fi設定 ▶ 機器登録

3 はじめる

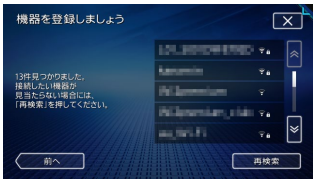


お知らせ
- すでに5台まで登録されている場合は、確認画面が表示されます。 消去する をタッチして、登録情報を消去してください。

4 接続する機器のWi-Fiテザリング機能をONにし、次へ

お知らせ
- テザリング機能の設定方法について詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

5 **接続する機器を選択する**



MEMO

- Wi-Fi対応機器にセキュリティ設定がかかっている場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して 次へ をタッチしてください。

Wi-Fi接続が完了します。

6 終了する

接続完了後、ツールエリアのトップ画面に以下のアイコンが表示されます。

接続中のWi-Fi機器の受信感度を表示します。

お知らせ

- Wi-Fiテザリング機能を使用する際は、「Wi-Fi」がONであることを確認してください。

Wi-Fi接続のON/OFFを切り替える

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 Wi-Fi設定 ▶ Wi-Fi

Wi-Fi接続のON/OFFが切り替わります。（初期値：OFF）

接続するWi-Fi対応機器を切り替える

本機に複数のWi-Fi対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 Wi-Fi設定 ▶ 接続機器の選択

3 **切り替えたい機器をタッチ**

未登録 ：
Wi-Fi機器登録画面を表示する。
→ P.91
すでに5台まで登録されている場合は表示されません。

登録したWi-Fi対応機器を消去する

登録済みのWi-Fi対応機器の情報を消去します。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 Wi-Fi設定 ▶ 接続機器の選択

3 **消去したい機器の** 消去 **をタッチ**

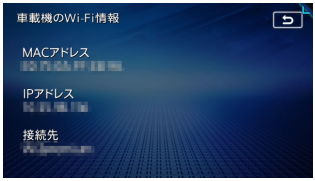
4 はい

車載機のWi-Fi情報を表示する

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 Wi-Fi設定 ▶ 車載機のWi-Fi情報

本機のMACアドレス、IPアドレス、および接続中のSSID名が表示されます。



スマートフォンと連携する

お手持ちのスマートフォンと本機を連携することで、スマートフォン上の各種アプリケーションをお楽しみいただけます。

Smart Accessを利用する

Smart Access（スマートアクセス）は、自動車ユーザーの皆様に快適・安心・便利なドライブをお楽しみいただくための、クラウド情報ネットワークサービスです。
車とSmart Accessとをスマートフォンなどで「つなげる」ことで、クラウドをはじめとしたさまざまな技術により、エンターテインメント・ドライブ関連情報・インターネット情報など、多彩な利便性を車の中のお客様に提供します。

●対象OS：iOS 9.0以降、Android OS5.0以降（2022年10月時点）
●対応Bluetoothプロファイル：SPP（Serial Port Profile）、
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）

お願い

- スマートフォンとの連携機能を利用する場合、スマートフォンの通信料金が発生します。通信料金は、利用されたスマートフォンの契約者のご負担となります。ご利用方法によっては、携帯電話会社からの請求額が高額となる場合があります。事前にご契約の携帯電話会社の料金プランや利用方法をご確認ください。利用頻度により定額データプランなど、最適な料金プランでのご利用をおすすめします。

スマートフォン側での準備

1. **App StoreやGoogle PlayストアからSmart Access 4Carアプリケーションを、お手持ちのスマートフォンにインストールする**

Smart Access 4Car

App Store　Google Playストア

お知らせ

- 走行中は、運転の妨げにならないよう、操作できないアプリケーションがあります。
- 常時配信される情報コンテンツの知的財産権については、情報提供者が保有します。
知的財産権を保有する情報提供者の事情により、サービスの内容が変更、および停止される可能性があります。
- 本機とスマートフォンをBluetoothまたはUSBで接続した後、スマートフォン側を操作しSmart Access 4Carアプリケーションを起動してから、本サービスをご利用ください。手順について詳しくは、「Smart Accessアプリケーションを起動する」をご覧ください。→ P.94
- iPhoneはUSB接続でもご利用になれます。USB接続した場合、Bluetooth接続は必要ありません。ただし、Bluetooth接続した別のiOS機器の音楽を、オーディオメニューの Bluetooth Audio から再生できません。

Smart Access アプリケーションを起動する

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

❗ お願い

- 通信状況によっては、アプリケーションの起動に時間がかかることがあります。あらかじめご了承ください。
- はじめてご利用になる場合は、「Smart Access」から必要なデータをダウンロードするため、通信状況にかかわらず、アプリケーションの一覧表示や、アプリケーションの起動に時間がかかることがあります。

準 備

●Smart Access 4Carアプリケーションをスマートフォンにインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新バージョンであることを確認してください。

1 **(iPhoneをUSBで接続する場合)**
iPhoneをUSBで本機に接続
→ P.134

お知らせ
- USBで接続できるのは、iPhoneの場合のみです。

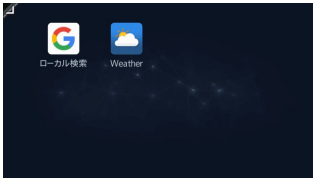
(Bluetoothで接続する場合)
Bluetooth機器登録画面で、車載機と連携させるスマートフォンを選択
→ P.83「Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）」

MEMO
- アプリケーションから電話発信をする場合、Bluetooth接続が必要となります。

2 **スマートフォン側で「Smart Access 4Car」を起動する**

3 **本機側で MENU ▶ APPエリア の Smart Access**
Smart Accessアプリケーション一覧画面が表示されます。

4 **起動したいアプリケーションを選択**



アプリケーションが起動します。

Smart Accessを終了する

Bluetooth接続をOFF、またはUSB接続を解除すれば連携が終了します。→ P.84
ご利用中のアプリケーションに 終了 がある場合は、タッチしても連携を終了できます。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

本機では、ラジオ、テレビ、DVDなど、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ディスク・SDカードの出し入れ

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、ディスク、またはSDカードを本機に挿入してください。

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。**

❗ お願い

- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- SDカードの端子面には触れないでください。

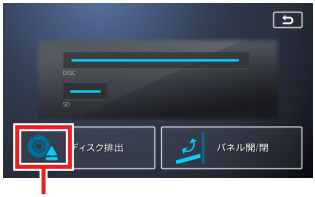
ディスクの入れかた

❗ お願い

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルではさみ込んでしまうことがあります。

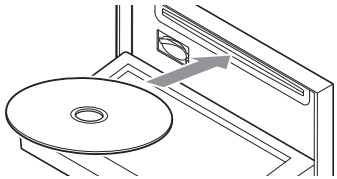
1 ⏏ ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。



ディスクが挿入されている場合、ハイライト表示されます。

2 ディスクのレーベル面を上にして、挿入口に差し込む



操作パネルが自動的に閉まり、ディスクの再生がはじまります。

お知らせ

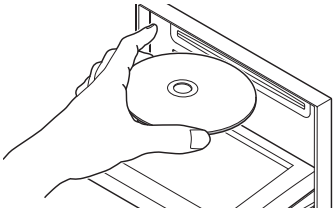
- ディスクを途中まで差し込んでも自動的に引き込まれない場合は、すでに別のディスクが挿入されています。無理やり挿入せずに、別のディスクを取り出してから挿入し直してください。

ディスクの取り出しかた

1 ⏏ ▶ ディスク排出 、または ⏏ を長押し

操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



3 ⏏ または パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

MEMO

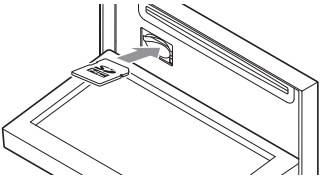
- ディスクを排出したまま取り出さないでいると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカードの入れかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 **SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む**



お願い

- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

3 ⏏ **または** パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

お知らせ

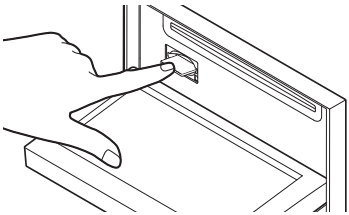
- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SDカードの取り出しかた

1 ⏏ ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 **SDカードを押す**



SDカードが少し飛び出します。

3 **SDカードを取り出す**

4 ⏏ **または** パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

お願い

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

ソース選択画面を表示する

1 AV

オーディオ画面以外（地図画面など）が表示されている場合は、AV を2回押してください。

ソース選択画面が表示されます。

各ソースのオーディオ画面から ♫ を選択して、ソース選択画面を表示させることもできます。

※画面はラジオの場合です。

お知らせ

- 電話の通話中は、本機のAVソースの切り替えはできません。2-ZoneがONの場合、後席用モニターのソースは切り替え可能です。

オーディオの音量を調整する

1 ＋ **または** －

MEMO

- ＋ または － を長押しすると、連続して音量が変化します。

オーディオ画面／地図画面を切り替える

オーディオ画面に切り替える

1 AV

選択中のソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

地図画面に切り替える

1 現在地

地図画面が表示されます。

オーディオをON/OFFする

OFFからONにする

1 AV を長押し

オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

— お知らせ

- 電話の通話中は、AV の長押しは使用できません。

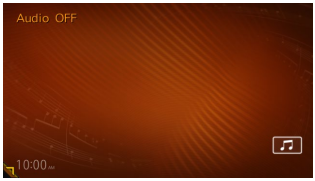
— MEMO

- ソース選択画面でソースを選択、またはディスクを挿入しても、オーディオをONにできます。

ONからOFFにする

1 AV を長押し、または ソース選択画面で Audio OFF

オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。



— お知らせ

- 電話の通話中は、AV の長押しは使用できません。

— MEMO

- オーディオをOFFにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

オーディオの音質を設定する

1 各オーディオ再生画面で

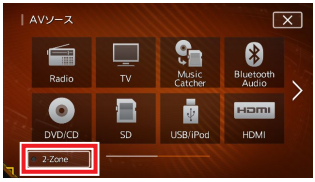
※画面はラジオの場合です。

音響設定画面が表示されます。→ P.159

本機と後席用モニターでAVソースを切り替える（2-Zone）

別売の後席用モニターをHDMI接続している場合、本機と後席用モニターで別々のソースを視聴できます。→ P.169

1 **ソース選択画面で 2-Zone**



2-Zone がハイライト表示され、画面右上に Front Rear のキーが表示されます。
また、後席用モニター用のソース選択画面に切り替わります。

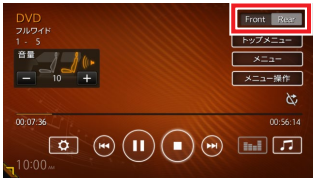
— MEMO —

- 2-Zone は本機とリアモニターとのHDMI接続が認識されると表示されます。

2 **後席用モニター側で再生したいソースを選択**

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

3 **Front または Rear**



本機側、または後席用モニターで選択中のソースのオーディオ画面に切り替わります。

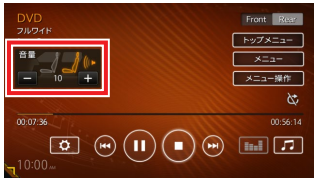
— お知らせ —

- 以下の場合、2-Zoneはご利用になれません。
  - SDカード／USBメモリーのファイルのうち、サンプリング周波数が48kHzを超えるファイルを再生中の場合
  - CD録音中の場合
- 2-Zoneをご利用中にCDの録音を開始すると、2-ZoneはOFFに切り替わります。
- 2-ZoneがONの場合、SDカード／USBメモリーのファイルのうち、サンプリング周波数が48kHzを超えるファイルは再生できません。
- 2-ZoneがONの場合、本機と後席用モニターで選択できるソースは異なります。また、組み合わせによっては同時に選択できないソースがあります。
  詳しくは、「2-Zone機能ON時に本機・後席用モニターで選択可能なソース一覧」をご覧ください。→ P.171
- 電話の通話中は、本機のAVソースの切り替えはできません。2-ZoneがONの場合、後席用モニターのソースは切り替え可能です。
- カメラ映像表示中は、AVソースの切り替え、および2-ZoneのON/OFF切り替えはできません。ただし、AVソースの切り替えは、ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ操作時のみ可能です。

リア側（リアスピーカー）のオーディオ音量を調整する

1 **後席用モニター側で再生しているソースのオーディオ画面を表示**

2 **画面上の ＋ または － をタッチ**



— お知らせ —

- 本機側の ＋ または － を押すと、本機側（フロントスピーカー）のオーディオ音量が調整されます。

ラジオを聴く

ラジオを受信する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

ラジオ放送を受信します。

MEMO

- 本機はFM補完放送「ワイドFM」（90.1MHzから94.9MHz）に対応しています。

ラジオ受信時の操作

FM/AMを切り替える

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 受信バンドを選択

AMラジオとFMラジオが切り替わります。

MEMO

- 自宅モードの場合は「AM」、「FM1」、「FM2」から、お出かけモードの場合は「AM」または「FM」から選択します。

自動で選局する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 ⏮ または ⏭ を長押し

受信可能な放送局を検出すると、自動的にその放送局を受信します。

MEMO

- 手順3で ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。

手動で選局する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

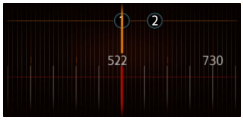
2 Radio

3 ⏮ または ⏭

周波数が切り替わります。

MEMO

- 手順3で ＜ または ＞ を押しても、同様の操作ができます。
- 周波数選択エリア上をドラッグしても周波数を切り替えられます。



プリセットチャンネルリストから選局する

プリセットチャンネルリストに登録した放送局から選局できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 リストから放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

自車位置を中心としたエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を選局できます。
自宅モードのAM/FM1/FM2、お出かけモードのAM/FMに、それぞれ6放送局まで登録できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数で、異なる放送局名が存在するとき、リストに「重複」と表示される場合があります。「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えられます。

地域別プリセットチャンネルリストを切り替える

「自宅」にお住まいの地域、「お出かけ」によく行く地域の放送局を登録しておくと、お出かけのときにもプリセットチャンネルリストをワンタッチで切り替えて利用できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 お出かけ

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時は、お出かけ がハイライト表示されます。自宅モード選択時には お出かけ がOFFになります。

— MEMO —
- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 ⚙

4 オートストア ▶ はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

キャンセル：
オートストアを中止する。

— お知らせ —
- オートストア中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- オートストアを中止した場合、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。

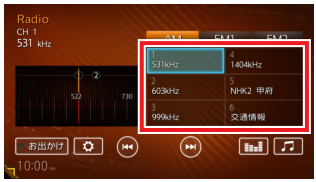
リストに手動で登録する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 お好みの放送局を手動で選局

4 プリセットチャンネルリストの登録したいキーを、「ピーッ」という音がするまで長押し



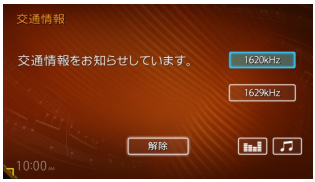
受信中の放送局が上書き登録されます。

ラジオの交通情報を受信する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース ▶ ＞

2 交通情報

交通情報を受信します。



1620kHz / 1629kHz ：
周波数を切り替える。

解除 ：
交通情報を聞く前に視聴していたオーディオソースに戻る。

— MEMO —

- DVDやiPodなどのソースの一時停止中に交通情報を受信し、再度元のソースに戻ると、一時停止が解除され、再生がはじまります。
- ＜ または ＞ を押しても、周波数を切り替えられます。

ラジオの設定をする

ラジオの受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

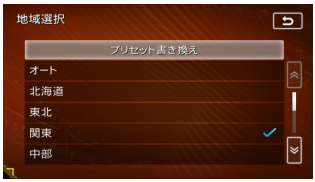
1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 Radio

3 ⚙

4 地域選択

5 地域を選択



オート ：
自車位置に応じた地域の放送局を表示する。

6 プリセット書き換え ▶ はい

選択した地域に対応した放送局が、プリセットチャンネルリストに上書きされます。

テレビを見る

⚠ 警告

- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**
- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

MEMO

- 本機は地上デジタル12セグ放送と1セグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的に1セグ放送に切り替えられます。→ P.108
- テレビ受信中の音量レベルは保存されます。他のソースで音量を変更しても、次回テレビ受信時に自動的に元の音量に戻ります。
- テレビ受信時に（主に弱電界で）画像が乱れる、一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

準 備

●付属のTVアンテナが正しく接続されているか確認してください。

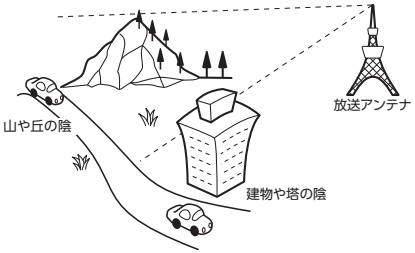
テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。

●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。

●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

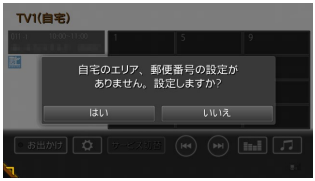


はじめてテレビを見るときは

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 はい

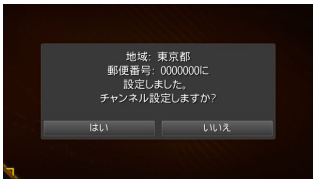


いいえ：
テレビ画面に切り替わる。
この場合、プリセットチャンネルリストに放送局は登録されません。

4 テレビを受信する地域を選択

5 テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定

6 はい



オートストアを開始します。
受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。

オートストアが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

MEMO
- 手順4、手順5で「設定しない」を選択しても、オートストアを実行できます。
- 手順6で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。
→ P.110「優先エリアを切り替える」

操作画面を表示する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

操作キーが表示されます。

映像部分をタッチすると、操作キーが非表示になります。

テレビの選局をする

テレビ画面から選局する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ ▶ 放送局を選択

選択した放送局に切り替わります。

MEMO
- ⏮、⏭ をタッチ、または ＜、＞ を押すと、順送りで放送局を切り替えられます。

自動で選局する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ⏮ または ⏭ を長押し

選局をはじめ、放送局を受信すると止まります。

MEMO
- 手順4で ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.108

受信可能な中継局／系列局を探す

受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えられます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 系列局サーチ

自車位置を中心としたエリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたぐ場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信できます。
→ P.109

MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.108
- 系列局に切り替わったとき、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 番組表

5 ▲、▼、◀、▶ で番組を選択 ▶ 決定

選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
番組表の表示を1セグ／ 12セグに切り替える。
※「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合のみ→ P.108

更新：
番組表の内容を更新する。

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示する。

翌日：
翌日の番組表を表示する。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／メインチャンネル＋サブチャンネルに切り替える。

拡大縮小：
4パターンの拡大縮小画面を表示する。

— MEMO —
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。→ P.106

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよび1セグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 設定

5 チャンネル番号入力

6 チャンネル番号を入力 ▶ 決定

— お知らせ —
- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。

— MEMO —
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、1セグ／ 12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。→ P.108
「1セグ固定」の場合は1セグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

自車位置を中心としたエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を選局できます。
自宅モードとお出かけモードに、それぞれ12放送局まで登録できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

お知らせ

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 1セグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。→ P.108

地域別プリセットチャンネルリストを切り替える

「自宅」にお住まいの地域、「お出かけ」によく行く地域の放送局を登録しておくと、お出かけのときにもプリセットチャンネルリストをワンタッチで切り替えて利用できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 お出かけ

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時は、お出かけ がハイライト表示されます。自宅モード選択時には お出かけ がOFFになります。

MEMO

- サブチャンネルを視聴しているときにプリセットチャンネルリストを切り替え、再度元のリストに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

リストに自動で登録する（オートストア）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ オートストア

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

お知らせ

- オートストア中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- 未登録のプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。

MEMO

- お出かけモード中で、お出かけ地域を設定している場合は、手順4の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」と表示されます。→ P.110「優先エリアを切り替える」
はい または いいえ をタッチして、オートストアを行います。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートストアを中止した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。
- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.110
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.108
「1セグ固定」、または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 お好みの放送局を手動で選局

5 プリセットチャンネルリストの登録したいキーを、「ピーッ」という音がするまで長押し

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中の放送局にサブチャンネルがある場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 プリセットチャンネルリスト内のサブチャンネルに切り替えたいチャンネルを選択

5 サービス切替

サブチャンネルに切り替わります。

— MEMO —

- サブチャンネルからメインチャンネルに切り替える場合も、サービス切替 をタッチしてください。
- 以下の場合、メイン／サブチャンネルの切り替えはできません。
  - サブチャンネルが放送されていない放送局
  - プリセットチャンネルリストに登録されていない放送局
  - メイン／サブチャンネルで同一の内容を放送している場合（12セグのみ）
  - 番組情報が未取得の場合（12セグのみ）

テレビの便利な機能を利用する

テレビの番組内容を見る（12セグ放送のみ）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 番組内容

— MEMO —

- 番組表（EPG）画面で現在放送中ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。→ P.104
  この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、1セグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかにデータ放送があります。データ放送では、自車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせします。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ データ放送操作キー呼出

5 ✥ をタッチ

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

画面上に操作キーが表示されます。

6 データ放送操作キーを選択

d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

◀ ▲ ▶ ▼：
選択項目を切り替える。

青 赤 緑 黄：
画面に表示されている説明の動作を行う。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

決定：
選択している項目を決定する。

10キー：
数字入力メニューに切り替える。

非表示：
操作キーの表示を消す。

キー移動：
操作キーの位置を画面の左右に移動する。

— お知らせ —

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- データ放送取得中は、画面下に「データ取得中です。」と表示されます。表示が消えてから d をタッチしてください。

— MEMO —

- データ放送がない番組の場合、データ放送画面は表示されません。
- 数字入力メニュー画面で ✥ をタッチすると、手順6の画面に戻ります。
- 「優先エリアを切り替える」（→ P.110）で優先地域と郵便番号を設定すると、ニュース・天気予報などデータ放送の表示内容に反映されます。

■ データ放送でソフトウェアキーボードを利用する

データ放送中、文字入力ができる画面ではソフトウェアキーボードが表示されます。

×：
入力した文字を1文字消去する。
カーソルが文字の右端にあるときに長押しすると、文字がすべて消えます。カーソルが文字の間にあるときに長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

◀ ▶：
カーソルを左右に移動する。

文字種別：
入力文字の種類を切り替える。

大文字 小文字：
大文字／小文字を切り替える。

全角 半角：
全角／半角を切り替える。

決定：
入力内容を確定させ、ソフトウェアキーボードを終了する。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に、いち早く視聴者に情報を知らせる放送システムです。
テレビを視聴中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました。」と表示されます。その後、自動で緊急放送に切り替わります。放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

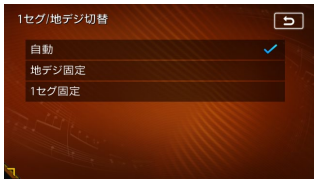
— MEMO —
- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

地上デジタル放送の設定をする

1セグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、1セグ放送へ自動的に切り替える設定ができます。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していた放送局の1セグ放送に自動的に切り替わります。(初期値:自動)
また、1セグのみ、または12セグのみ受信する設定もできます。

1. MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2. TV
3. 画面をタッチ
4. ☼ ▶ 設定
5. 1セグ/地デジ切替
6. 目的の項目を選択



自動：
12セグ放送と1セグ放送を自動で切り替える。
手動で1セグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。

地デジ固定：
12セグ放送を受信する。
電波が弱くなっても1セグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1セグ固定：
1セグ放送を受信する。

— MEMO —
- 以下の場合は自動的に切り替わりません。
  - 1セグ放送の受信感度が悪い場合
  - 12セグ放送で視聴していたチャンネルに1セグ放送がない場合

  ただし放送局によっては、1セグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときに1セグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1. MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2. TV
3. 画面をタッチ
4. ☼ ▶ 設定

5 音声

6 **目的の項目を選択**

12セグ放送は最大16音声まで、1セグ放送は2音声まで切り替えられます。

MEMO

- 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグと1セグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 TV

3 **画面をタッチ**

4 ☼ ▶ 設定

5 主/副

6 **目的の項目を選択**

「主音声」「副音声」「主+副」から選択してください。（初期値：主音声）

MEMO

- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく二重音声で放送されていればそのまま副音声が継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕付きの番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 TV

3 **画面をタッチ**

4 ☼ ▶ 設定

5 字幕

6 **目的の項目を選択**

「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択してください。（初期値：非表示）

放送局を自動で切り替える

高校野球中継など、番組放送中に局が変更される番組について、放送局の切り替えを自動で行えます。（初期値：ON）

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 TV

3 **画面をタッチ**

4 ☼ ▶ 設定

5 イベントリレー

系列局／中継局を自動で探す

電波状態が悪化し、受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定できます。（初期値：中継局＋系列局サーチ）

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

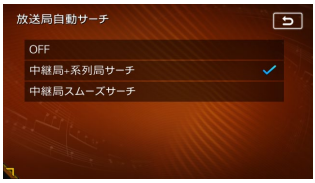
2 TV

3 **画面をタッチ**

4 ☼ ▶ 設定

5 放送局自動サーチ設定

6 目的の項目を選択



OFF ：
放送局の自動サーチを行わない。

中継局＋系列局サーチ ：
自車位置の地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチする。電波が弱くなり、15秒間受信できなくなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ ：
受信中の番組が12セグから1セグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチする。
受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、15秒間受信できなくなると自動で中継局／系列局をサーチします。
「1セグ／地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

MEMO
- 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

テレビの画質を調整する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 設定

5 画質調整

6 映像モードを選択

ダイナミック ／ ソフト ：
色合い、色の濃さ、黒レベル、シャープネスを自動調整する。
コントラスト のみ手動で調整できます。

カスタム ：
すべての項目を手動で調整する。
（初期値：ダイナミック）

7 調整する項目を選択

コントラスト / 色合い / 色の濃さ / 黒レベル / シャープネス

8 － または ＋ をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整してください。

9 ⮌

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。（初期値：未設定）
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 設定

5 自宅エリア（TV1）
（自宅モード中）、または
お出かけエリア（TV2）
（お出かけモード中）

6 優先させたい地域を選択

設定しない：
エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合に選択する。

7 郵便番号を入力 ▶ 決定

8 はい

いいえ：
オートストアを行わず、テレビ画面に戻る。

オートストアが開始されます。→ P.105

— MEMO —
- 優先地域と郵便番号を設定すると、ニュース・天気予報などデータ放送の表示内容に反映されます。

デバイスIDを表示する

RMPメーカIDを表示します。RMPメーカIDは、受信機メーカを識別するために、受信機メーカごとに管理される識別番号です。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 TV

3 画面をタッチ

4 ⚙ ▶ 設定

5 デバイスID表示

◀ ／ ▶：
放送局名が切り替わり、その放送局名の局管理RMPメーカIDが表示される。

テレビの設定情報を初期化する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

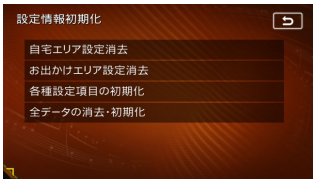
2 TV

3 画面をタッチ

4 ⚙ ▶ 設定

5 設定情報初期化

6 **初期化したい設定情報を選択**



自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去する。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去する。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化する。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化は行いません。

全データの消去・初期化：
以下を初期化または消去する。
・設定メニューで設定した項目
・プリセットチャンネルリスト
画質調整の設定は初期化されません。

消去の確認画面が表示されます。

7 **はい**

選択した各設定が初期化されます。

お願い

- 初期化メッセージ表示中には、車両の電源をOFFにしないでください。初期化中に車両の電源をOFFにした場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／ 1セグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。（初期値：OFF）

1 **MENU** ▶ **オーディオエリア** の **AVソース**

2 **TV**

3 **画面をタッチ**

4 ☼ ▶ **設定**

5 **遅延補正**

DVDを見る

警告

- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**
- **運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

お知らせ

- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）では、画面や操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

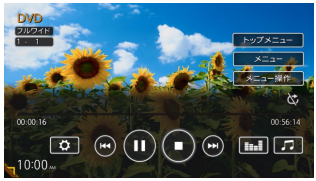
DVDを再生する

1 **DVDを挿入する、または**
MENU ▶
オーディオエリア の **AVソース**
▶ **DVD/CD**

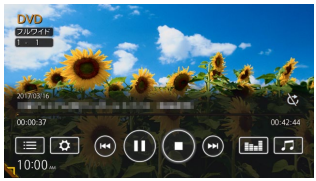
本機に挿入されたDVDが再生されます。

画面をタッチすると、操作キーが表示されます。

DVDビデオ再生画面



DVD-VR再生画面



映像部分をタッチすると、操作キーが非表示になります。

DVD再生時の操作

再生と停止について

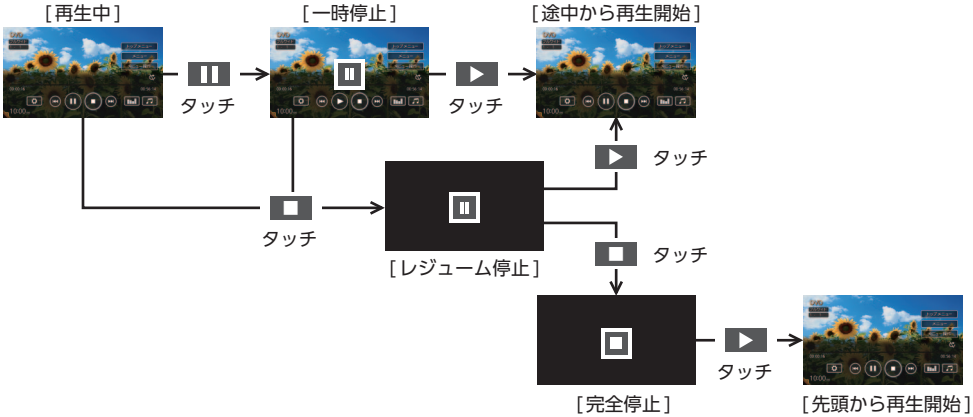
DVDの再生停止方法には、以下の3つがあります。

●一時停止…
DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。再開すると、停止した場所から再生がはじまります。

●レジューム停止…
DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。再開すると、停止した場所から再生がはじまります。

●完全停止…
再生が完全に停止します。再開すると、ディスクの先頭から再生がはじまります。

停止と再生の流れは以下のようになります。



再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ■ をタッチ

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）
レジューム停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
レジューム停止中に ■ をタッチすると、再生が完全に停止します。（完全停止）次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ❚❚ をタッチ

DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に ■ をタッチすると、DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

お知らせ

- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作 をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

前／次のチャプターを再生する

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ⏮ または ⏭**

— MEMO —
- ⏮ をタッチするとチャプターの先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前のチャプターに移動します。
- ＜ または ＞ を押しても、同様の操作ができます。

早戻し／早送りする

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

— MEMO —
- ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。

スロー再生する

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ❚❚ をタッチ**

2 **⏭ を長押し**

— MEMO —
- ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「❚▶ 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

1 **MENU ▶ オーディオエリア ▦ の AVソース**

2 **DVD/CD**

3 **画面をタッチ**

4 **🔇**

🔁₁ に切り替わり、現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

— お知らせ —
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

— MEMO —
- 通常再生に戻す場合は、🔁₁ をタッチしてください。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。

1 **MENU ▶ オーディオエリア ▦ の AVソース**

2 **DVD/CD**

— MEMO —
- DVDメニュー再生中にメニュートップ画面に戻るとタイトルやチャプターなどを直接タッチできます。
  ✥ をタッチすると、手順6の画面に切り替わります。

3 **画面をタッチ**

4 **メニュー操作**

5 **トップメニュー または メニュー**

トップメニュー、または再生中のチャプターのメニューが表示されます。

— お知らせ —
- 「現在その操作はできません。」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

6 **▲、◀、▶、▼ でメニューを選択 ▶ 決定**

選択したメニュー項目が再生されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

キー移動：
タッチキーを画面の左右に移動する。
10キー：
メニュー番号を直接入力して、メニュー項目を選択する。
非表示：
操作キーを非表示にする。

— お知らせ
- 表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース
2 DVD/CD
3 画面をタッチ
4
5 （ONになっていることを確認）
— MEMO
- がONのときは、タイトルリストが表示されます。

6 見たいタイトルを選択

番号指定：
タイトルリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

選択した項目が再生されます。

プレイリストから再生する（DVD-VR）

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース
2 DVD/CD
3 画面をタッチ
4
5 （ONになっていることを確認）
— MEMO
- がONのときは、プレイリストが表示されます。

6 見たい項目を選択

番号指定：
プレイリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

選択した項目が再生されます。

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース
2 DVD/CD
3 画面をタッチ
4 静止画切替
タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

— お知らせ
- 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。
- 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは ⏮ 、⏭ をタッチ、または ＜ 、＞ を押して再生してください。

— MEMO
- チャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません。」と表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 10キーダイレクト入力

5 タイトル または チャプター

6 番号を入力

7 決定

入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 音声・字幕・アングル

5 音声 、字幕 、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

— お知らせ —
- 設定できる言語はディスクによって異なります。

— MEMO —
- 初期設定で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」で字幕を非表示にできます。

6 ⮌

— お知らせ —
- 本機能は、DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ使用できます。

字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 音声・字幕

5 音声 または 字幕

タッチするたびに音声、または字幕の設定が切り替わります。

— お知らせ —
- 設定できる言語はディスクによって異なります。

6 ⮌

— お知らせ —
- 本機能は、DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ使用できます。

DVDの画質を調整する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 画質調整

5 映像モードを選択

ダイナミック ／ソフト ：
色合い、色の濃さ、黒レベル、シャープネスを自動調整する。
コントラスト のみ手動で調整できます。
カスタム ：
すべての項目を手動で調整する。

6 調整する項目を選択

コントラスト / 色合い / 色の濃さ / 黒レベル / シャープネス

7 − または ＋ をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整してください。

8 ⮌

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

画面サイズを切り替える

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

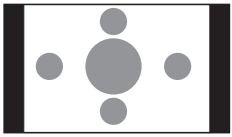
2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 画面切替

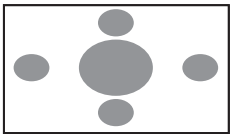
5 画面サイズを選択

ノーマル ：



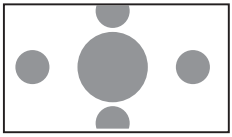
4:3サイズの映像を、中央に表示する。
シネスコサイズ、ビスタサイズ、16:9サイズの映像の場合は、4:3サイズの比率に変形して表示されます。画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド ：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が切れて表示されます。

6 ⮌

DVDの再生状態の表示を設定する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ プレイタイム常時表示

再生画面に常にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されます。

DVDの初期設定を変更する

— お知らせ —

- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。（DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります。）

— MEMO —

- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

DVDのモニターサイズを設定する

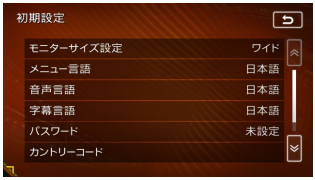
1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

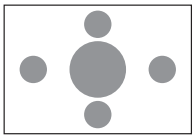
4 ☼ ▶ 初期設定

5 モニターサイズ設定



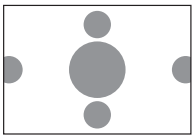
6 モニターサイズを選択

ワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さを合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：

画面の横幅と映像の幅を合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

— お知らせ —

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する（DVDビデオ）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 初期設定

5 目的の項目を選択

メニュー言語
音声言語
字幕言語

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

— MEMO —

- 各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。

6 言語を選択

— お知らせ
- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

パレンタルレベルとパスワードを設定する（DVDビデオ）

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。レベルは1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3 ～ 8」の場合のみ、再生できます。
「レベル1 ～ 2」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
また、パレンタルレベルは国によって異なります。カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。
→ P.216

— お知らせ
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルの記載がないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

— MEMO
- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。
- パレンタルレベルの初期値は「パレンタルレベルOFF」です。すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。（初期値：未設定）

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 DVD/CD
3 画面をタッチ
4 ☼ ▶ 初期設定
5 パスワード
6 パスワードを入力 ▶ 決定
入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
新規パスワード設定の場合→手順9
7 パスワードの変更
パスワードの消去：
パスワードを消去する。
8 新しいパスワードを入力 ▶ 決定
9 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定
新しいパスワードが設定されます。

■ パレンタルレベルを設定する

準備
●パレンタルレベルを設定する場合は、パスワードの設定が必要です。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 DVD/CD
3 画面をタッチ
4 ☼ ▶ 初期設定
5 視聴制限（パレンタルレベル）
6 パスワードを入力 ▶ 決定
7 パレンタルレベルを選択
パレンタルレベルが設定されます。
OFF：
すべてのDVDビデオに対して視聴制限が解除される。

カントリーコードを設定する（DVDビデオ）

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定してください。（初期値：7480（JAPAN））カントリーコードは、国を識別するためのコードです。→ P.216

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 DVD/CD

3 **画面をタッチ**

4 ⚙ ▶ 初期設定

5 カントリーコード

6 **DVDに記録してある国、または地域のカントリーコードを入力** ▶ 決定

CD、MP3・WMA・AACディスクの音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

MEMO

- 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、曲名などの情報が表示されます。
  - ID3タグ、WMAタグ、AACタグの入ったディスク
  - 本機内蔵、またはオンライン上のデータベース「Gracenote Music Recognition Service℠」から情報が取得できる音楽CD → P.221

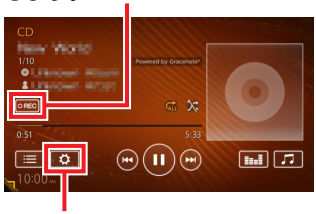
  上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。

CDを再生する

1 **CDを挿入する、または** MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース ▶ DVD/CD

本機に挿入されたCDが再生されます。

Music Catcherに手動で録音します。→ P.124



Music Catcherの録音に関する設定を行います。→ P.123

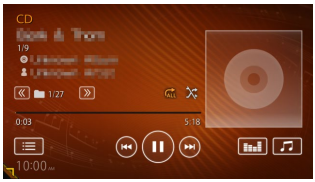
お知らせ

- 操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

MP3・WMA・AACのディスクを再生する

1 **MP3・WMA・AACディスクを挿入する、または**
MENU ▶ オーディオエリア の AVソース ▶ DVD/CD

本機に挿入されたディスクが再生されます。



ディスク再生時の操作

一時停止する

1 **II をタッチ**

再生が一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

— MEMO —
- ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- < または > を長押ししても、同様の操作ができます。

前／次の曲を再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

— MEMO —
- ⏮ をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前の曲に移動します。
- < または > を押しても、同様の操作ができます。

前／次のフォルダを再生する（MP3・WMA・AAC再生時）

1 **再生中に « または »**

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

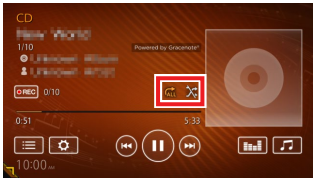
リピート・ランダム再生をする

1 **MENU ▶ オーディオエリア の AVソース**

2 **DVD/CD**

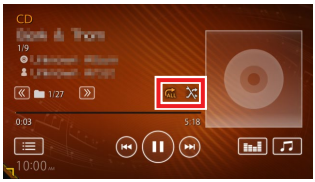
3 **🔁 または 🔀**

タッチするたびに再生方法が順に切り替わります。
（CDの場合）



🔁ALL：
ディスク内の全曲を繰り返し再生する。
🔁1：
再生中の曲を繰り返し再生する。
🔀：
ディスク内の全曲を順不同に再生する。
🔀：
ランダム再生を解除し、リストの順に曲を再生する。

（MP3・WMA・AACの場合）



：
ディスク内の全曲を繰り返し再生する。

：
再生中のフォルダの全曲を繰り返し再生する。

：
再生中の曲を繰り返し再生する。

：
再生中のフォルダの全曲を順不同に再生する。

：
ディスク内の全曲を順不同に再生する。

：
ランダム再生を解除し、リストの順に曲を再生する。

タイトルリストから再生する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3
再生中のトラックリストが表示されます。

MEMO
- MP3・WMA・AACの場合、 を選択するとフォルダリストが表示されます。再生中以外のフォルダを選択すると、選択したフォルダの先頭の曲から再生がはじまります。

4 曲を選択
選択した曲から再生がはじまります。

MEMO
- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

録音の設定をする（CDのみ）

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 DVD/CD

3

4 設定したい項目を選択

CD挿入時に自動録音：
自動録音モードのON/OFFを切り替える。（初期値：OFF）

録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得：
本機内蔵のデータベースからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得する。（初期値：OFF）

CDDBのバージョンを表示する：
音楽CDの演奏者や制作年度などの情報が格納されたデータベースのバージョンを表示する。

MEMO
- この設定はMusic Catcherの録音設定項目と連動しています。→ P.123

Music Catcherを使う

Music Catcherに録音する

Music Catcherは、CDの曲をSDカードに録音し、再生する機能です。

録音する前にお読みください

●Music Catcherを使用するにはSDカードが必要です。→ P.209「本機で使用できるSDカード／USBメモリー」
●録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償いたしかねますので、ご容赦願います。
●録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。

— お知らせ —
• ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を録音に使用された場合、曲間に無音部分をはさんで録音します。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。
●録音中にCDの音が飛んだ
●傷があるなどCDの状態が悪い
●録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチしてください。
● REC をタッチする
●リピート／ランダム再生
●SDカードを使用した操作
（データの取り込み／書き出しなど）

— お知らせ —
• 録音中はタイトルリスト表示、早送り、早戻しはできません。
• 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に ▲ ▶ パネル開／閉 をタッチすると、「SDメモリーカードにアクセス中のためオープンできません。」というメッセージが表示されます。操作を継続する場合はその指示にしたがってください。
• 録音済みの曲にはチェックマークが付きます。
• テレビを視聴中、またはSDカード／USBメモリーでハイレゾ音源を再生中は、録音に時間がかかることがあります。

録音中に車両の電源をOFFにすると、処理が中断されます。
次回車両の電源を「ACC」、または「ON」にすると、前回録音していた曲の先頭から録音がはじまります。

録音の設定をする

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 Music Catcher
3 ☼
4 CD挿入時に自動録音
自動録音モードのON/OFFを切り替えます。（初期値：OFF）
録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得 ：
本機内蔵のデータベースからアルバム情報が得られない場合、録音開始時にオンライン経由で自動的に情報を取得する。手動で情報を取得することもできます。（初期値：OFF）
→ P.128「アルバム情報を更新する」
CDDBのバージョンを表示する ：
音楽CDの演奏者や制作年度などの情報が格納されたデータベースのバージョンを表示する。

自動で録音する

準 備

●「CD挿入時に自動録音」をONにしてください。→ P.123

1 SDカードを本機に挿入する

2 CDを挿入する

自動的に録音がはじまります。

— お知らせ

• 録音済みのCDの場合は、録音は行いません。

手動で録音する

準 備

●「CD挿入時に自動録音」をOFFにしてください。→ P.123

1 SDカードを本機に挿入する

2 CDを再生し、REC

3 希望の録音方法を選択

全曲録音：
再生中のCDのすべての曲を録音する。
アルバムの先頭から録音されていない曲の録音がはじまります。

現在の曲を録音：
再生中の曲を録音する。
曲の先頭に戻り、録音がはじまります。

曲を指定して録音：
録音したい曲をリストから複数選択して録音する。
リストから曲を選択して 録音開始 をタッチすると、アルバムの先頭に近い曲から順に録音がはじまります。

— MEMO

• 録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

Music Catcherについて

録音可能最大曲数

●SDカード容量32GBの場合
総曲数：4,000曲
総アルバム数：500枚
1アルバム内の曲数：99曲
※SDカードの容量により曲数は異なります。
（SDカード容量4GBの場合：約1,000曲）

録音可能音源

音楽CDのみ

音声圧縮形式・録音音質

圧縮形式：AAC
サンプリングレート：44.1kHz
ビットレート：128kbps

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」ことを〈1世代まで〉と規制しています。
したがって、以下の操作を本機で行えません。

●本機に録音したCDの曲をデジタル出力を使用してデジタルコピーすること
●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDをMusic Catcherに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service℠のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンル・アルバムの情報が取得され、画面上に表示されます。

— お知らせ

• CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。
• 情報を取得できなかったCDの場合は、録音した日付が表示されます。

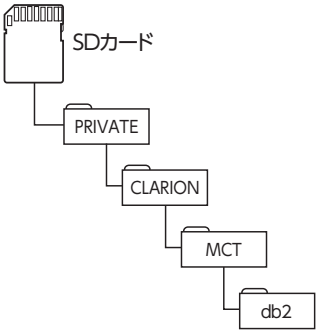
— MEMO

• Gracenote Music Recognition Service℠のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
→ P.128「アルバム情報を更新する」

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

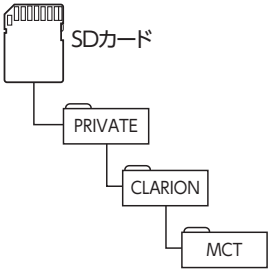
録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ「db2」をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



すでに上記フォルダ内に「db2」フォルダが存在する場合は、バックアップを取ってください。

お願い

- 「db2」フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。Music Catcherが正常に動作しなくなる可能性があります。
- SCMSでは、デジタル信号のコピーを〈1世代まで〉と規制しています。→ P.124
これらの操作は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

Music Catcherを再生する

1 録音済みのSDカードを本機に挿入する

2 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

3 Music Catcher
Music Catcherが再生されます。

お知らせ

- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。
- 再生時間は、録音元のCDとは異なります。

MEMO

- タイムバーをタッチすると、タッチした場所から再生がはじまります。

Music Catcher再生時の操作

一時停止する

1 ❚❚ をタッチ
再生が一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し

MEMO

- ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。

前／次の曲を再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

— MEMO —

- ⏮ をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前の曲に移動します。
- ＜ または ＞ を押しても、同様の操作ができます。

リピート・ランダム再生をする

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3 ⟲ または ⤮

タッチするたびに再生方法が順に切り替わります。

（リピートの場合）

⟲ ：
再生中のアルバムの全曲を繰り返し再生する。

⟲ALL ：
再生中リスト（ ☰ ）に表示される全曲を繰り返し再生する。

⟲1 ：
再生中の曲を繰り返し再生する。

（ランダムの場合）

⤮ ：
再生中のアルバムの全曲を順不同に再生する。

⤮ ：
再生中リスト（ ☰ ）に表示される全曲を順不同に再生する。

⤮ ：
ランダム再生を解除し、リストの順に曲を再生する。

リストから再生する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3 ☰
再生中のトラックリストが表示されます。

表示するリストの種類を切り替えられます。

◎ ：
アルバムリストを表示する。

♪ ：
曲リストを表示する。

👤 ：
アーティストリストを表示する。

🎸 ：
ジャンルリストを表示する。

再生中 ：
現在再生中の曲を表示する。

4 曲を選択
選択した曲が再生されます。

■ キーワードを入力して曲を検索する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3

4

アルバム、曲、アーティスト、ジャンルそれぞれのリストでキーワードを入力できます。

5 キーワードを入力する ▶ 決定

音声入力：
スマートフォンと連携している場合、音声でキーワードを入力する。

該当するアルバム、曲、アーティスト、ジャンルのリストが表示されます。

6 曲を選択

選択した曲が再生されます。

アルバム・トラック情報を編集する

— お知らせ —
- アルバム・トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できない場合があります。

アルバム情報を編集する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3 ▶ アルバム情報の編集

4 アルバムを選択

5 編集したい項目を選択

6 文字を入力 ▶ 決定

— MEMO —
- アルバム名は全角または半角、アルバム名ヨミは全角で入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字パネルを操作する」をご覧ください。→ P.23

演奏中の曲情報を編集する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3 ▶ 現在演奏中の曲情報を編集

4 編集したい項目を選択

曲名、曲名ヨミ、アーティスト名、アーティスト名ヨミ、ジャンルの情報をそれぞれ編集できます。

5 文字を入力 ▶ 決定

— MEMO —
- 曲名ヨミ、アーティスト名ヨミは全角で入力できます。その他の項目は全角・半角で入力できます。
- 文字入力について詳しくは、「文字パネルを操作する」をご覧ください。→ P.23

アルバムを消去する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 Music Catcher
3 ☼ ▶ 曲を消去する
4 アルバムから選んで消去する
現在の曲を消去する：
現在再生中の曲を消去する。
全曲消去する：
Music Catcher内のすべての曲を消去する。
5 消去するアルバムをすべて選択 ▶ 消去
6 はい

お知らせ
• 一度消去したアルバムは元に戻せません。

曲を消去する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 Music Catcher
3 ☼ ▶ 曲を消去する
4 アルバムから選んで消去する
5 消去する曲を含むアルバムの 詳細
トラックリストが表示されます。
6 消去する曲をすべて選択 ▶ 消去
7 はい

お知らせ
• 一度消去した曲は元に戻せません。

アルバム情報を更新する

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。
その際は、SDカード経由、または本機をインターネットに接続してGracenoteサーバーから最新のアルバム情報を取得してください。
SDカード経由でアルバム情報の更新を行う場合には、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのPC用アプリケーション「VISMASTER（ビスマスター）」が必要になります。→ P.129
オンライン経由でアルバム情報の更新を行う場合には、Wi-Fiテザリング機能が必要になります。→ P.91

オンライン経由で情報を更新する

準備
●あらかじめWi-Fiへの接続が必要です。
→ P.91

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース
2 Music Catcher
3 ☼ ▶ センターに接続して未取得タイトルを取得
4 情報を取得したいアルバムを選択 ▶ タイトル取得開始
取得したアルバム情報が本機に取り込まれます。

SDカード経由で情報を更新する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 Music Catcher

3 ☼ ▶
SDメモリーカードに未取得データを転送

4 **アルバムを選択** ▶
SDメモリーカードへ転送
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

ここからはお手持ちのパソコンでの操作です。

5 **お使いのパソコンにて、「VISMASTER（ビスマスター）」のCDタイトルキャッチャー機能を使用し、SDカードへアルバム情報を保存する**
アルバム情報が更新されます。

— MEMO —
- CDタイトルキャッチャー画面上のヘルプボタンをクリックすると、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書を参照できます。

ここからは再び本機での操作です。

6 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

7 Music Catcher
「新しいアルバム情報が見つかりました。アルバム情報を取り込みます。よろしいですか?」というメッセージが表示された場合は、はい をタッチするとSDカードから新しいアルバム情報が自動的に取り込まれます。
上記メッセージが表示されない場合、または手動で更新する場合は、手順8以降を実施してください。

8 ☼ ▶
SDメモリーカードからCDDBを更新
SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

— お知らせ —
- アルバム情報取り込み中、および書き出し中に操作できるボタンは、以下のとおりです。
  - 操作パネルの ＋ 、 －

VISMASTER（ビスマスター）について

CDのタイトル情報の取得（CDタイトルキャッチャー）および本機起動時に表示されるオープニング画面のカスタマイズ（オープニングコンバーター）をするには、PC用アプリケーション「VISMASTER」が必要です。

https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

※ Webサイトのアドレスは、都合により変更させていただく場合があります。

「VISMASTER」の操作方法は、アプリケーションのヘルプとあわせてご案内します。

CDタイトルキャッチャーとは…
ナビゲーション本体のCD録音機能でCDの録音を行った際、新譜など、ナビゲーション内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。
「CDタイトルキャッチャー」は、自動でアルバム情報が取得できなかったアルバムに対してパソコン上でオンライン検索を行い、アルバム情報を取得するためのアプリケーションです。

オープニングコンバーターとは…
「オープニングコンバーター」は、お好みの画像をナビゲーション起動時に表示されるオープニング画面として利用できるように変換します。変換した画像はSDカードを使ってナビゲーション本体に取り込むことができます。
また、元画像を編集してお好みの部分だけを壁紙として切り出すことや、元画像にフレームやスタンプを合成してオリジナル画面を作成することもできます。

SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽やビデオを視聴できます。
SDカードやUSBメモリーを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。

●本機で使用できるSDカード／ USBメモリー
→ P.209
●本機で再生可能な音声ファイルについて
→ P.210
●本機で再生可能な動画ファイルについて
→ P.214

⚠ 警告

- **本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**
- **運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**

❗ お願い

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- USBメモリーに保存した音楽やビデオを再生中に、USBメモリーを取り外さないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 本機にiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。
- 2-ZoneがONの場合、サンプリング周波数が48kHzを超えるファイルは再生できません。

MEMO

- 音声ファイル再生時には、ファイル形式名、サンプリング周波数、ビットレートが表示されます。
- ハイレゾファイル再生時には、ファイル形式名、サンプリング周波数、量子化ビット数、Hi-Res アイコンが表示されます。
- SDカード・USBメモリーのサンプリング周波数が48kHzを超えるファイルでは、Intelligent Tuneを使用できません。

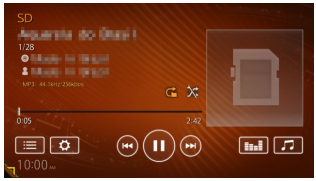
SDカードを再生する

1 SDカードを本機に挿入する

2 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

3 SD

SDカードのファイルが再生されます。



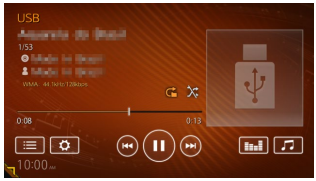
USBメモリーを再生する

1 USBメモリーを接続する

2 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

3 USB/iPod

USBメモリーのファイルが再生されます。



SDカード・USBメモリー再生時の操作

ミュージックモードとビデオモードを切り替える

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

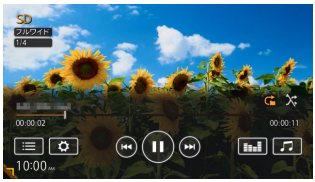
2 SD または USB/iPod

3 ⚙

4 **ビデオ再生に切替 または オーディオ再生に切替**

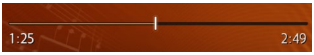
選択した再生モードに切り替わります。
ビデオ再生の場合、画面をタッチすると、操作キーが表示されます。

ビデオ画面



映像部分をタッチすると、操作キーが非表示になります。

MEMO
- タイムバーをタッチすると、タッチした場所から再生がはじまります。



- 再生するファイルによっては、タイムバーが表示されない場合があります。

一時停止する

1 **（ミュージックの場合）**
❚❚ をタッチ
（ビデオの場合）
再生中に画面をタッチ ▶
❚❚ をタッチ

ミュージック、またはビデオの再生が一時停止します。
ビデオモードでは、映像が表示された状態で一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

MEMO
- ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。

前／次の曲またはビデオを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

MEMO
- ⏮ をタッチすると曲またはビデオの先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前の曲またはビデオに移動します。
- ＜ または ＞ を押しても、同様の操作ができます。

リストから再生する

1 **MENU ▶ オーディオエリア の AVソース**

2 **SD または USB/iPod**

3 **（ミュージックの場合）**

トラックリストが表示されます。

表示するリストの種類を切り替えられます。

：
フォルダリストを表示する。

：
アルバムリストを表示する。

：
トラックリストを表示する。

：
アーティストリストを表示する。

再生中 ：
現在再生中の曲を表示する。

MEMO
- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。
- 、、は、曲数によってタッチできるまで時間がかかる場合があります。

（ビデオの場合）
画面をタッチ ▶
ビデオリストが表示されます。

表示するリストの種類を切り替えられます。
：
フォルダリストを表示する。
：
ビデオリストを表示する。
再生中：
現在再生中のビデオを表示する。

4 曲またはビデオを選択
選択した曲またはビデオから再生がはじまります。

■ キーワードを入力して曲を検索する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 SD または USB/iPod

3

4

フォルダ、アルバム、曲、アーティスト、ビデオそれぞれのリストでキーワードを入力できます。

5 キーワードを入力する ▶ 決定
音声入力：
スマートフォンと連携している場合、音声でキーワードを入力する。

該当するフォルダ、アルバム、曲、アーティスト、ビデオのリストが表示されます。

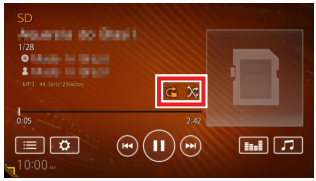
6 曲を選択
選択した曲が再生されます。

リピート・ランダム再生をする

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 SD または USB/iPod

3 または



※画面はミュージックの場合です。

タッチするたびに再生方法が切り替わります。
（リピートの場合）
：
再生中の曲またはビデオを繰り返し再生する。
：
再生中のフォルダ内のすべての曲またはビデオを繰り返し再生する。
（ランダムの場合）
：
再生中のリスト内の曲またはビデオを順不同に再生する。
：
全曲ランダムを解除する。

SDカード・USBメモリーのビデオ設定をする

画面サイズを切り替える

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

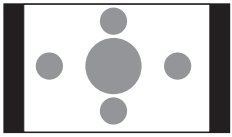
2 SD または USB/iPod

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 画面切替

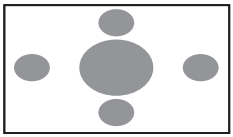
5 画面サイズを選択

オリジナル：



映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

6 ⮌

画質を調整する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 SD または USB/iPod

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ 画質調整

5 映像モードを選択

ダイナミック ／ ソフト：
色合い、色の濃さ、黒レベル、シャープネスを自動調整する。
コントラスト のみ手動で調整できます。

カスタム：
すべての項目を手動で調整する。

6 調整する項目を選択

コントラスト / 色合い / 色の濃さ / 黒レベル / シャープネス

7 − または ＋ をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整してください。

8 ⮌

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

再生状態の表示を設定する

ビデオの再生画面に、常に再生状態（トラック番号、再生しているリスト内の総ビデオ数、再生時間）を表示できます。

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 SD または USB/iPod

3 画面をタッチ

4 ☼ ▶ プレイタイム常時表示

再生状態の表示が設定されます。

iPodミュージックを聴く

本機では、iPodを接続してiPod内の音楽データをお楽しみいただけます。

⚠ 注意

- **走行中は、iPod本体の操作はしないでください。**
- **iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。**

❗ お願い

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- iPodが反応しなくなった場合は強制的に再起動し、iPod単体で動作することを確認してから本機に再接続してください。
  iPodの再起動方法はAppleのWebサイトをご確認ください。

MEMO

- ミュージックファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。

接続できるiPod

iPodの機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。接続できる機器の最新情報については、以下をご覧ください。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

❗ お願い

- 車両の電源をOFFにした後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。
  また、誤動作防止のためiPodは車両のエンジン始動後にUSB端子へ接続してください。

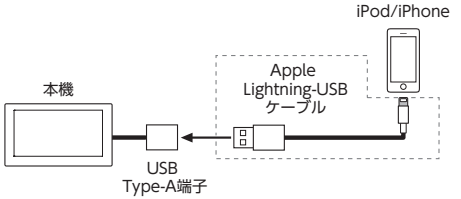
お知らせ

- iPadシリーズには対応しておりません。
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、イヤホン、ヘッドホンなどのアクセサリーを使用しないでください。

MEMO

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲を選択することで操作可能になるときがあります。
- iPodのトラックリピート/シャッフル機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。その場合は、リピート/シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPod touch、またはiPhoneをBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。
  iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（NX-BT）からiPod、iPhoneへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- Podcastなどを再生するとき、データのダウンロードが正常に完了していないと再生できないことがあります。

iPod/iPhoneの接続



MEMO

- 上記方法でiPod/iPhoneの充電が可能です。

iPodミュージックを再生する

準 備

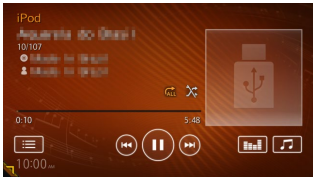
●Apple Lightning-USBケーブルを本機のUSB Type-A端子に接続してください。

1 **iPodを接続する**

2 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

3 USB/iPod

iPod内の曲が再生されます。



— MEMO

• Apple Musicを再生している場合、タイムバーが表示されないことがあります。

iPod再生時の操作

一時停止する

1 **をタッチ**

再生が一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

— MEMO

• ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
• < または > を長押ししても、同様の操作ができます。

前／次の曲を再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

— MEMO

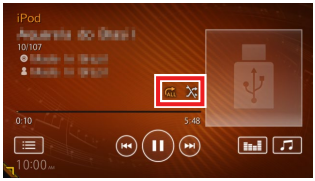
• ⏮ をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前の曲に移動します。
• < または > を押しても、同様の操作ができます。

リピート・シャッフル再生をする

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 USB/iPod

3 **または**



タッチするたびに再生方法が順に切り替わります。

（リピートの場合）

：
再生中の曲を繰り返し再生する。

：
再生中のリスト内のすべての曲を繰り返し再生する。

：
再生中の曲が終了後、再生を停止する。

（シャッフルの場合）

：
再生中のリスト内の全曲を順不同に再生する。

：
シャッフル再生を解除する。

— お知らせ

• iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

— MEMO

• iPodの設定によっては、アルバムシャッフルアイコンが表示されます。設定すると、現在再生中のリスト内のアルバムを順不同に再生できます。

リストから再生する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 USB/iPod

3

再生中：
iPod再生画面に切り替える。

MEMO
- カテゴリーアイコンをタッチすると、リストの種類を切り替えられます。
  選択できる項目例：
  - Radio ／アルバム／曲／アーティスト／プレイリスト／ジャンル／作曲者／オーディオブック／ Podcast
- 選択できる項目は、iPodによって異なります。

4 **曲を選択**
選択した曲が再生されます。

MEMO
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

■ キーワードを入力して曲を検索する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 USB/iPod

3

4

それぞれのリストでキーワードを入力できます。

5 **キーワードを入力する** ▶ 決定

音声入力：
スマートフォンと連携している場合、音声でキーワードを入力する。

該当する項目のリストが表示されます。

6 **曲を選択**
選択した曲が再生されます。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

お願い

- ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

お知らせ

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例 iPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングできません。
- Wi-Fi接続をONにしているとき、スマートフォンとの連携中にBluetoothオーディオで音切れが発生する場合は、Wi-Fi接続をOFFにしてください。→ P.92「Wi-Fi接続のON/OFFを切り替える」

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。

準備

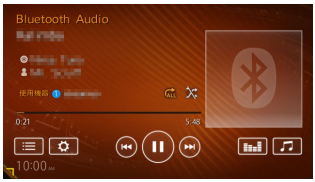
- オーディオ機器を本機に登録（ペアリング）してください。→ P.83

Bluetoothオーディオを再生する

1 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

2 Bluetooth Audio

Bluetoothオーディオが再生されます。



お知らせ

- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 曲名／アルバム名／アーティスト名は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ表示されます。

MEMO

- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、▶ をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、☰ が表示されない場合、またはタッチできない場合があります。
  詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。
  https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

Bluetoothオーディオ再生時の操作

一時停止する

1 **II をタッチ**

再生が一時停止します。
一時停止中に ▶ をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し**

— MEMO —
- ⏮ または ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- ＜ または ＞ を長押ししても、同様の操作ができます。

— お知らせ —
- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

前／次の曲を再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

— MEMO —
- ⏮ をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに ⏮ をタッチするごとに前の曲に移動します。
- ＜ または ＞ を押しても、同様の操作ができます。

トラックリストから再生する

1 **MENU ▶ オーディオエリア の AVソース**

2 **Bluetooth Audio**

3 **☰**

再生中 ：
Bluetoothオーディオ再生画面に切り替える。

：
Bluetoothオーディオ機器内のフォルダリストを表示、操作できます。

— MEMO —
- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器によって異なります。

4 **曲を選択**

選択した曲の再生がはじまります。

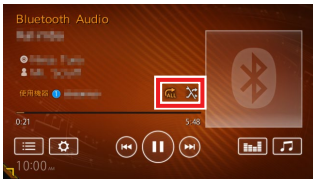
— お知らせ —
- この機能は、AVRCP Ver1.4以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーの起動を確認してください。

リピート・シャッフル再生をする

1 **MENU ▶ オーディオエリア の AVソース**

2 **Bluetooth Audio**

3 **🔁 または 🔀**



タッチするたびに再生方法が順に切り替わります。

（リピートの場合）

：
再生中の曲を繰り返し再生する。

：
Bluetoothオーディオ内の全曲を繰り返し再生する。

：
再生中の曲が終了後、再生を停止する。

（シャッフルの場合）

：
Bluetoothオーディオ内の全曲を順不同に再生する。

：
全曲シャッフルを解除する。

お知らせ

- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。
  Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

接続するBluetoothオーディオ機器を切り替える

本機に複数のBluetoothオーディオ機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の AVソース

2 Bluetooth Audio

3

4 **接続したい機器を選択**→ P.84

お知らせ

- 本機に接続できるBluetooth対応機器は1台のみです。
  接続機器を切り替えた場合、ハンズフリー通話等、Bluetooth接続をする他の機能の接続機器も合わせて切り替わります。

各種設定

ナビゲーションに関するさまざまな操作、オーディオの音質、画面表示などをお好みで設定できます。

各種設定を行う

各種設定画面では、ナビゲーションやオーディオなどに関するさまざまな設定ができます。

MENU ▶▶
ナビエリア の 情報・設定 ▶▶

情報・設定メニュー画面

MENU ▶▶
ツールエリア の 設定 ▶▶

設定メニュー画面

MENU ▶▶
オーディオエリア の 音響設定 ▶▶

音響設定画面

ツールエリアについて

Quad View画面のツールエリアには、画面表示設定や電話の登録など、さまざまな設定メニューが表示されます。また、外部機器、通信などの接続状況や自車情報も確認できます。
→ P.18「Quad View画面について」

走行速度、平均速度、最高速度、走行距離が表示されます。
→ P.80「マルチメーター情報を見る」

Bluetooth、Wi-Fiなどの接続状況が表示されます。

エコロジー情報が表示されます。
→ P.80

自車の進行方向が表示されます。また、捕捉衛星数（四角）と測位衛星数（水色の四角）が表示されます。

：
電話の登録、設定、発信を行います。→ P.86

：
画面表示設定、音量設定、接続設定などを行います。

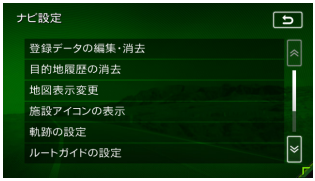
：
昼画面と夜画面を切り替えます。→ P.153

OFF ：
画面を非表示にします。→ P.23

ナビゲーションの設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 目的の項目を選択



登録データの編集・消去：
自宅、登録地、登録ルートの編集・消去を行う。
- 自宅→ P.29
- 登録地→ P.141
- 登録ルート→ P.143
- 登録の消去
  → P.29「登録済みの自宅情報を編集する」、
  → P.142「リストから地点を消去する」、
  → P.143「リストからルートを消去する」
- SDメモリーカードに登録地をバックアップ→ P.143
- バックアップデータの取り込み→ P.143
- SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集→ P.144
- SDメモリーカード内バックアップデータの消去→ P.144

目的地履歴の消去：
設定した目的地の履歴を消去する。
→ P.52

地図表示変更：
地図表示モードの切り替えを行う。→ P.36

施設アイコンの表示：
地図上に表示される施設アイコンに関する設定を行う。→ P.145

軌跡の設定：
地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う。→ P.146

ルートガイドの設定：
ルートガイド時の案内表示、音声案内に関する設定を行う。→ P.146

交通情報・VICSの設定：
交通情報・VICS情報に関する設定を行う。
→ P.149

ルート探索条件の設定：
ルート探索条件に関する設定を行う。
→ P.150

その他の設定：
その他、ナビゲーションの便利な設定を行う。→ P.152

登録地を編集する

■ 登録地リストを並べ替える

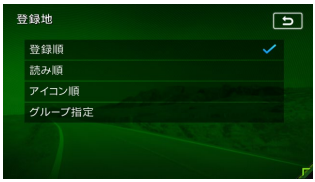
1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 並べ替える

新規登録：
地点を探して登録する。

4 並べ替える種類を選択



登録順：
登録した日付の新しい順に表示する。

読み順：
50音順に表示する。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンの順に表示する。

グループ指定：
グループ選択画面を表示する。
並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

■ 地点のデータを編集する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 登録地点を選択

4 編集

5 項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集

地図上表示：
地図上のアイコン表示（登録地番号など）をON/OFFする。

名称：
名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチしてください。

ヨミ：
読みを設定する。
読みを入力後、決定 をタッチしてください。

アイコン：
登録地点に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
アラーム音を設定する。
車が登録地点に近づくとアラーム音でお知らせします。
「鳴らさない」に設定することもできます。

アラーム方向：
アラームを鳴らす登録地点への進入方向を設定する。
車が設定した方向から登録地点に近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定 をタッチしてください。

アラーム距離：
登録地点に自車位置が近づいたとき、アラームを鳴らす距離を設定する。
車が設定した距離内まで登録地点に近づいたときにアラーム音が鳴ります。

電話番号：
登録地点の電話番号を設定する。
電話番号入力後、決定 をタッチしてください。

グループ：
登録地点を所属させるグループを選択する。

登録番号：
登録番号を表示、または変更する。

■ 地点の位置を修正する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 登録地点を選択

4 位置を修正

5 地図をスクロールして位置を修正

6 決定

■ リストから地点を消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録地の消去

3 1件消去

一括消去：
登録地点をすべて消去する。

4 地点を選択 ▶ はい

選択した地点が登録地リストから消去されます。

登録ルートを編集する

■ 登録済みのルートを編集する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録ルート

3 編集するルートを選択

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録する。

4 項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集

名称変更：
登録ルートの名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチしてください。

現在ルートに入れ替え：
現在設定しているルートを、登録ルートに上書きする。

消去：
登録ルートを消去する。

終了：
手順3に戻る。

■ リストからルートを消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録ルートの消去

3 1件消去

一括消去：
登録ルートをすべて消去する。

4 登録ルートを選択 ▶ はい

選択したルートが、登録ルートリストから消去されます。

SDカードのデータを編集する

お願い

- 操作中は電源を切らないでください。
- SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

準備

●SDカードを本機に挿入してください。
本機にデータの取り込みを行う場合は、あらかじめパソコンを使用してSDカードにファイルを保存してください。

登録地点を書き出す

本機の登録地リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4500件です。
登録地点の登録は、「検索した地点を本機に登録する」をご覧ください。→ P.56

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ 登録データの編集・消去

2 SDメモリーカードに登録地をバックアップ

3 登録地点を選択 ▶ 決定

4 グループを選択 ▶ はい

MEMO

- 登録地点の書き出しはバックアップデータとして保存されます。

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を、本機の登録地リストに取り込めます。（最大400件）

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 登録データの編集・消去

3 バックアップデータの取り込み

4 グループを選択

5 登録地点を選択 ▶ 決定

登録地点のグループ名を変更する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定
2 登録データの編集・消去
3 SDメモリカード内グループフォルダ名の編集
4 グループを選択
5 名称を入力 ▶ 決定

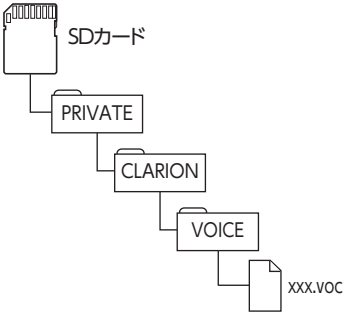
登録地点を消去する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定
2 登録データの編集・消去
3 SDメモリーカード内バックアップデータの消去
4 登録地点が所属するグループを選択
5 登録地点を選択 ▶ 決定
6 はい

ダウンロードボイスデータの取り込み

SDカード内のダウンロードボイスデータを取り込めます。（最大2件）
新しいダウンロードボイスデータは、パソコンで以下のeショップ･サイトから購入し、ダウンロードできます。
https://ec.clarion.com/html/category/001/001/13/category13_0.html

ダウンロードボイスデータを取り込むには、以下のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。



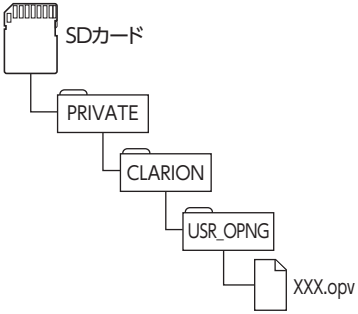
1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ ルートガイドの設定
2 バラエティボイス ▶ 取り込み
3 ボイスを選択 ▶ 決定
取り込みが完了します。
取り込んだダウンロードボイスの設定について詳しくは、「バラエティボイスの設定をする」をご覧ください。→ P.148

— お知らせ —
- すでに取り込んだダウンロードボイスデータは上書きされません。

オープニング画面の取り込み

デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルを本機起動時に表示されるオープニング画面としてお使いいただけます。→ P.155
本機では、SDカード内のオープニング画面データを取り込めます。(最大20個)

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。
●PC用アプリケーション「VISMASTER(ビスマスター)」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの→ P.129
●以下のフォルダ構成でファイルが保存されていること

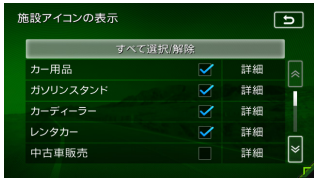


1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ >
2 オープニング画面 ▶ 取り込み
3 オープニング画面を選択 ▶ 決定

— お知らせ
• オープニング画面として取り込んだ画像は、ほかの用途には使えません。

地図上のアイコンの設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定
2 施設アイコンの表示
3 目的の項目を選択



地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択します。
(初期値:カー用品、ガソリンスタンド、カーディーラー、レンタカーがON)
詳細:
ジャンル内のブランドを指定する。

— MEMO
• 複数のジャンルを選択できます。

各種設定

走行軌跡の設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 軌跡の設定

3 目的の項目を選択

軌跡の表示：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。（初期値：OFF）
→ P.67「ルートガイド中の地図画面」

軌跡の間隔：
走行軌跡のポイントを置く間隔を設定する。（初期値：200m）
選択した間隔ごとに走行軌跡のポイントが置かれます。

軌跡の消去：
走行軌跡の記録（本機への保存情報）を消去する。
一度消した走行軌跡は再度表示できません。

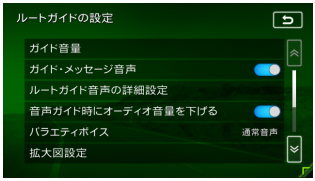
MEMO
- 走行軌跡のポイントは、3,000を超えると古いものから順に消去されます。軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。

ルートガイドの設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルートガイドの設定

3 目的の項目を選択



ガイド音量：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。
（初期値：レベル6）

お知らせ
- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

ガイド・メッセージ音声：
音声案内などのナビゲーション音声を出力する（ON）／しない（OFF）を選択する。
（初期値：ON）

ルートガイド音声の詳細設定：
音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う。
- 交差点ガイド設定→ P.147
  交差点での音声案内および案内表示を設定する。
- レーンガイド
  ルートガイド中の通過交差点に対して、レーン規制に注意が必要な場合に音声で案内をする。（初期値：ON）
- 料金ガイド（初期値：ON）
- 合流ガイド（初期値：ON）
- 踏み切りガイド
  踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する。
  （初期値：ガイド中に表示する）

音声ガイド時にオーディオ音量を下げる：
音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる。（初期値：ON）

バラエティボイス：
音声案内の言語を選択する。
（初期値：通常音声）→ P.148

拡大図設定：
高速入口と高速分岐において、拡大図を表示する（ON）／しない（OFF）を、それぞれ選択する。
・高速入口の画像表示（初期値：ON）
→ P.68
・高速分岐の画像表示（初期値：ON）
→ P.68

到着予想時刻の表示切替：
到着予想時刻を表示する地点を設定する。（初期値：目的地）

誘導情報の割り込み表示：
ナビエリア以外を表示中に、交差点案内やETC2.0から受信する図形情報等の割り込み表示／非表示を切り替える。
（初期値：OFF）
「ON」に設定すると、オーディオOFFの画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

到着予想時刻の速度設定：
到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する。→ P.148

その他の設定：
ルートガイドに関するその他の設定をする。
・一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示
一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をする／しないを、それぞれ選択する。（初期値：常時表示する）
・オートリルート
ルートガイド中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する。（初期値：ON）
→ P.149
・オートリルート結果（渋滞・規制考慮）の表示
ルートガイド中、現在のルートより早いルートが見つかった場合に新しいルート画面を表示する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：OFF）

交差点ガイドの設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

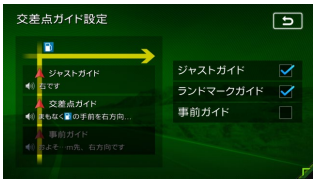
2 ルートガイドの設定

3 ルートガイド音声の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面左側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。

5 目的の項目を選択



ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行う。
（初期値：ON）

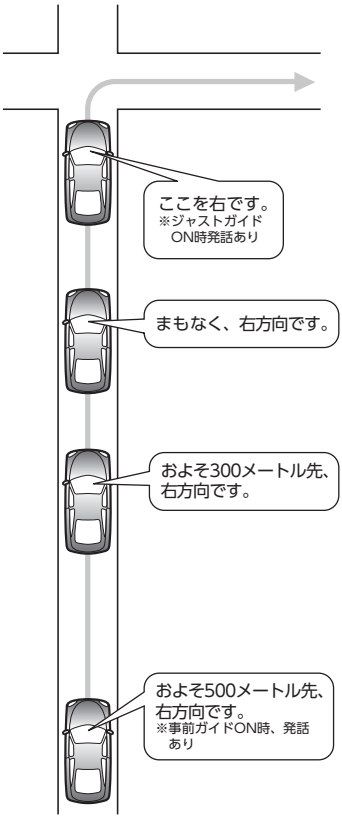
ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行う。
（初期値：ON）
例：「ON」の場合
まもなく、○○○（施設名）の手前を右方向です。
「OFF」の場合
まもなく、右方向です。

事前ガイド：
交差点より手前で、音声案内を行う。
（初期値：OFF）

■ ガイド設定と音声案内回数

	事前ガイドON	事前ガイドOFF
ジャストガイドON	音声案内4回	音声案内3回
ジャストガイドOFF	音声案内3回	音声案内2回

■ 一般道でのガイド位置と発話内容



バラエティボイスの設定をする

音声案内の声を選択できます。

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルートガイドの設定

3 バラエティボイス

4 **ボイスを選択**

選択したボイスが設定されます。

取り込み：
バラエティボイスのほかに、新しくボイスを追加する。→ P.144
以下のクラリオン株式会社のeショップ・サイトからダウンロードボイスデータを購入し、ダウンロードしてください。
https://ec.clarion.com/html/category/001/001/13/category13_0.html

消去：
SDカードから取り込んだダウンロードボイスデータを消去する。

— お知らせ —

- バラエティボイス使用時は、現在地 を長押ししても音声ガイドを行いません。

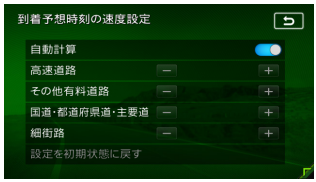
到着予想時刻の計算基準速度を設定する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルートガイドの設定

3 到着予想時刻の速度設定

到着予想時刻の速度設定画面が表示されます。



4 **(自動計算の場合)**
自動計算
(ONになっていることを確認)

統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定する。(初期値：ON)
この設定がONのときは、下記、道路の種類ごとの速度設定は考慮されません。

(手動設定の場合)
自動計算 **をOFF ▶**
各設定の ＋ または － をタッチ

高速道路 ＋ －：
高速道路走行時の速度を5 ～ 120km/hに設定する。

その他有料道路 ＋ －：
有料道路走行時の速度を5 ～ 100km/hに設定する。

国道・都道府県道・主要道 ＋ －：
国道・都道府県道・主要道走行時の速度を5 ～ 60km/hに設定する。

細街路 ＋ －：
細街路走行時の速度を5 ～ 30km/hに設定する。

設定を初期状態に戻す：
それぞれの設定速度を初期値に戻す。

到着予想時刻の計算基準となる速度が設定されます。

オートリルートについて

オートリルートは、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用しない場合は、「オートリルート」をOFFに設定してください。
→ P.147「その他の設定」
オートリルートは、以下の場合に行われます。

お車がルートを外れている場合
お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合
渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。
この探索には以下の設定が必要な場合があります。
- 「リアルタイム交通情報を考慮」が「ON」
  → P.151
- 「時間規制道路」が「規制に従う（推奨）」
  → P.151

交通情報・VICS情報の設定をする

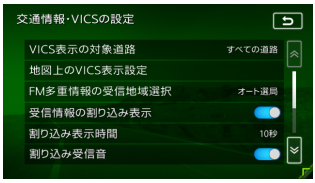
準備

- ETC2.0情報を利用するには、別売のETC2.0ユニットが必要です。

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 交通情報・VICSの設定

3 目的の項目を選択



VICS表示の対象道路：
VICS情報表示の対象となる道路を選択する。（初期値：すべての道路）
設定した内容は、ETC2.0にも適用されます。

地図上のVICS表示設定：
表示するVICS情報の項目を選択する。
設定は、ETC2.0にも適用されます。
- 渋滞・混雑（初期値：ON）
- 順調（初期値：OFF）
- 事故・規制情報（初期値：ON）
- 気象・災害情報（初期値：ON）
- 駐車場情報（初期値：ON）
- SA・PAの駐車場情報（初期値：ON）
- 臨時駐車場情報（初期値：ON）

FM多重情報の受信地域選択：
FM多重情報の受信地域の設定を行う。（初期値：オート選局）
- オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。
- 都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。

受信情報の割り込み表示 ※：
ETC2.0から受信する図形情報を、画面に割り込み表示する（ON）／しない（OFF）を設定する。（初期値：ON）

MEMO
- 「誘導情報の割り込み表示」がOFFの場合、本設定がONであっても、情報は割り込み表示されません。（初期値：OFF）
  → P.147

割り込み表示時間 ※：
ETC2.0から受信する図形情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する。（初期値：10秒）

割り込み受信音 ※：
ETC2.0情報を受信したとき、受信音を鳴らす（ON）／鳴らさない（OFF）を設定する。（初期値：ON）
緊急情報、注意警戒情報受信時は、設定に関係なく受信音で知らせます。
ETC2.0情報の自動音声読み上げ ※：
ETC2.0情報のTTS音声データの読み上げをする（ON）／しない（OFF）を設定する。（初期値：ON）
ETC2.0アップリンク ※：
ITSスポットにETC2.0情報を送信する（ON）／しない（OFF）を切り替える。（初期値：ON）
※ 別売のETC2.0ユニット接続時に設定できます。

ルート探索条件の設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルート探索条件の設定

3 目的の項目を選択

探索条件：
ルート探索時の優先路を選択する。
→ P.150
・有料（省エネ） または 一般（省エネ） を選択すると、「統計交通情報を考慮」が自動的にONになります。→ P.151
ルートの学習：
ルートの学習に関する設定を行う。
→ P.151
その他の条件：
その他の探索条件を設定する。→ P.151

探索条件の設定をする

ルート探索時の優先路を設定します。

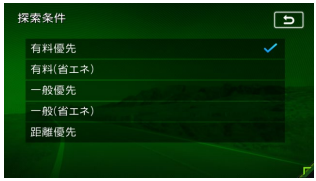
1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルート探索条件の設定

3 探索条件

4 目的の項目を選択

「省エネルートを考慮」ONの場合



「省エネルートを考慮」OFFの場合

（有料道路を優先的に使用するルート）
有料優先：
目的地までの所要時間が短くなるよう考慮したルートを探索する。
有料（省エネ） ※：
目的地までの燃料消費量が少なくなるよう考慮したルートを探索する。
（一般道路を優先的に使用するルート）
一般優先：
目的地までの所要時間が短くなるよう考慮したルートを探索する。
一般（省エネ） ※：
目的地までの燃料消費量が少なくなるよう考慮したルートを探索する。
距離優先：
目的地までの距離が短くなるよう考慮したルートを探索する。
※「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。

ルートが設定されているときは、選択した探索条件でルートを再探索します。

お知らせ
- 表示される探索条件は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。→ P.152

MEMO
- 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

ルートの学習の設定をする

自宅から半径約3km範囲内の走行履歴を考慮する／しないを設定します。走行回数の多い道路ほどルートに採用されやすくなります。

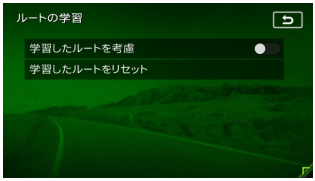
準備

●自宅を登録してください。→ P.29

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルート探索条件の設定

3 ルートの学習 ▶ 学習したルートを考慮



学習したルートをリセット：
ルートの学習をリセットする。

お知らせ
- 地図データを更新した場合も、学習内容はいったんリセットされ、再び学習が行われます。
- 以下の探索条件を設定した場合、ルート探索時に学習内容は考慮されません。
  - 有料（省エネ）
  - 一般（省エネ）

お知らせ
- ルートの学習は、走行履歴を考慮していますが、お客様が想定される結果と合わない場合もあります。

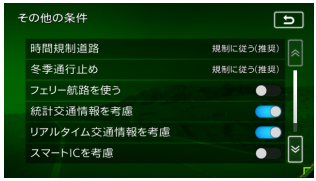
その他の探索条件を設定する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 ルート探索条件の設定

3 その他の条件

4 目的の項目を選択



時間規制道路：
時間規制道路の時間規制を考慮する／しないを選択する。（初期値：規制に従う（推奨））

冬季通行止め：
冬季通行規制を考慮する／しないを選択する。（初期値：規制に従う（推奨））

フェリー航路を使う：
フェリー航路を使用する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：OFF）
OFFに設定していても、フェリーを使わないと探索できない場合は、フェリー航路を使用します。

統計交通情報を考慮：
統計交通情報を考慮する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：ON）
統計交通情報とは…
過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

お知らせ
- 「探索条件」で「有料（省エネ）」、または「一般（省エネ）」設定時は自動的にONになります。→ P.150

リアルタイム交通情報を考慮：
以下の交通情報を考慮する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：ON）
・FM VICS情報

スマートICを考慮：
スマートICを出入口として考慮する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：OFF）

お知らせ

- スマートICはETCユニットまたはETC2.0ユニットを搭載した車両のみ利用できます。「スマートICを考慮」をONにすると、ETCユニットまたはETC2.0ユニットの接続、ETCカードの挿入の有無にかかわらず、スマートICを利用する経路を設定します。

省エネルートを考慮：
省エネルートを考慮する（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：ON）

お知らせ

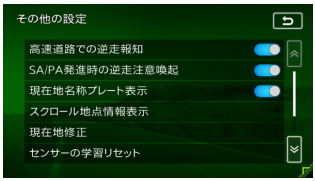
- 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

その他のナビゲーション設定をする

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 その他の設定

3 目的の項目を選択



高速道路での逆走報知：
高速道路上の分岐・合流点において逆走報知をする（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：ON）→ P.71

SA/PA発進時の逆走注意喚起：
高速道路のサービスエリア／パーキングエリアにおいて、駐車後の再発進時に逆走注意喚起をする（ON）／しない（OFF）を選択する。（初期値：ON）→ P.71

現在地名称プレート表示：
地図画面で、現在地名称表示をする（ON）／しない（OFF）を選択する。
（初期値：ON）→ P.32

スクロール地点情報表示：
スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンに合わせた場合の情報の表示（ON）／非表示（OFF）を切り替える。（初期値：すべてON）
・登録地アイコン情報
・VICSアイコン情報（2D地図のみ）
・行き先アイコン情報
・緯度・経度情報
・マップコード

現在地修正：
自車位置を修正する。→ P.152

センサーの学習リセット：
距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する。

MEMO

- タイヤ交換時や、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。
→ P.182「自車位置の精度について」

入力履歴の消去：
施設名称検索の入力履歴を消去する。

接続チェック：
各機器と本機との接続状況を確認する。接続が確認されると、リスト画面に「OK」が表示されます。また、GPS受信状態も確認できます。

自車位置を修正する

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定

2 その他の設定

3 現在地修正

4 正しい自車位置に移動→ P.42

5 場所を確認 ▶ 決定

6 ⮜ または ⮞ をタッチ ▶ 決定

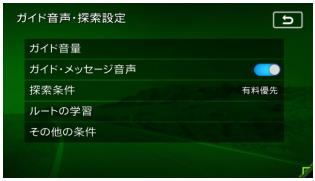
自車位置が修正され、現在地地図画面に戻ります。

ガイド音声・探索設定をする

ルートガイド時のメッセージや音量の設定、およびルート探索条件に関する設定を行います。

1 MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ガイド音声・探索設定

2 目的の項目を選択



ガイド音量 ※：
音声案内の音量を設定する。

ガイド・メッセージ音声 ※：
音声案内などのナビゲーション音声出力を選択する。

探索条件：
ルート探索時の優先路を選択する。
→ P.150

ルートの学習：
ルートの学習に関する設定を行う。
→ P.151

その他の条件：
その他の探索条件を設定する。→ P.151

※「ルートガイドの設定」と連動しています。
→ P.146

画面の設定をする

画面の明るさを調整する

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 明るさ調整

3 ＋ または － をタッチ

4 ⮌

調整した明るさに設定されます。

MEMO
- 明るさは昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。
- ビジュアル画面（映像ソース間で共通）、カメラ画面の画質調整については、各ページの説明をご覧ください。

昼画面と夜画面を切り替える

画面明るさ切替の設定にかかわらず、画面が見づらい場合などに、手動で昼画面と夜画面を切り替えることができます。

1 MENU ▶ ツールエリア の 昼／夜

タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

ナビゲーションの音量を調整する

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 音量調整

3 目的の項目を選択

ガイド音量 ※1：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。
（初期値：レベル6）

ガイド・メッセージ音声 ※1：
音声案内などのナビゲーション音声を出力する（ON）／しない（OFF）を選択する。
（初期値：ON）

着信音量 ＋ － ※2：
電話の着信音量を調整する。
（初期値：レベル4）

受話音量 ＋ － ※2：
電話の受話音量を調整する。
（初期値：レベル4）

送話音量 ＋ － ※2：
電話の送話音量を調整する。
（初期値：レベル3）

操作音：
ボタンやタッチキーを操作時に、ビープ音を鳴らす（ON）／鳴らさない（OFF）を選択する。（初期値：ON）

Intelligent VOICE応答音量：
Intelligent VOICEアプリケーション利用時の応答音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。
（初期値：レベル6）

※1「ルートガイドの設定」と連動しています。→ P.146

※2 電話設定画面の「電話音量調整」と連動しています。→ P.90

お知らせ

- ガイド音量とIntelligent VOICE応答音量の場合、走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

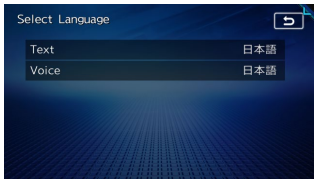
言語の選択をする

選択した言語で画面表示したり、音声案内を行います。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定

2 言語選択

3 目的の項目を選択



Text：
画面表示の言語を選択する。
（初期値：日本語）

お知らせ

- English/日本語/中文/한국어から選択できます。
- 地図画面表示、目的地検索の施設リスト、オーディオ画面の情報表示など一部の表示は言語切り替えの対象となりません。

Voice：
音声案内の言語を選択する。
（初期値：日本語）

MEMO

- この設定は、「バラエティボイス」と連動しています。→ P.148

Smart Accessの設定をする

スマートフォンと連携中にSmart Accessアプリケーション画面に表示される通知文言一覧の表示を切り替えたり、Smart Accessアプリケーションのキャッシュを削除します。

Smart Accessアプリケーションの通知文言の表示を切り替える

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞

2 Smart Access設定 ▶ お知らせ通知

3 目的の項目のON/OFFを切り替える

Smart Accessアプリケーションのキャッシュを削除する

スマートフォンと本機が正しく接続されているにもかかわらず、スマートフォンとの連携時にエラーとなったり、正しく動作しないときに実行します。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ >

2 Smart Access設定 ▶ キャッシュデータ消去

3 はい

オープニング画面の設定をする

準 備

●SDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでください。→ P.145

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ >

2 オープニング画面

3 オープニング画面を選択 ▶ 決定

取り込み：
SDカード内のオープニング画面ファイルを取り込む。→ P.145

消去：
SDカードから取り込んだオープニング画面データを消去する。

オリジナル：
工場出荷時の画像に戻す。

4 はい

選択したオープニング画面が設定されます。

デザインテーマを変更する

SDカード内のデザインテーマを取り込めます。新しいデザインテーマは、パソコンで以下のサイトからダウンロードできます。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

準 備

●デザインテーマを保存したSDカードを本機に挿入してください。

1 メニュー ▶ ツールエリア の 設定 ▶ >

2 デザインテーマ

3 目的の項目を選択

オリジナル：
工場出荷時のデザインテーマに戻す。

(デザインテーマ名)：
SDカードに保存したデザインテーマに変更する。

4 はい

自動的に再起動がはじまります。
再起動後、選択したデザインテーマに変更されます。

お知らせ

• デザインテーマの取り込みには、2分ほど時間がかかることがあります。

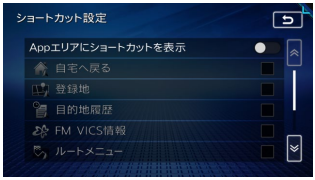
ショートカットの設定をする

Quad View画面のAPPエリアにショートカットを表示させたり、表示するショートカットの項目を設定できます。

1 メニュー ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞

2 ショートカット設定

3 目的の項目を選択



Appエリアにショートカットを表示：
ショートカットを表示する（ON）／しない（OFF）を設定する。
（初期値：OFF）

自宅へ戻る：
ショートカットに（自宅へ戻る）を表示する。

登録地：
ショートカットに（登録地）を表示する。

目的地履歴：
ショートカットに（目的地履歴）を表示する。

FM VICS情報：
ショートカットに（FM VICS情報）を表示する。

ルートメニュー：
ショートカットに（ルートメニュー）を表示する。

地図表示変更：
ショートカットに（地図表示変更）を表示する。

Bluetooth機器選択：
ショートカットに（Bluetooth機器選択）を表示する。

ミュート：
ショートカットに（ミュート）を表示する。

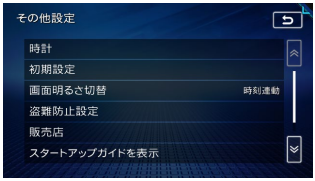
MEMO

- 選択したショートカットの項目は、リストの上部に移動します。選択を解除すると、選択している項目の下に移動します。
- APPエリアに表示されるショートカットの表示順序は、ショートカット設定 で選択した順番になります。
- APPエリアの表示サイズによって、表示されるショートカットの個数は異なります。
- 以下のサイズでAPPエリアを表示している場合、ショートカットは表示されません。
  - 均等4分割画面（4つのエリアを等分に表示）
  - APPエリアを全画面表示
  - 4分割画面でAPPエリアをメインに表示

その他の設定をする

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞ ▶ その他設定

2 目的の項目を選択



時計：
時計の表示方法を設定する。→ P.23

初期設定：
車両やカメラ接続などについての設定を行う。→ P.157

画面明るさ切替：
昼画面と夜画面を自動的に切り替える条件を設定する。（初期値：時刻連動）
・イルミ連動
　スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替える。
・時刻連動
　時刻に連動して、自動的に昼画面または夜画面に切り替える。

盗難防止設定：
盗難防止に関する設定を行う。→ P.158

スタートアップガイドを表示：
スタートアップガイドを表示する。
→ P.17

出荷状態に戻す：
本機のデータや設定を初期値に戻す。
→ P.222

お知らせ

- 販売店 は販売店専用のメニューです。一部機能が正常にはたらかなくなるため使用しないでください。

初期設定をする

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞ ▶ その他設定

2 初期設定

3 目的の項目を選択

車種選択：
本機を使用する車種を選択し、最適なイコライザー設定値などに設定する。
→ P.158

カメラ接続設定：
各種カメラの接続設定を行う。
（初期値：すべてOFF）
ONの場合は、各種カメラが接続されているものとして動作します。
・リアカメラ→ P.172
・マルチアラウンドモニター→ P.175

MEMO

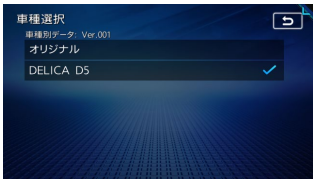
- カメラ接続設定 は、接続したカメラのみONにし、接続していない場合にはOFFのままにしてください。

車種選択をする

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ > ▶ その他設定

2 初期設定 ▶ 車種選択

3 お乗りの車種を選択



お乗りの車種が設定されます。

— MEMO —

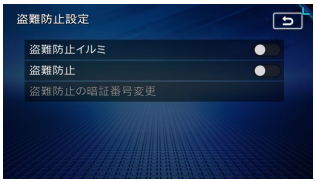
- バッテリーを取り外した場合は、再度車種選択を行ってください。

盗難防止設定をする

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ > ▶ その他設定

2 盗難防止設定

3 目的の項目を選択



盗難防止イルミ：
車両の電源がOFFのときに操作パネルのイルミを点滅させて、盗難を抑制する。（初期値：OFF）

盗難防止：
盗難時に、セキュリティ機能を作動させる。いったん本機が取り外された後は、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。（初期値：OFF）→ P.158

盗難防止の暗証番号変更：
盗難防止用の暗証番号を変更する。
→ P.158

盗難防止用に暗証番号を設定する

お願い

- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してください。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ > ▶ その他設定

2 盗難防止設定 ▶ 盗難防止

3 暗証番号についての注意事項を読む ▶ 確認

4 暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定

5 再度暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定

メッセージが表示され、暗証番号が保存されます。

— お知らせ —

- 暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。

— MEMO —

- 盗難防止設定を解除する場合は、盗難防止 をタッチして暗証番号を入力してください。

暗証番号を変更する

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ > ▶ その他設定

2 盗難防止設定 ▶ 盗難防止の暗証番号変更

3 暗証番号を入力 ▶ 決定

4 新しい暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定

5 再度暗証番号を入力（4桁） ▶ 決定

暗証番号を忘れてしまったら…

盗難防止用暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号照会申込書」に必要事項を記入して、クラリオン株式会社「お客様相談室」宛にお送りください。
「暗証番号照会申込書」は、以下のWebサイトよりダウンロードしてプリントアウトするか、またはクラリオン株式会社「お客様相談室」に請求してください。
https://www.clarion.com/jp/ja/user-support/password/light-navi/index.html

オーディオの音質を設定する

準 備

●オーディオをONにしてください。→ P.97

1 MENU ▶ **オーディオエリア** の 音響設定

2 **目的の項目を選択**

Balance/Fader **（バランス/フェーダー）：**
前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する。（初期値:Center 0）→ P.160

Vocal Image Control
（ヴォーカルイメージコントロール）：
ヴォーカルの音量バランスを調整することで、ヴォーカルの音像を前後左右に移動する。（初期値：Center 0）→ P.160

Virtual Stage Enhancer
（バーチャルステージエンハンサー）：
ヴォーカル成分とサラウンド成分を抽出し調整することで、臨場感のあるサラウンドサウンドを実現する。
（初期値：LOW）→ P.160

グラフィックEQ **：**
あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する。
（初期値：Flat）→ P.161
音質効果メモリーを調整することもできます。
・ユーザーカスタマイズ
　音質効果メモリーを作成して保存する。
　→ P.161「お好みの音質効果を設定する」

車速連動ボリューム **：**
加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する。（初期値：OFF）
「LOW」→「MID」→「HIGH」の順に音量の上がる幅が大きくなります。

Sound Restorer **（サウンドリストアラー）：**
圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける。（初期値：LOW）

Volume Smoother
（ボリュームスムーサー）：
再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組とCMの音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する。
（初期値：OFF）→ P.161

Virtual Bass **（バーチャルバス）：**
低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強する。（初期値：LOW）
※聴く音楽によっては、効果が少ない場合があります。

Loudness **（ラウドネス）：**
音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する。（初期値：3）

Intelligent Tune
（インテリジェントチューン）：
以下の機能を設定する。
（初期値：OFF）→ P.162
・Vocal Image Control
・Virtual Stage Enhancer
・Sound Restorer
・Volume Smoother
・Virtual Bass
ONにするとそれぞれ設定を変更できます。

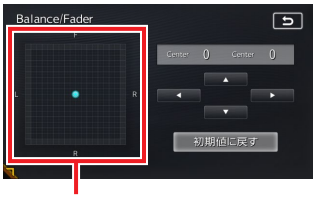
その他設定 **：**
以下の設定を行う。
・音響設定の初期化→ P.162

スピーカーの音量バランスを調整する

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 Balance/Fader

3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定



ポイントをドラッグしたり、グリッド内を直接タッチして設定することもできます。

初期値に戻す：
音量バランスを初期値に戻す。

ヴォーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する

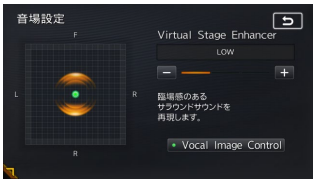
Virtual Stage Enhancerは、ステレオ音源からヴォーカル成分とサラウンド成分を抽出し、フロント・リアスピーカーにバランス良く振り分けることで、臨場感のあるサラウンドサウンドになるよう調整します。

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 Intelligent Tune
（ONになっていることを確認）

3 Virtual Stage Enhancer

4 ＋、－ をタッチして設定



ヴォーカル成分のレベルバランスを調整する

Vocal Image Controlは、ステレオ音源の中央に定位するヴォーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ヴォーカルの左右のバランスや奥行き感を調整してください。

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 Intelligent Tune
（ONになっていることを確認）

3 Virtual Stage Enhancer

4 Vocal Image Control

5 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定

ポイントをドラッグしたり、グリッド内を直接タッチして設定することもできます。

初期値に戻す：
ヴォーカル成分のレベルバランスを初期値に戻す。

お知らせ

- Virtual Stage EnhancerがOFF以外の場合は、Vocal Image Controlの前後方向の設定は「0」になり変更できません。

音質効果メモリーを選んで設定する

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 グラフィックEQ

3 **音質を選択**

Bass.B：重低音の増強
High.B：中高域の増強
Acoustic：中域（人の声）の増強
Impact：低域と高域の増強
Smooth：しっとりと落ち着いた感じ
Flat：原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

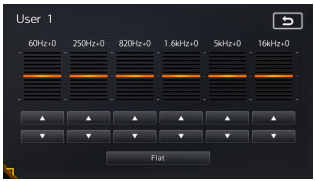
1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 グラフィックEQ

3 User 1 、User 2 、または User 3

4 調整する

5 **音質効果を設定**



▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整する。

Flat：
各帯域の設定を「0」に戻す。

— MEMO —
- 次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Volume Smootherを調整する

■ Volume Smootherとは

Volume Smootherは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Volume SmootherをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整します。その結果、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴できます。音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- ●CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- ●TVを見ているときの番組とCMの音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
- ●DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Volume SmootherをONにすると、これらのケースでも音量操作をする必要がありません。各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴できます。

■ Volume Smootherのレベルを調整する

Volume Smootherのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変えられます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 Intelligent Tune
（ONになっていることを確認）

3 Volume Smoother

4 ＋ 、－ **をタッチして設定**
Volume Smootherのレベルが調整されます。

— MEMO —
- テレビやDVDなど、音量レベル差のあるソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」の設定をおすすめします。
- Volume Smootherは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定できます。ソースを切り替えると、Volume Smootherも各設定値に切り替わります。

Intelligent Tuneを使う

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 Intelligent Tune

Intelligent Tune のON/OFFを切り替えることで、以下の機能を一括でON/OFFできます。

- Vocal Image Control
- Virtual Stage Enhancer
- Sound Restorer
- Volume Smoother
- Virtual Bass

MEMO

- Intelligent Tune をOFFにし、再度ONにすると、OFFにする前に設定した値に戻ります。
- SDカード・USBメモリーのサンプリング周波数が48kHzを超えるファイルでは、Intelligent Tuneを使用できません。

音響設定を初期値に戻す

すべての音響設定値のほか、ガイド音量、電話の音量、各AVソースの音量を初期値に戻します。

1 MENU ▶
オーディオエリア の 音響設定

2 その他設定

3 音響設定の初期化

4 はい

OPTIONボタンの操作方法

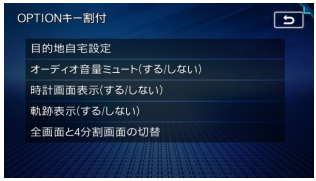
よく使う機能を割り付けられます。
を押すと、設定の変更や切り替えをすばやく行えます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

1 **を長押し**

はじめて操作するときは、を短く押してもOPTIONキー割り付け画面を表示できます。

2 **割り付けたい機能を選択**



選択した機能が に割り付けられます。

目的地自宅設定：
自宅を目的地として設定する。
あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。→ P.29「自宅を登録する」

オーディオ音量ミュート（する／しない）：
オーディオ音量ミュートのON/OFFを切り替える。

時計画面表示（する／しない）：
時計画面の表示／非表示を切り替える。
→ P.23「時計の表示を設定する」

軌跡表示（する／しない）：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。
→ P.146「走行軌跡の設定をする」

全画面と4分割画面の切替：
Quad View画面の4分割画面表示／全画面表示を切り替える。

次回から を押すと、割り付けた機能が実行されます。

お知らせ

- 別売のマルチアラウンドモニターを接続しているときは、に機能を割り付けることができません。

アクセサリーを使う

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明しています。アクセサリー機器によっては、本機の別売品として設定されていないものもあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコンを使う

リモコン使用時のご注意

●本機のリモコン受信部に直射日光を当てない。

リモコン操作を受け付けない場合があります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しない。

本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

●以下の場合はリモコンの電池を交換する。
- リモコン信号の到達距離が短くなった。
- リモコンの操作可能範囲が狭くなった。

●リモコンを1 ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出す。

液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

⚠ 注意

- **指定された電池以外は使用しない。**
  電池の破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。
- **リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる。**
  指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- **加熱・分解したり、火・水の中に入れない。**
  電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- **金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯、または保管しない。**
  電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- **使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する。**
- **リモコンに付属の電池は、乳幼児の手の届くところに置かない。**
  誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電池を交換する

1 **電池カバーを開け、電池を取り出す**

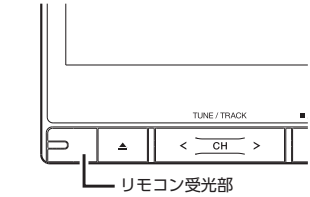
2 **新しいリチウム電池（CR2025）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める**

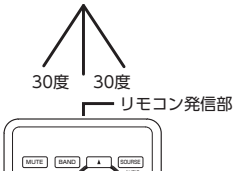
お願い

- はじめてリモコンを使用するときは、付属の電池を入れてください。

リモコンの使いかた

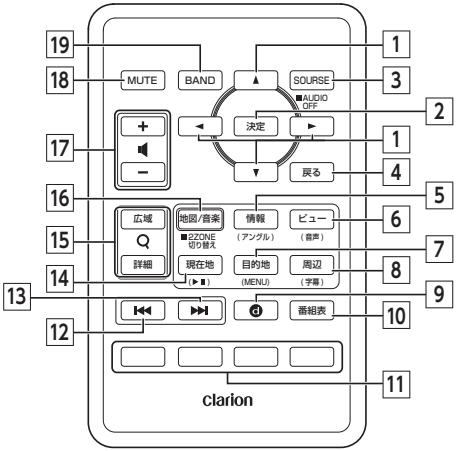
1 **本機のリモコン受光部に向けて操作する**





リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンボタンの名称とはたらき



1 ◀ ▲ ▶ ▼ **ボタン**
DVDメニューやテレビのデータ放送などで、項目など選択に使用します。

2 決定 **ボタン**
選択した項目の決定に使用します。

3 SOURCE **ボタン**
オーディオモードのソースを切り替えます。
長押しするとオーディオをOFFにします。
(電話の通話中は使用できません。)

4 戻る **ボタン**
前の画面に戻ります。

5 情報 **ボタン**
2-ZoneがOFFの場合：
VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。
2-ZoneがONの場合：
後席用モニターにてDVDビデオ再生中のとき、アングルを切り替えます。

6 ビュー **ボタン**
2-ZoneがOFFの場合：
地図表示変更メニューを表示します。
2-ZoneがONの場合：
後席用モニターにてDVD再生中のとき、音声言語を切り替えます。

7 目的地 **ボタン**
2-ZoneがOFFの場合：
行き先を設定するための目的地メニューを表示します。
2-ZoneがONの場合：
後席用モニターにてDVDビデオ再生中のとき、DVDメニューを表示します。

8 周辺 ボタン
2-ZoneがOFFの場合：
周辺検索メニューを表示します。
2-ZoneがONの場合：
後席用モニターにてDVD再生中のとき、字幕言語を切り替えます。

9 d ボタン
地上デジタルTV放送のデータ放送を受信します。

10 番組表 ボタン
EPG（電子番組ガイド）を表示します。

11 カラーボタン
地上デジタルTV放送のカラーキーを操作します。

12 ⏮ ボタン
テレビ／ラジオの場合：
プリセットチャンネルダウン
長押し時：
チャンネルのシークダウン
その他のAVソース選択時※：
トラックダウン
長押し時：
トラックの早戻し

13 ⏭ ボタン
テレビ／ラジオの場合：
プリセットチャンネルアップ
長押し時：
チャンネルのシークアップ
その他のAVソース選択時※：
トラックアップ
長押し時：
トラックの早送り

14 現在地 ボタン
2-ZoneがOFFの場合：
現在地地図画面を表示します。
2-ZoneがONの場合：
後席用モニターにてDVDまたはSDカード・USBメモリーのビデオ再生中にボタンを押すと、映像が表示された状態で一時停止します。一時停止中にボタンを押すと、停止した場所から再生がはじまります。

15 詳細 ボタン／ 広域 ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。長押しすると拡大／縮小を細かく切り替えられます。（フリースケール）
（ページ送りには対応していません。）

16 地図/音楽 ボタン
2-ZoneがOFFの場合：
画面の表示を、ナビエリア→オーディオエリア→APPエリア→ツールエリアの順に切り替えます。
長押しすると2-ZoneをONにします。
2-ZoneがONの場合：
2-ZoneをOFFにします。

17 ＋ ボタン／ － ボタン
音量を調整します。

18 MUTE ボタン
消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

19 BAND ボタン
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。MP3・WMA・AACディスク、Music Catcherではフォルダ／グループなどの UP ボタンとして機能します。

※ DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。また、HDMI、ドライブレコーダー選択時には操作無効となります。

お知らせ
- 2-ZoneのON/OFFによって、リモコンで操作できるオーディオが切り替わります。
  - 2-Zoneが「OFF」の場合：
    本機のナビやオーディオを操作
  - 2-Zoneが「ON」の場合：
    後席用モニターのオーディオを操作
- 電話の通話中は、本機のAVソースの切り替えはできません。2-ZoneがONの場合、後席用モニターのソースは切り替え可能です。

ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチを使う

操作パネル以外にも、ステアリング（ハンドル）パッドのリモコンでオーディオ・ビジュアルを操作できます。本機能は、ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ搭載車にのみ対応しています。

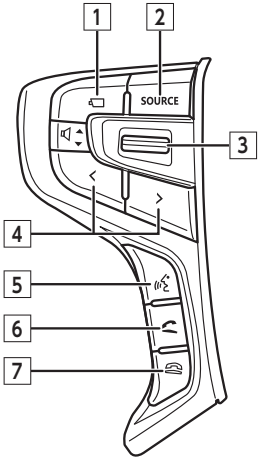
⚠ 注意

- **走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。**

❗ お願い

- 走行中は純正ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ以外操作しないでください。

スイッチの名称とはたらき



※イラストは一例です。
車種によって異なります。

1 **カメラスイッチ**
マルチアラウンドモニター接続時、カメラ映像の表示、および切り替えができます。

2 **ソーススイッチ（SOURCE）**
押すたびに、次のソースに切り替わります。
FM/AM※1→Music Catcher→SDメモリーカード→Bluetoothオーディオ→DVD/CD→TV→ USB/iPod→ドライブレコーダー→HDMI→FM/AM※1

- オーディオ機能がOFFのときにソーススイッチを押すと、直前に選択していたソースへ切り替わります。
- 機器の接続状態や本機の設定により切り替えられない場合は、次のソースへスキップします。
  ※1 FM/AMの切り替えはできません。
- ソーススイッチを長押しすると、オーディオ機能をOFFにできます。

3 **ボリュームスイッチ**
オーディオ音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。
△：音量を大きくします。
▽：音量を小さくします。

4 **アップ／ダウンスイッチ**
ラジオ／ TVモードにおける選局、またはDVD/CDモード等における選曲などに使用します。

ソース	＜／＞スイッチの短押し	＜／＞スイッチの長押し
FM/AM/TV	プリセットチャンネルのアップ／ダウン	自動選局（シーク選局）
DVD/CD/Music Catcher/SDメモリーカード/USB/iPod/Bluetoothオーディオ	トラック（チャプター）のアップ／ダウン	早送り／早戻し
交通情報	1620kHz/1629kHzの切り替え	–

5 **トークスイッチ**
Intelligent VOICEアプリケーションを起動します。

6 **受話スイッチ**
電話の着信中は通話を開始し、保留中は保留を解除します。

7 **終話スイッチ**
電話の発着信中は処理を中断し、通話・保留中は通話を終了します。

お知らせ
- 各スイッチの機能を入れ替える、などの設定はできません。

接続した外部機器を再生する（別売）

お手持ちのHDMI機器、または別売のドライブレコーダー（スタンドアローンタイプ）を接続することで、映像や音声を本機で視聴できます。

警告
- **本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を表示します。走行中は、音声のみ出力します。**
- **運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**

注意
- **接続する外部機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**

HDMI機器を接続する

1 別売のHDMIケーブルで、本機とお手持ちのHDMI機器を接続する

MEMO
- 接続したHDMI機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 MENU ▶ オーディオエリア の AVソース

3 HDMI

4 HDMI機器を操作する

映像が再生されます。

ドライブレコーダー（スタンドアローンタイプ）を接続する

1 別売のドライブレコーダー接続ケーブルで、別売のドライブレコーダー（スタンドアローンタイプ）を接続する

MEMO
- ドライブレコーダーの操作について詳しくは、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

2 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

3 ＞ ▶ ドライブレコーダー

4 **ドライブレコーダーを操作する**
ドライブレコーダーの映像が再生されます。

外部機器映像画面のサイズを切り替える

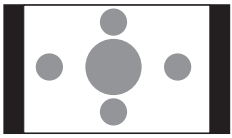
1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 **（HDMI機器の場合）**
HDMI
（ドライブレコーダーの場合）
＞ ▶ ドライブレコーダー

3 **画面をタッチ** ▶ ☼ ▶ 画面切替

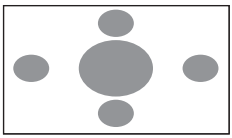
4 **画面の表示サイズを選択**

ノーマル：



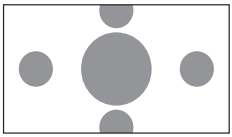
4:3サイズの映像を、中央に表示する。シネスコサイズ、ビスタサイズ、16:9サイズの映像の場合は、4:3サイズの比率に変形して表示されます。画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 ⮌
選択したサイズで画面が表示されます。

MEMO
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

外部機器映像の画質を調整する

1 MENU ▶
オーディオエリア の AVソース

2 **（HDMI機器の場合）**
HDMI
（ドライブレコーダー機器の場合）
> ▶ ドライブレコーダー

3 **画面をタッチ** ▶ ☼ ▶ 画面切替

4 **映像モードを選択**

ダイナミック ／ ソフト ：
色合い、色の濃さ、黒レベル、シャープネスを自動調節する。
コントラスト のみ手動で調整できます。
カスタム ：
すべての項目を手動で調整する。

5 **調整する項目を選択**

コントラスト / 色合い / 色の濃さ / 黒レベル / シャープネス

6 **− または ＋ をタッチ**
画面の映像を見ながら画質を調整してください。

7 ⮌
調整した画質に設定されます。

— MEMO —
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

後席用モニターを使う（別売）

お願い
- 後席用モニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

準 備
●別売の後席用モニター（HDMI入力対応、解像度：1,280x720対応）とHDMIケーブルが必要です。

後席用モニターに表示できる映像

後席用モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。
●テレビ
●SDカード・USBメモリーのビデオ
●DVDビデオ、DVD-VR
●HDMI

上記以外のソースを選択した場合、映像は表示されません。

— お知らせ —
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、後席用モニターには、再生中のソースの映像が表示されます。
- 後席用モニターの切り替えは、「本機と後席用モニターでAVソースを切り替える（2-Zone）」をご覧ください。→ P.98

本機と後席用モニターで別々のソースを視聴する（2-Zone）

2-Zone機能を利用すると、別売の後席用モニターでDVDやテレビなどを視聴しながら、本機では別のソースを視聴できます。2-Zone機能の操作については、「本機と後席用モニターでAVソースを切り替える（2-Zone）」をご覧ください。→ P.98

お知らせ

- 以下の場合、2-Zoneはご利用になれません。
  - SDカード／USBメモリーのファイルのうち、サンプリング周波数が48kHzを超えるファイルを再生中の場合
  - CD録音中の場合
- 2-Zoneをご利用中にCDの録音を開始すると、2-ZoneはOFFに切り替わります。
- 2-ZoneがONの場合、以下のような制限があります。
  - 後席用モニターで視聴しているソースの音声は、リアスピーカーから出力されます。
  - 本機と後席用モニターで同一の映像は表示できません。
  - SDカード／USBメモリーのファイルのうち、サンプリング周波数が48kHzを超えるファイルは再生できません。
- 2-ZoneをONからOFFにすると、後席用モニターは本機と同一の映像に変わります。本機で音声を再生していた場合は、後席用モニターは非表示になります。
- 後席用モニターに表示される映像に対して画質調整、および音響設定はできません。
- 音量調整は、本機と後席用モニターとで別々に行えます。
- 電話の通話中は、本機のAVソースの切り替えはできません。2-ZoneがONの場合、後席用モニターのソースは切り替え可能です。
- カメラ映像表示中は、AVソースの切り替え、および2-ZoneのON/OFF切り替えはできません。ただし、AVソースの切り替えは、ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ操作時のみ可能です。

2-Zone機能ON時に本機・後席用モニターで選択可能なソース一覧

2-Zone機能ON時に、本機および後席用モニターで同時に選択できるソースの組み合わせは以下のとおりです。

本機＼後席用モニター	DVDビデオ	DVD-VR	テレビ	SDビデオ	USBビデオ	HDMI
ラジオ	○	○	○	○	○	○
テレビ	○	○	×	×	×	○
CD、MP3・WMA・AACディスク	×	×	○	○	○	○
DVDビデオ	×	×	○	○	○	○
DVD-VR	×	×	○	○	○	○
SDオーディオ	○	○	○	×	○	○
SDビデオ	○	○	×	×	×	○
USBオーディオ	○	○	○	○	×	○
USBビデオ	○	○	×	×	×	○
iPodオーディオ	○	○	○	○	×	○
Music Catcher	○	○	○	○	○	○
Bluetoothオーディオ	○	○	○	○	○	○
ドライブレコーダー	○	○	○	○	○	○
HDMI	○	○	○	○	○	×
オーディオOFF	○	○	○	○	○	○

○：本機と後席用モニターで同時に再生可能
×：本機と後席用モニターで同時に再生不可

※ 2-Zone機能OFF時は、本機のソースが後席用モニターに連動されます。

カメラを使う（別売）

リアカメラを使う（別売）

別売のリアカメラは、ご購入店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります（ガイドは直線となります）。**
- **ガイドを表示する場合は、必ずお乗りのお車に合わせたガイドの調整を行ってください。**
- **リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

準 備

●「カメラ接続設定」の リアカメラ をONにしてください。→ P.157

— お知らせ

- リアカメラの映像表示中は、AVソースの切り替え、および2-ZoneのON/OFF切り替えはできません。ただし、AVソースの切り替えは、ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ操作時のみ可能です。

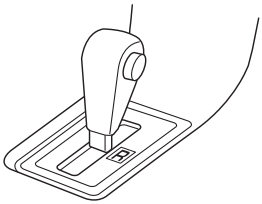
リアカメラの映像について

●カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
●リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
●夜間、または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
●カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

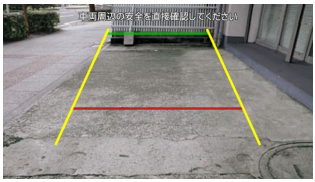
リアカメラの映像を表示する

1 車両の電源をONにする

2 セレクトレバーを R（リバース）にする



リアカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。



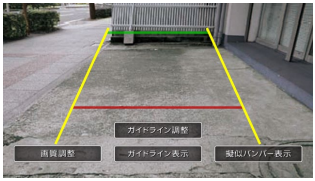
— MEMO

- リアカメラ映像表示中は、操作できるボタンが以下に限定されます。
  ＋ 、 －
- セレクトレバーを R（リバース）にしているときのみ、ガイドラインの表示および調整ができます。

モニターの画質を調整する（リアカメラ）

1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整



3 調整する項目を選択

明るさ
色合い
色の濃さ
黒レベル

4 − または ＋ をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整してください。

5 ⮌

調整した画質に設定されます。

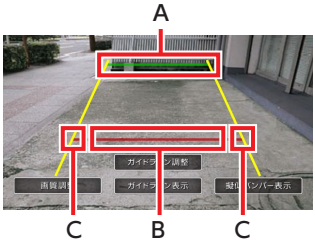
MEMO
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

ガイドラインの表示を切り替える

1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 ガイドライン表示

ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。



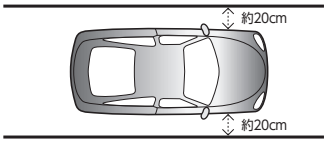
A：車両後端から約2mの位置を示します。
B：車両後端から約50cmの位置を示します。
C：車幅＋約20cmの目安を示します。

ガイドラインを調整する

ガイドラインの調整をする場合は、地面に目印を付ける必要があります。ガムテープなど、地面に線を引くための道具をご用意ください。また、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

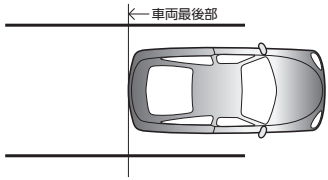
⚠ 警告
- **ガイドラインを調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。**
- **車を降りて目印を付ける際には、必ず車両の電源をOFFにしてください。**
- **ガイドラインはあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。**

1 車両の幅＋両側約20cmの位置（地面）に、直線の目印を付ける

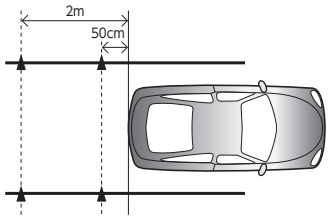


MEMO
- 目印は、ガムテープなどで車両の両側に付けてください。
- 目印は、車両の長さより少し長めに付けてください。

2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に、直線の目印を付ける



3 手順2の目印から、50cmおよび2m離れた左右4箇所にマークを付ける



MEMO
- 運転席から見やすいように、ガムテープなどでX印を付けることをおすすめします。

4 **ガイドラインを表示**→ P.173

5 ガイドライン調整

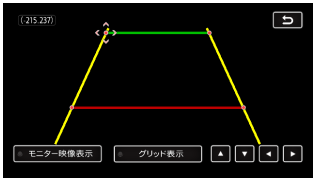
6 **調整したいガイドポイント（4箇所）を選択**

7 ▼、▲、◀、▶ **をタッチ**

手順3で付けたマークと合わせます。

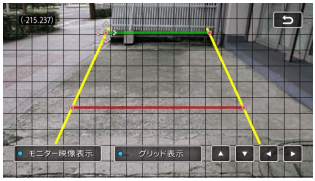
MEMO
- ▼、▲、◀、▶ をタッチし続けると、連続してガイドポイントを移動できます。

モニター映像表示 **をOFFにした場合**



リアカメラの映像が消えます。

グリッド表示 **をONにした場合**



グリッド線が表示されます。

8 **手順6、7を繰り返して、すべてのガイドポイントを手順3で付けたマークに合わせる**

9 ⮌

設定が保存され、通常のリアカメラの映像が表示されます。

擬似バンパーラインの表示を切り替える

リアカメラの取り付け位置によっては、リアカメラ映像にリアバンパーが表示されないことがあります。このような場合、擬似バンパーラインを表示することにより、リアバンパーの位置を擬似的に確認しながら駐車が可能となります。

1 **リアカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 擬似バンパー表示

擬似バンパーラインの表示／非表示が切り替わります。

擬似バンパーラインを調整する

擬似バンパーラインの調整をする場合は、地面に目印を付ける必要があります。ガムテープなど、地面に線を引くための道具をご用意ください。また、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

⚠ 警告
- **擬似バンパーラインを調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。**
- **車を降りて目印を付ける際には、必ず車両の電源をOFFにしてください。**
- **擬似バンパーラインはあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。**

1 **車両最後部+20cmの位置（地面）に、直線の目印を付ける**

2 **擬似バンパーラインを表示**→ P.174

3 擬似バンパー調整

4 ▼ **または** ▲ **をタッチ**

手順1で付けた目印に合わせて擬似バンパーラインの上下位置を調整してください。

5 ⮌

設定が保存され、通常のリアカメラの映像が表示されます。

マルチアラウンドモニターを使う（別売）

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車両を操作することは、絶対にしないでください。必ず直接目で車両の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **マルチアラウンドモニターはドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。**
- **マルチアラウンドモニターが映し出す範囲には限界があります。**
- **マルチアラウンドモニターの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整をするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

準 備

●「カメラ接続設定」の マルチアラウンドモニター をONにしてください。→ P.157

お知らせ

- マルチアラウンドモニターの映像表示中は、AVソースの切り替え、および2-ZoneのON/OFF切り替えはできません。ただし、AVソースの切り替えは、ステアリングホイールオーディオリモコンスイッチ操作時のみ可能です。

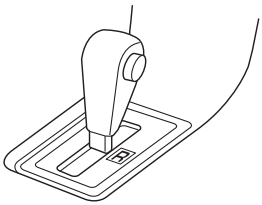
マルチアラウンドモニターの映像について

●カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
●リアビューの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
●夜間、または暗所ではマルチアラウンドモニターの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
●カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

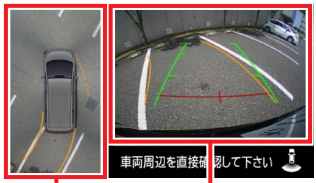
マルチアラウンドモニターの映像を表示する

1 車両の電源をONにする

2 セレクトレバーを R（リバース）にする、または ✱ を押す



マルチアラウンドモニターの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、マルチアラウンドモニターの映像が優先して表示されます。



バードアイビュー、またはサイドビューが表示されます。

セレクトレバーが R のときはリアビューが、R 以外のときはフロントビューが表示されます。
※停止～徐行時のみ

マルチアラウンドモニター映像表示中に ✱ を押すと、以下の順で画面が切り替わります。

<セレクトレバーが R の場合>
バードアイビュー＋リアビュー画面
↓
サイドビュー＋リアビュー画面
↓
バードアイビュー＋リアビュー画面

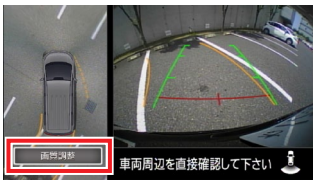
<セレクトレバーが R 以外の場合>
バードアイビュー＋フロントビュー画面
↓
サイドビュー＋フロントビュー画面
↓
フロントワイドビュー画面
↓
本機画面表示※
↓
バードアイビュー＋フロントビュー画面
※マルチアラウンドモニター映像に切り替える直前の画面

MEMO
- セレクトレバーが R の場合、マルチアラウンドモニター映像表示中は、操作できるボタンが以下に限定されます。
  ▲（長押しのみ）、<、>、＋、－

モニターの画質を調整する（マルチアラウンドモニター）

1 マルチアラウンドモニター映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整



3 調整する項目を選択

明るさ
色合い
色の濃さ
黒レベル

4 ＋ または － をタッチ

画面の映像を見ながら画質を調整してください。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO
- 画質は昼画面と夜画面それぞれで別の設定ができます。

ナビゲーションを更新する

最新のプログラム／地図データを取り込んで、本機のソフトウェア／地図データを最新版に更新できます。

地図データを更新する

地図更新の方法について

本機は、お客様所有のパソコンからインターネットに接続することで、最新の地図データに更新できます。

— MEMO —
- 地図更新の方法や具体的な日程については、以下のWebサイトをご覧ください。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/

■ 無料更新

以下のスケジュールで新しい地図データが配信されます。最大3回まで無料で地図更新できます。
●2023年4月
●2024年4月
●2025年4月

— お知らせ —
- 地図データの配信時期は変更になる場合があります。
- 無料地図更新有効期限は、2026年3月31日までとなります。

■ 地図更新権について

クラリオンeショップ・サイトで地図更新権をご購入いただきますと、無料更新終了後も地図更新が可能になります。

価格、更新期間など詳しくはクラリオンWebサイトおよびクラリオンeショップ・サイトをご覧ください。

クラリオンeショップ　地図更新権利購入

— お知らせ —
- 有料地図更新有効期限は、2028年3月31日までとなります。

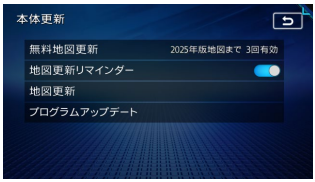
無料地図更新情報を確認する

無料地図更新を実行する前に、本機の地図データが無料更新可能か確認してください。

1 MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞ ▶ 本体情報

2 本体更新

3 地図データの更新状況を確認



無料地図更新：
無料地図更新の有効期限と回数を表示する。
地図更新リマインダー：
以下の条件を満たすごとに、一度だけ地図更新の通知を行う。
（初期値：ON）
・2023年8月1日以降の初回起動時
・2024年8月1日以降の初回起動時
・2025年8月1日以降の初回起動時
該当年度の地図更新が8月1日までに実施済みの場合、通知は行いません。

プログラム更新／地図データ更新の手順

お願い

- インターネット接続料金はお客様のご負担となります。

プログラム更新、および地図更新は、お客様ご自身で行います。以降の手順にしたがって処理を進めてください。

準備

地図データを更新する場合、プログラムをSDカードまたはUSBメモリーで更新する場合は、以下が必要です。

●パソコン（SDカードの読み書きが可能なもの）
●市販のSDカード、またはUSBメモリー（16GB以上）

●あらかじめ以下のWebサイトからプログラムデータ、または地図データをダウンロードしてください。
https://www.clarion.com/jp/ja/genuine/mitsubishi/info/
ダウンロードの際、下記製品情報の入力が必要になります。あらかじめ本機側でご確認ください。
→ P.80「本機の情報（確認コード）を見る」
・ 製品コード
・ シリアル番号
・ 地図バージョン
・ 確認コード
ダウンロードしたデータは、解凍して市販のSDカード、またはUSBメモリーにコピーしておきます。

お知らせ

- データ更新中は、本機の機能をご使用になれません。また、本機の電源を切らないでください。

MEMO

- データのダウンロード時間は、お客様のインターネット接続環境やパソコンによって異なります。

地図データを更新する

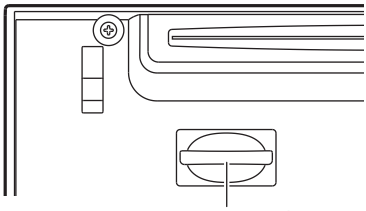
お知らせ

- USBメモリーを使用して地図データを更新する場合は、USBメモリーを本機に接続し、手順5から操作してください。

1 ⏏
操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉
操作パネルが開きます。

3 **地図データをコピーしたSDカードを、本機のSDメモリーカード挿入口に差し込む**



4 パネル開／閉
操作パネルが閉じます。

5 MENU ▶ **ツールエリア** ▦ **の** 設定 ▶ ＞ ▶ 本体情報

6 本体更新

7 地図更新

8 **（無料地図更新の場合）**
OK
（有料地図更新の場合）
OK ▶ **インストールキーを入力し、** 決定 ▶ 確認
地図更新を開始します。

9 **更新終了後、車両の電源をOFFにして再度ONにする**

10 ⏏ ▶ パネル開／閉 ▶ **手順3で挿入したSDカードを取り出す、または接続したUSBメモリーを取り外す**
これで更新作業は終了です。

プログラムを更新する

プログラムを更新する場合、SDカードまたはUSBメモリーを使用する方法と、お手持ちのスマートフォンとWi-Fi接続して使用する方法の2通りがあります。

SDカードまたはUSBメモリー経由で更新する

— お知らせ —

- USBメモリーを使用してプログラムを更新する場合は、USBメモリーを本機に接続し、手順5から操作してください。

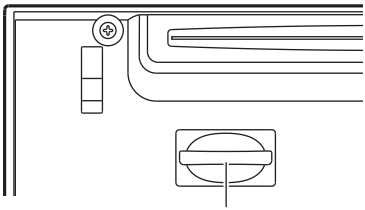
1 ⏏

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。

3 **プログラムデータをコピーしたSDカードを、本機のSDメモリーカード挿入口に差し込む**



SDメモリーカード挿入口

4 パネル開／閉

操作パネルが閉じます。

5 MENU ▶ **ツールエリア** ▦ **の** 設定 ▶ ＞ ▶ 本体情報

6 本体更新

7 プログラムアップデート

8 SDメモリーカードまたはUSBメモリーでアップデート

9 はい

プログラム更新を開始します。

10 **更新終了後、車両の電源をOFFにして再度ONにする**

11 ⏏ ▶ パネル開／閉 ▶ **手順3で挿入したSDカードを取り出す、または接続したUSBメモリーを取り外す**

これで更新作業は終了です。

— MEMO —

- USBメモリーとSDカードの両方にプログラムデータがあり、同時に本機に接続されている場合は、USBメモリー内のデータが優先されます。

オンライン経由で更新する

準 備

●あらかじめ、お手持ちのスマートフォンとのWi-Fi接続が必要です。→ P.91

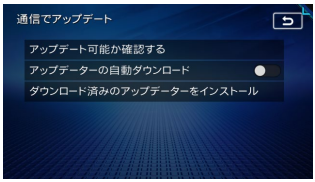
1 MENU ▶ **ツールエリア** ▦ **の** 設定 ▶ ＞ ▶ 本体情報

2 本体更新

3 プログラムアップデート

4 通信でアップデート

5 アップデート可能か確認する



アップデーターの自動ダウンロード：
本機のACC ON時、またはWi-Fi接続時にプログラムデータの更新状況をチェックし自動的にダウンロードする。
（初期値：OFF）
ONにするとアップデート可能か確認するは選択できません。
プログラムをダウンロードしたまま車両の電源をOFFにした場合は、次回起動時にプログラム更新をする／しないを確認する画面が表示されます。

ダウンロード済みのアップデーターをインストール：
すでに更新用のプログラムをダウンロードしている場合、本機のプログラムを更新する。

6 更新確認画面で はい ▶ ダウンロード確認画面で はい

プログラムのダウンロードを開始します。

— MEMO —

- プログラムサイズが大きすぎる場合は、パソコンでダウンロードするようメッセージが表示されます。
  SDカードまたはUSBメモリー経由でプログラムをダウンロードし、プログラム更新してください。→ P.179

7 インストール確認画面で はい

いいえ：
あとでプログラムを更新する場合に選択する。
ダウンロード済みのアップデーターをインストール
でプログラム更新を実行できます。プログラムを更新しないで車両の電源をOFFにした場合は、次回起動時にプログラム更新をする／しないを確認する画面が表示されます。

本機のプログラム更新を開始します。

8 更新終了後、車両の電源をOFFにして再度ONにする

これで更新作業は終了です。

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより取得するデータから、車が地図上を進む距離や方向を学習して認識します。（距離係数／学習機能）そのため、ある程度の走行データが必要になります。
走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の自車位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセットの操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じます。
→ P.182「自車位置の精度について」
GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間での学習が可能です。

GPSが受信できる、下記のような道で、法定内のスピードで定速走行を行う。
●上空に障害物がない道
●周辺に高いビルがない道

3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

自車位置の精度について

●はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったとき、または通常使用中等に、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。
●GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。
その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

以下のような走行環境やGPS衛星の状態により、自車位置を正しく表示しない場合があります。
●Y字路のように徐々に開いていく道路を走行している。
●ループ橋など、連続して大きく旋回する道路を走行している。
●直線および緩やかなカーブを長距離走行している。
●峠道など、つづら折れの道路を走行している。
●碁盤目状道路を走行している。
●高速道と側道のように、近接した似た方位の道路を走行している。
●駐車場や新設道路など地図上にない道路や、実際の道路形状と異なる道路を走行している。
●車両の電源をOFFにした状態でターンテーブルで旋回したり、フェリー・車両運搬車などでの移動後。
●雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路を走行している。
●坂道での車庫入れやバンクした道路を走行している。
●タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をした後。
●長時間連続で走行している。
●ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
●自車位置の移動時に車両の方位が合っていない。

10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、以下の操作をしてください。

1. **「現在地修正」**→ P.152
2. **「センサーの学習リセット」**→ P.152
3. **「自車位置のずれを修正するには」**→ P.181

故障かなと思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、念のため、下記のことをお確かめください。

ナビゲーション

症状		処置
表示関連	GPSが受信できない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などがなくなれば受信できます。
		衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		走行することにより表示されるようになります。
	画面が表示されない。	画面消しの状態になっている場合は、MENU や 現在地 を押すと解除されます。 → P.23「画面を非表示／時計表示にする」
		ヒューズが切れている場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
	電源投入後、画面が見づらい。	液晶の特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
	マルチメーターの情報が実際の走行状態と異なる。	故障ではありません。表示された情報をリセットしてください。 目的地を設定したり、ルートガイドを取りやめると、表示された情報はリセットされます。
ルートガイド音声関連	ルートガイドの音声が小さい。(または大きい)	音量を調整してください。→ P.153
	ガイド音声が出ない。	ガイド・メッセージ音声を「ON」にしてください。 → P.153
	ルートガイドの音声が、交差点に入ってから聞こえる。(発声タイミングが遅い)	「ジャストガイド」設定をOFFにしてください。 → P.147
		動画再生を行っている場合、再生を終了してください。
操作関連	メニューが操作できない。	安全な場所に停車させ、パーキングブレーキをかけてください。

	症　　状	処　　置
●ナビゲーション		
自車位置精度関連	自車位置が正しく表示されない。	自車位置を正しく表示するのに時間がかかる場合があります。 GPS受信可能な状態で見通しの良い道路をしばらく走行すると自車位置が修正されます。
		「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.152
		接続チェックを行って、接続を確認してください。 → P.152
		電装品を本機およびGPSアンテナから十分離してご使用ください。
VICS関連	FM VICSが受信されない。	オート選局の設定を「ON」にしてください。→ P.149
		手動で受信地域を選択してください。→ P.149
	ETC2.0の簡易図形が割り込み表示されない。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
ETC関連	情報・設定メニューに ETC情報 または ETC2.0情報 が表示されない。	別売のETCユニット、またはETC2.0ユニットの接続を確認してください。
	画面に「ETCエラーコード：XX」と表示される。 （XXは01から07、および09から11）	ETCエラーコードについて詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。
ETC2.0関連	画面に「エラーコード04」と表示される。	アンテナユニットのケーブルやカーナビ接続ケーブルの接続を確認してください。
Intelligent VOICE	発話した内容が正しく認識されない。	同梱のハンズフリー用マイクを話し手の口元に向けて取り付けてください。
		スマートフォンの電波環境の良いところに移動してください。
		できるだけはっきりとお話しください。また、話し手以外の方は話しかけないでください。

オーディオ

	症　　状	処　　置
ラジオ	雑音が多い。	正しい周波数に合わせてください。→ P.99
	自動で選局できない。	手動で選局してください。→ P.99
CD／DVD／MP3・WMA・AACディスク	ディスクを再生できない。 挿入したディスクがすぐに排出されてしまう。	ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
		ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	[▲]を押してもディスクが取り出せない。	販売店にご相談ください。
	音が飛ぶ。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後に再生すると、音質が良くない。	内部のレンズに水滴が付いている可能性があります。電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	すでに挿入されているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。→ P.95
	「ディスクが読めません。」の画面が表示される。	ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
	曲名・アーティスト名などが正しく表示されない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
		ほかのエンコードソフトをお試しください。
	MP3/WMA/AACの音質が良くない。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。 → P.210「本機で再生可能な音声ファイルについて」

症　　状		処　　置
●オーディオ		
CD／DVD／MP3・WMA・AACディスク	再生できないファイルやフォルダがある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大255（ルート含む）、ファイルが最大1024（1フォルダは最大1024ファイルまで）を超えた場合 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合があります。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	本機固有の仕様により、切り替えには時間がかかります。
iPod	リストが表示されない。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPodの操作ができない。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
		USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	iPodの音声が出力されない。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（NX-BT）からiPodへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
Music Catcher	タイトルが表示されない。	PC用アプリケーション「VISMASTER（ビスマスター）」を使って最新のアルバム情報をSDカードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください。→ P.129 VISMASTERについて→ P.129 オンライン経由でアルバム情報を更新することもできます。→ P.128 アルバム名の編集方法について→ P.127 曲名、アーティスト名の編集方法について→ P.127
	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／曲の各タイトル）が間違っている。	
	「情報更新中です。しばらくお待ちください」と表示され再生しない。	ファイルの復旧処理が終わるまでお待ちください。録音されているアルバム数により時間がかかる場合があります。
	音が飛ぶ。	振動やディスクの傷により音飛びして録音された可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	再生ができない。	本機で録音したSDカードを使用して、再生してください。

	症　　状	処　　置
Music Catcher	録音ができない。	SDカードの容量が不足している可能性があります。録音済みの曲や、他のファイルを消してください。 → P.128「アルバムを消去する」、 → P.128「曲を消去する」
		コピー可能ディスクを使って、録音してください。
		SDカードの書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。
		SDカードの対応フォーマット種別は、FAT32、FAT16、exFATです。お使いのパソコンでフォーマットしてください。
	音楽CDを挿入時に録音ができない。	「CD挿入時に自動録音」をONに設定してください。 → P.123「録音の設定をする」
	「CD挿入時に自動録音」をONに設定している場合に、録音ができない。また、CD再生時にCDの曲名が表示されない。	SDカードを認識できない場合が考えられます。ご使用のSDカードに問題がないかを確認してください。
	録音したアルバムが表示されない。	▶ をタッチして、アルバムを選択してください。→ P.126
SDカード／USBメモリー	SDカード内のファイルを再生できない。	本機で使えるSDカードを確認してください。→ P.209
	SDカードが挿入できない。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリー内のファイルを再生できない。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。
	音が飛ぶ。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音質が良くない。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.210
	再生できないファイルやフォルダがある。	パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。 以下の場合は音楽データの再生はできません。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大512（ルート含む）、ファイルが最大8000（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	記録しているMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの数が、オーディオ画面で表示されるファイル数と異なる。	MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外のファイルを消去してください。
	ビデオファイルが再生できない。または、映像が乱れたり音が切れる。	本機で再生可能な動画ファイルを確認してください。 → P.214
	音声再生は継続しているが、再生時間表示が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがあります。 故障ではありません。

症　　状		処　　置
●オーディオ		
TV	放送局名が表示されない。	以下のいずれかの作業を行ってください。 • 受信できる放送局の設定をする（オートストア） → P.105 • 優先エリアの切り替え→ P.110
		放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている可能性があります。フィルムは貼り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。
Bluetoothオーディオ	接続できない。	Bluetooth対応機器を正しく接続してください。 → P.83
		オーディオ機器の電源を入れてください。
		Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。
		BluetoothとWi-Fiで同時に接続していると、通信が不安定になったり、Bluetoothオーディオの音飛びが発生する場合があります。できるだけ、スマートフォンの接続はBluetoothまたはWi-Fiの一方の機能をOFFにしてください。
	再生できない。	AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。
		接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。
	曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	AVRCP1.3に対応しているオーディオ機器をご使用ください。 Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーを起動し直してください。
	接続オーディオ機器から音が出なくなった。	Bluetooth設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。

Wi-Fi接続

症　　状	処　　置
接続できない。または、通信が不安定。	テザリングに対応したWi-Fi対応機器を正しく接続してください。→ P.91
	接続登録したWi-Fi対応機器へ接続できない場合は、パスワード等の設定が変更されている可能性があります。登録したWi-Fi対応機器をいったん消去し、再度登録してください。 → P.92「登録したWi-Fi対応機器を消去する」、 → P.91「Wi-Fi対応機器を登録する」
	周辺の電波環境によっては、通信速度が低下したり通信ができない場合があります。できるだけ通信環境の良い場所で使用してください。
	Wi-Fiの受信レベルが弱い場合があります。
	Wi-Fi対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。
IPアドレスが「0.0.0.0」と表示される。	テザリングに対応したWi-Fi対応機器を正しく接続してください。→ P.91
	IPアドレスは、IPv4を表示しています。このため、Wi-Fi対応機器との接続がIPv6のみの場合は、IPアドレスが「0.0.0.0」と表示されます。
通信が不安定になる。	BluetoothとWi-Fiで同時に接続していると、通信が不安定になる場合があります。できるだけ、スマートフォンの接続はBluetoothまたはWi-Fiの一方の機能をOFFにしてください。

リアカメラ

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	カメラ接続設定の リアカメラ を「ON」にしてください。→ P.157
	お車のセレクトレバーが「R」（リバース）の位置になっているか確認してください。
	暗いところ、または明るいところ（太陽光に反射したヘッドライトの光、蛍光灯などに照らされた場所など）を映していると、画面が見えにくいことがあります。故障ではありません。
	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている場合があります。確認の際はお買い上げの販売店にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCDカメラ特有の現象で故障ではありません。直接状況を確認しながら運転してください。
リアカメラのガイドラインが表示されない。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

マルチアラウンドモニター

症　　状	処　　置
カメラ映像が表示されない。	カメラ接続設定の マルチアラウンドモニター を「ON」にしてください。→ P.157
	接続を確認してください。
	減速してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている場合があります。確認の際はお買い上げの販売店にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
画面上に×や！マークが表示される。	エラーが発生しています。お買い上げの販売店にご相談ください。

その他

症　　状	処　　置
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	いったんお車を安全な場所に停車して車両の電源をOFFにし、再度「ACC」または「ON」にしてください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「パネルをオープンしてください。」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開いてください。その後も同じ症状が発生する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

よくある質問について

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されました。

A: ナビゲーションは道路種別などを考慮して経路探索します。そのため、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 探索条件が有料優先に設定されていて、他の設定に変更できません。

A: 探索条件は、前回設定した探索条件が引き継がれる仕様となっています。下記のいずれかの方法から、探索条件を変更してください。

1. 目的地を検索し、複数ルート探索 ▶ 複数ルートから、ご希望の探索条件を選択する
2. 目的地を検索し、ガイド開始 ▶ MENU ▶ ナビエリア の ルート ▶ ご希望の探索条件を選択する
3. 目的地を検索し、ガイド開始 ▶ MENU ▶ ナビエリア の 情報・設定 ▶ ナビ設定 ▶ ルート探索条件の設定 ▶ 探索条件 ▶ ご希望の探索条件を選択する

Q: 複数ルート表示で5ルート表示されません。

A: 必ずしも5ルートが表示されるとは限りません。特定のルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない道路があります。
対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。また、本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2021年12月現在のデータを採用しております。そのため、2021年12月以降に開通した高速道路・有料道路を通るルートを探索した場合、本機に表示される料金および、本機の音声による料金ガイドは、実際の料金と異なる場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。

Q: ナビゲーション画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 画面上にタッチキーが表示されたり、されなかったりすることがあります。

A: 画面上に表示されるタッチキーはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないタッチキーは非表示となったり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準は何ですか？

A: VICS情報、または統計交通情報をもとに計算しています。統計交通情報とは、過去1年分のVICS情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータのことです。
なお、「到着予想時刻の速度設定」で「自動計算」OFFに設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うルートを設定することがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが設定されることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: ルート情報モード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、ルート情報モード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: ルート情報モードが自動的に解除されます。

A: 以下の状態でリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。

- ルートを外れたとき

探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q:「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されます。

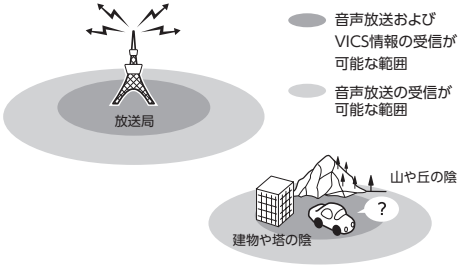
A: マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が表示されない。

A: 無料区間のみの場合、または高速道路上からルートを探索した場合などには料金が表示されないことがあります。

Q: FM VICS情報が取得できません。

A: FM VICS情報は音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でFM VICS情報を放送しているわけではありません。放送状況を確認してください。



Q: ルート情報モード時にパーキングエリア（PA）にある施設情報は表示できますか？

A: ルート情報モードで表示される施設リストのPAをタッチすると、そのPAにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが設定された。

A:「リアルタイム交通情報を考慮」設定がOFFになっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定がONであっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルートガイド中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

オーディオ編

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］キーとは何ですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるキーです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: 1セグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。
1セグのメインチャンネル受信中に
サービス切替 をタッチしてサブチャンネルに切り替えることもできます。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。ハイビジョン画質で録画されている場合は再生できません。通常画質のVRモードで録画し、ファイナライズしてご利用ください。

■ CD

Q: CD-Rが再生できません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できない場合があります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めます。そのため、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

Q: 曲名表示するが再生できない曲がある。

A: 圧縮方式をWMAで作成した場合、著作権保護のかかった曲は、曲名表示しますが、再生はできません。CDからWMAを作成する場合には、Windows Media Playerのオプションから「音楽の取り込み」欄の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外してから作成してください。詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。
https://faq.clarion.com/faq/show/143?category_id=7&site_domain=default

■ SDカード／ USBメモリー

Q: SDカードに音楽を保存するときの注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDカード、SDHCカード、SDXCカードとなります。また、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、AAC、FLAC、WAVのみとなります。
※ iTunes Storeで購入した著作権保護された音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーのMP3ファイルを再生中、曲が途中で停止したり、次の曲が再生されないことがあります。

A: VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルの場合、USBメモリーの転送速度性能との関係で、このような症状が出ることがあります。ビットレートが一定の値で決まっているCBR（コンスタントビットレート）で記録すると安定します。CBRで記録したファイルの再生をお試しください。

Q: MP3やWMAのファイル作成方法を教えてください。

A: 下記のWebサイトをご覧ください。
https://faq.clarion.com/faq/show/144?category_id=7&site_domain=default

■ Music Catcher

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: ☰ ▶ ◉ をタッチして、条件を指定してお好みのアルバムを再生できます。
→ P.126

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A: Gracenote のデータベースに該当するアルバムの情報がありません。PC用アプリケーション「VISMASTER（ビスマスター）」を使用して最新の情報に更新してください。
→ P.129
オンライン経由でアルバム情報を更新することもできます。→ P.128

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: SDカードにトラック情報を書き出し、PC用アプリケーション「VISMASTER（ビスマスター）」を使用してGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
オンライン経由でアルバム情報を更新することもできます。→ P.128
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各曲の情報を入力してください。

Q: 「VISMASTER（ビスマスター）」のCDタイトルキャッチャー機能で書き出しを行ったSDカードを使っても、アルバム情報の更新ができない。

A: 更新に必要なアルバム情報が正しくSDカードに記録されていない可能性があります。詳しくは、CDタイトルキャッチャー機能の取扱説明書をご覧ください。

Q: アーティスト／アルバム／曲などのタイトルが間違っている。

A: パソコンで複製したディスクを使った場合は、正しくタイトル表示されないことがあります。

Q: シャッフルおよびリピート再生は、車両の電源をOFFにしたら解除されますか？

A: 車両の電源をOFFにしても保持されます。

Q: CD再生時は途切れがないのに、Music Catcherに録音すると曲が途切れて聞こえる。

A: ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を録音した場合、仕様上、曲間に2 ～3秒の無音部分が発生します。このため、曲が途切れたように聞こえます。

Q: CD再生はできるのに、録音できない。

A: 傷があるなどディスクの状態によっては、録音できない場合があります。

■ iPod/iPhone

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。

Q: iPhoneをUSBケーブルで接続しているがナビゲーション側で操作ができない。

A: iPhone側の設定で音声出力先をBluetooth（NX-BT）にしていると、iPhone側の操作で音楽再生は可能です。本機ではiPhoneの操作はできず、リストも表示されません。音声出力先を「iPhone」に変更してください。本機での操作およびリスト表示が可能となります。

■ Bluetoothオーディオ

Q: Bluetoothオーディオ再生時、画面に曲名が表示されない。

A: 本機は曲名表示するためのプロファイルAVRCP1.3に対応しています。Bluetooth対応機器側のプロファイルAVRCPが1.3以上でないと曲名表示はできません。Bluetooth対応機器のAVRCPバージョンをご確認ください。

その他編

■ Bluetooth接続

Q: ペアリングができない。

A: お使いのBluetooth対応機器によっては、機器側の問題で通信異常が発生し、正常に動作しない場合があります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替え、およびBluetooth接続の再登録を行ってください。また、あらかじめ機器側のBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q:「5台のBluetooth機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすれば良いですか？

A: 本機に登録できるBluetooth対応機器は5台までです。さらに登録したい場合は、すでに登録された機器の設定を消し、再度登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A:「自動応答保留」の設定をONにすると、応答保留状態で電話に出られます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: Bluetooth対応機器により、機器側の問題で通信異常が発生する場合があります。本機とBluetooth対応機器側のBluetooth機能を、それぞれOFFからONにしてください。

Q: 電話はつながったが相手の声が聞こえない。

A: 電話画面でプライベート設定を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A:「送話音量」の設定を調整してください。
→ P.90

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ないと、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: Bluetooth対応機器が自動で接続されません。
A: Bluetooth対応機器がBluetooth接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetoothオーディオ再生中は、機器の自動接続を行いません。手動で接続してください。

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。
A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。→ P.85

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？
A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴、不在着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」をONに設定しておくと、着信から2秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth対応携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？
A: ペアリング可能な携帯電話の登録は5台ですが、使用できる電話は1台のみとなります。

Q: Bluetoothオーディオ再生中に、ハンズフリー通話を行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。
A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機、または携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetoothオーディオ機器を接続したが、スピーカーから音声が出ない。
A: 接続機器の音声出力をBluetooth側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続しているBluetooth対応機器を操作し、設定変更を行ってください。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。
A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、さまざまな条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

Q: 携帯電話をBluetooth接続しているが、着信音が小さい。
A: 電話設定メニューの 電話音量調整 をタッチして、着信音量を上げてください。→ P.90

Q: 携帯電話から電話帳を転送する場合、登録可能な電話帳データは2000件とあるが、1人に複数の電話番号を登録している場合はどうなるのか？
A: 本機では1人を1件として登録します。複数の電話番号を登録している場合でも、2000人分のデータが登録可能です。なお、1人に6件以上の電話番号が登録されている場合は5件までダウンロードされます。6件目以降はダウンロードされません。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？
A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。→ P.23
ツールエリアを全画面表示にしてご利用ください。

Q: 常に画面に時計を表示できますか？
A: 可能です。地図・メニュー画面とオーディオ映像画面で別々に時計表示を設定できます。→ P.23

■ リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？
A: 調整は可能です。→ P.173

Q: リアカメラの映像は、後席用モニターに映りますか？
A: リアカメラの映像はナビゲーション本体のみ映り、後席用モニターには映りません。

■ スマートフォンとの連携機能

Q: スマートフォンとの連携中に電話の発着信はできますか？
A: 本機にスマートフォンをBluetooth対応機器として登録し、本機のBluetooth機能をONにした後、スマートフォンのBluetooth機能もONにすると発着信ができます。

Q: 電話発信後、スマートフォンとの連携画面でエラー画面が表示されてしまう。

A: スマートフォンのOSのバージョンによっては、電話発信後にスマートフォンとの連携が解除され、本機の画面にエラーが表示される場合があります。スマートフォン側の操作で、Home画面からSmart Accessを起動してください。

Q: アプリケーション使用中、「接続に失敗しました。」「サーバーに接続できません。」などのメッセージが表示される。

A: サーバーと連携するアプリケーションは、スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。電波状況の良好な場所でお使いください。

Q: 以前使えたスマートフォンとの連携機能が使えなくなった。

A: スマートフォン側の電源が入っているか、Smart Access 4Carアプリケーションを起動しているかを確認してください。

■ プログラム更新・地図更新

Q: 途中のバージョンを飛ばして、最新のプログラム、地図の更新を行っても大丈夫ですか？

A: 更新可能です。バージョンの間隔をあけて更新をしても問題はありません。

■ その他

Q: 盗難防止装置は付いていますか？

A: 本機のセキュリティ機能として、暗証番号を設定する盗難防止機能があります。盗難時にはセキュリティ機能がはたらきます。いったん取り外されたナビゲーションは、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。

車両の電源をOFFにするとLEDイルミが点滅して車室内への侵入者を威嚇・警戒します。盗難防止機能とLED点滅のON/OFFは選択可能です。

※本機の盗難防止機能は、100%盗難を防ぐものではありません。盗難防止機能作動時における盗難については、当社は一切その責任を負いかねます。暗証番号はメモを取るなどして大切に保管してください。

付録

収録データや仕様など、本機に関する情報を記載しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.222をご覧ください。

収録データベースについて

■ データ取得日について

本機内の情報は、以下を使用しています。

●道路情報　　：2021年10月（一般道路）／ 2021年12月（高速・有料道路）
●ハイウェイ情報　：2021年12月現在
●交通規制情報　　：2021年11月現在
●イラスト情報　　：2021年10月（一般道路）／ 2021年12月（高速・有料道路）
●スマートIC情報　：2021年12月現在
●施設検索情報（タウンページ）：2021年11月現在
●施設検索情報（ブランド）　　：2021年11月現在
●住所検索情報　　：2021年11月現在
●市区町村合併情報：2021年11月現在
●郵便番号検索情報：2021年11月現在
●個人宅電話番号　：2021年8月現在

※本機内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

●本製品に収録されている高速（有料）道路料金データ（現金での支払い料金）については、2021年12月時点のNEXCO料金表、および各道路管理者が規定する料金表に基づきます。ご利用する時期により、実際の料金と収録内容が異なる可能性がございます。事前に料金を確認して、ご利用ください。
●本製品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認12-0040）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。
●この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（R 2JHs 293−B115号）
●市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。なお、市街地図データは、地域によって作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部の地域が収録されていない場合があります。
●本製品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていない場合や、名称や道路などが一部異なる場合があります。
●この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）
●3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（承認番号 R3JHs 824-001号）
●地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平9総使、第47号）
●道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2021年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2021年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
●現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区については、立入制限等の規制区域内の地図データの更新を停止しております。
南相馬市／浪江町／双葉町／大熊町／富岡町／楢葉町／飯舘村／葛尾村
●ルート探索用データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（承認番号平22業使、600号）

© 2017一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2021 ZENRIN CO., LTD.

■ 交通規制データについて

- この地図に使用している交通規制データは、（公財）日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、（公財）日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、MAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 検索データについて

- 個人宅電話番号検索では、公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
  また、電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。
- 施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
  - ・ NTTタウンページデータ
  - ・ 株式会社ゼンリン提供のデータ
- NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
- 施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 有料道路料金データについて

- 一部の有料道路は料金表示対応しておりません。
- 表示される料金は実際と異なる場合があります。
- 料金データがない有料道路を含んでいると、料金が表示されない場合があります。
- 割引（ETC割引等）および期間限定料金、「データ取得日」以降の（消費税率の変更を含む）価格変更に対応しておりません。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 本製品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- 本製品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすることはおやめください。
- 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避することはおやめください。

お客様へのお願い

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様とフォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社（「弊社」）間の「ナビゲーションシステム」（「本製品」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

- 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本製品1台に限り使用する権利を許諾します。
- 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
  - 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

市街地図収録エリア一覧

＜95%＞ …… 全面積の95%以上が収録されている都市
＜80%＞ …… 全面積の80%以上が収録されている都市
＜それ以外＞… 市街中心部、または一部地域が収録されている都市

お知らせ

- 本書に掲載している市区町村名は2021年11月現在のものです。
- 一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	<95%>札幌市、室蘭市、江別市、北広島市 <80%>小樽市、滝川市、歌志内市 ＜それ以外＞函館市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、砂川市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、新篠津村、七飯町、八雲町、江差町、岩内町、余市町、赤井川村、南幌町、奈井江町、上砂川町、月形町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、東川町、美瑛町、小平町、斜里町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町、安平町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、中札内村、幕別町、池田町、釧路町
青森県	<95%>三沢市、田舎館村 ＜それ以外＞青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、鰺ヶ沢町、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、野辺地町、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、東通村、五戸町、南部町、階上町
岩手県	<80%>大船渡市、陸前高田市、滝沢市 ＜それ以外＞盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、一戸町
宮城県	<95%>仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、大河原町、松島町、七ヶ浜町、利府町、色麻町、加美町、美里町 <80%>東松島市、山元町 ＜それ以外＞石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、大和町、大郷町、大衡村、涌谷町
秋田県	<80%>男鹿市 ＜それ以外＞秋田市、能代市、横手市、大館市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、八郎潟町、井川町、美郷町、羽後町
山形県	<80%>山形市、寒河江市、村山市 ＜それ以外＞米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、上山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、大江町、大石田町、金山町、最上町、舟形町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、三川町、庄内町、遊佐町
福島県	<95%>福島市、鏡石町、西郷村、矢吹町 <80%>郡山市、桑折町 ＜それ以外＞会津若松市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、天栄村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、会津美里町、泉崎村、石川町、玉川村、三春町、小野町、広野町、富岡町、大熊町、新地町
関東地域	
東京都	<95%>千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町 ＜それ以外＞檜原村、奥多摩町
千葉県	<95%>千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町

収録都道府県	市街地図収録都市
埼玉県	<95%>さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町、松伏町
茨城県	<95%>水戸市、土浦市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、神栖市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、河内町、五霞町、境町、利根町 <80%>日立市、古河市、石岡市、高萩市、北茨城市、笠間市、稲敷市、かすみがうら市、阿見町 <それ以外>常陸太田市、常陸大宮市、桜川市、行方市、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	<95%>小山市、さくら市、下野市、上三川町、壬生町、野木町 <80%>宇都宮市、足利市、真岡市、芳賀町 <それ以外>栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、那須烏山市、益子町、茂木町、市貝町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町
群馬県	<95%>前橋市、伊勢崎市、太田市、館林市、榛東村、甘楽町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町 <80%>藤岡市、富岡市、吉岡町 <それ以外>高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、安中市、みどり市、上野村、神流町、下仁田町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、川場村、昭和村、みなかみ町
神奈川県	<95%>横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村 <それ以外>山北町
中部地域	
静岡県	<95%>静岡市、浜松市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市、東伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町、吉田町 <80%>沼津市、伊豆の国市 <それ以外>島田市、伊豆市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、小山町、川根本町、森町
長野県	<95%>岡谷市、諏訪市、飯山市、千曲市、下諏訪町、坂城町、小布施町 <80%>中野市、塩尻市 <それ以外>長野市、松本市、上田市、飯田市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、大町市、茅野市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、青木村、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿智村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村、木曽町、麻績村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、白馬村、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、飯綱町
新潟県	<95%>新潟市、見附市、燕市、聖籠町、田上町 <それ以外>長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、弥彦村、阿賀町、湯沢町
山梨県	<95%>富士吉田市、都留市、大月市、南アルプス市、中央市、昭和町、西桂町 <それ以外>甲府市、山梨市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、道志村、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村
富山県	<95%>滑川市、砺波市、小矢部市、射水市、舟橋村 <80%>高岡市 <それ以外>富山市、魚津市、氷見市、黒部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	<95%>能美市、野々市市、川北町、内灘町 <80%>金沢市、珠洲市、かほく市 <それ以外>七尾市、小松市、輪島市、加賀市、羽咋市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
岐阜県	<95%>岐阜市、多治見市、瑞浪市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、岐南町、笠松町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、安八町、北方町、坂祝町、富加町 <80%>美濃市、海津市 <それ以外>大垣市、高山市、関市、中津川市、恵那市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村

収録都道府県	市街地図収録都市
愛知県	<95%>名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町 <それ以外>豊田市、新城市
福井県	<95%>敦賀市、小浜市、鯖江市、美浜町、高浜町 <80%>あわら市 <それ以外>福井市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町、おおい町、若狭町
近畿地域	
大阪府	<95%>大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
京都府	<95%>京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町、南山城村 <80%>宇治田原町、笠置町 <それ以外>福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、和束町、伊根町、与謝野町
兵庫県	<95%>神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、稲美町、播磨町、太子町 <80%>多可町、福崎町 <それ以外>姫路市、豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、市川町、神河町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	<95%>大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町 <80%>奈良市 <それ以外>桜井市、宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村
滋賀県	<95%>草津市、守山市、栗東市、湖南市、東近江市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町 <80%>大津市、甲賀市 <それ以外>彦根市、長浜市、近江八幡市、野洲市、高島市、米原市、多賀町
三重県	<95%>津市、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、鳥羽市、志摩市、伊賀市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、玉城町、度会町 <それ以外>松阪市、尾鷲市、亀山市、熊野市、いなべ市、菰野町、多気町、明和町、大台町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
和歌山県	<95%>和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、岩出市、太地町 <80%>湯浅町、那智勝浦町 <それ以外>田辺市、新宮市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、北山村、串本町
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	<95%>岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、美作市、浅口市、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町 <80%>真庭市 <それ以外>津山市、高梁市、新見市
鳥取県	<95%>米子市、倉吉市、境港市、三朝町、日吉津村 <80%>北栄町 <それ以外>鳥取市、岩美町、智頭町、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、大山町、南部町、伯耆町、日野町
島根県	<それ以外>松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、吉賀町
広島県	<95%>広島市、竹原市、福山市、大竹市、廿日市市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町 <80%>三原市、尾道市 <それ以外>呉市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、世羅町、神石高原町
山口県	<95%>宇部市、防府市、下松市、周南市、山陽小野田市、和木町 <80%>平生町 <それ以外>下関市、山口市、萩市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周防大島町、田布施町
高知県	<それ以外>高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、梼原町、四万十町、黒潮町

収録都道府県	市街地図収録都市
香川県	<95%>坂出市、善通寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、宇多津町、琴平町 <80%>高松市、小豆島町、多度津町 <それ以外>丸亀市、観音寺市、三豊市、三木町、綾川町、まんのう町
徳島県	<95%>徳島市、鳴門市、小松島市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町 <それ以外>阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、佐那河内村、神山町、つるぎ町、東みよし町
愛媛県	<95%>新居浜市、松前町 <80%>松山市、八幡浜市 <それ以外>今治市、宇和島市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町、鬼北町
福岡県	<95%>北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、田川市、柳川市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、古賀市、福津市、宮若市、みやま市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町 <80%>宗像市、朝倉市、福智町 <それ以外>飯塚市、八女市、うきは市、嘉麻市、桂川町、筑前町、東峰村、広川町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、上毛町、築上町
佐賀県	<95%>鳥栖市、基山町 <80%>多久市、武雄市、小城市、上峰町、みやき町 <それ以外>佐賀市、唐津市、伊万里市、鹿島市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、玄海町、有田町、江北町、白石町
大分県	<95%>別府市 <80%>大分市 <それ以外>中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町
熊本県	<95%>荒尾市、水俣市、宇土市、合志市、菊陽町、益城町 <80%>熊本市、玉名市 <それ以外>八代市、人吉市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、大津町、南小国町、小国町、高森町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町、相良村、山江村、球磨村
長崎県	<95%>島原市、平戸市、壱岐市、雲仙市、長与町、時津町、波佐見町 <80%>長崎市、諫早市、大村市、西海市、南島原市 <それ以外>佐世保市、松浦市、対馬市、五島市、東彼杵町、川棚町、佐々町
宮崎県	<80%>宮崎市 <それ以外>都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	<95%>垂水市 <それ以外>鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、さつま町、湧水町、肝付町
沖縄県	<95%>那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、本部町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町 <80%>南城市、北谷町 <それ以外>石垣市、宮古島市、大宜味村、東村、今帰仁村、恩納村、宜野座村、読谷村、嘉手納町

VICS情報について

VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーション、地図ソフトの対応などにつきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また詳しくは、以下のVICSセンターへお問い合わせください。

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。
VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは一般財団法人VICSセンターにお問い合わせください。

■ VICS センター お客様相談窓口

電話番号：0570-00-8831
（PHS、IP電話等からはご利用できません。）
受付時間：平日 9:30 ～ 17:45
（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
FAX番号：03-3562-1719（24時間受付）
●Webサイト
https://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について
VICS情報のデータの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第１章　総　　則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金　300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機で使用できるメディアについて

本機で再生できるディスク

お願い

- 下記のディスクは、傷が付いたり、取り出せなくなるおそれがあるので使用しないでください。
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

お知らせ

- 本機はBlu-rayディスクに対応していません。

再生できるCD

●音楽CD
●CD-Extraディスク（ただし音楽CDとして）
●Super Audio CD
（ハイブリッドディスクのCD層のみ）
●パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
●音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
●コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2 正常に再生できない場合があります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3 再生できない場合があります。

再生できないCD

●MIX MODE CD
●CD-DA以外のディスク
（オーバーバーンCDなど）
●DTS CD
●ビデオCD
●ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるMP3・WMA・AACディスク

●記録メディア※：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD+R DL
●記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF（Ver1.02/1.5/2.0）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1 ／レベル2、Joliet、Romeo

※ マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW、DVD+R/RWはマルチセッション非対応）

再生できるDVD

●DVD VIDEO の付いているディスク
●リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
●DVD-VR
本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生するには、あらかじめお持ちのレコーダーでファイナライズしてください。

再生できないDVD

●リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
●パケットライト方式で記録されたディスク
●ご家庭でハイビジョン録画したディスク
（例　東芝製：HD DVD/HD Rec（VRモード）、パナソニック・東芝製等：AVCREC）
●DVD-RAM
以下のディスクは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。
・ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD+R DL

本機で使用できるSDカード／USBメモリー

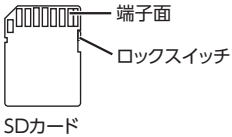
●記録メディア
SDカード、SDHCカード、SDXCカード、miniSDカード※、microSDカード※、USBメモリー（すべて128GB以下）
※専用のアダプタが必要です。直接入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプタをご使用ください。
●記録フォーマット
FAT16、FAT32、exFAT

お知らせ
• SDカードと互換のない記録メディアには対応していません。
• miniSDアダプタ、microSDアダプタを本機内に残さないでください。
• 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

MEMO
• SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
• SDカードが認識されなくなった場合は、専用ソフト「SDカードフォーマッター」を使用してフォーマットしてください。「SDカードフォーマッター」について詳しくは、以下をご覧ください。
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/
※SDカードをフォーマットする際は、必ずSDカード内データのバックアップを取っておいてください。

SDカード取り扱い上のご注意

●SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
●書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、車両の電源をOFFにしたりしないでください。
●SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●操作パネルの開閉動作中は、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、以下の音声ファイルを再生できます。

●CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD+R DLに保存されたMP3、WMA、またはAACファイル

●SDカード、USBメモリーに保存されたMP3、WMA、AAC、FLAC、またはWAVファイル

●拡張子が.MP3/.WMA/.M4A/.AAC/.FLAC/.WAVのファイル

●ファイルサイズが2GB未満の音声ファイル

※ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。

※AACファイルは約800MBまでのファイルを再生できます。これを超えるサイズのファイルは再生できない場合があります。

MP3とは…
MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮できます。

WMAとは…
Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

AACとは…
Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2、またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生できます。

FLACとは…
Free Lossless Audio Codecの略称で、フリーソフトウェアとして開発配布されている音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、圧縮前の元の状態に復元することができます。

WAVとは…
Waveform Audio Formatの略称で、マイクロソフトとIBMにより開発された音声データ記述のためのフォーマットです。圧縮率が低いので音質の劣化はありませんが、ファイルサイズが大きいという特徴があります。

MP3ファイルについて

●ID3-Tag：Ver1.x、2.xの以下の表示に対応
- album（Disc Titleとして表示）
- track（Track Titleとして表示）
- artist（Track Artistとして表示）

●エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応

●再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
MPEG2.5：11.025kHz/12kHz/8kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨

●再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps ～ 320kbps/VBR
MPEG2：8kbps ～ 160kbps/VBR
MPEG2.5：8kbps ～ 160kbps/VBR
※音質面においては128kbps以上を推奨

●SDカード／ USBメモリーから再生する場合、以下のサンプリング周波数、ビットレートで記録されたファイルは音切れが発生することがあります。
サンプリング周波数：16kHz以下
ビットレート：8kbps以下

●MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応

●MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。

●記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。

●ディスク／ SDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。

●低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

●Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

●作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
●WMA9以上でエンコードされたWMAファイルの再生については、Pro、Lossless、Voiceのコーデックに対応していません。
●ディスク／SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	
384	—	—	
320	44.1	—	
256	44.1	—	
192	48/44.1	44.1	
160	48/44.1	44.1	
128	48/44.1	44.1	
96	48/44.1	44.1	
80	44.1	44.1	
64	48/44.1	44.1/32	
48	44.1/32	44.1/32	
44	—	32	
40	32	32	
36	—	32	
32	44.1/32/22.05	48/44.1/32/22.05	
22	22.05	32/22.05	
20	44.1/32/22.05/16	44.1/32/22.05/16	
16	22.05/16	22.05/16	
12	16/8	16/8	
10	16/11.025	16/11.025	
8	11.025/8	11.025※/8※	
6	8	8※	
5	8	8※	
VBR	44.1	48/44.1/32/22.05/16/12/11.025/8	

※　音切れが発生する場合があります。

AACファイルについて

●ディスク／SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●AACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。
●ディスクの場合、iTunesでエンコードされた拡張子.m4a（MPEG4-AAC）のみ再生可能です。

・AACファイル

	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	
320	48/44.1	—	
256	48/44.1	48/44.1	
224	48/44.1	—	
192	48/44.1	48/44.1/32	
160	48/44.1	48/44.1/32	
144	—	48/44.1/32/24	
128	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05	
112	48/44.1	—	
96	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
80	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16	
64	48/44.1	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
56	48/44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025	
48	44.1/32	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
40	44.1/24	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
32	32/22.05	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
28	32/16	—	
24	32/16	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
20	24/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
16	22.05/11.025	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	
8	11.025	48/44.1/32/24/22.05/16※/12※/11.025※/8※	
VBR	48/44.1 (48/64/80/96/128/160/192/256kbpsのとき)	48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8	

※　音切れが発生する場合があります。

・HE-AACファイル

	SDカード	USBメモリー
ビットレート（kbps）	サンプリング周波数（kHz）	
320	—	
256	48/44.1	
224	—	
192	48/44.1/32	
160	48/44.1/32	
144	48/44.1/32/24	
128	48/44.1/32/24/22.05	
112	—	
96	48/44.1/32/24/22.05/16	
80	48/44.1/32/24/22.05/16	
64	48/44.1/32/24/22.05/16	
56	48/44.1/32/24/22.05/16	
48	48/44.1/32/24/22.05/16	
40	48/44.1/32/24/22.05/16	
32	48/44.1/32/24/22.05/16	
28	—	
24	48/44.1/32/24/22.05/16	
20	48/44.1/32/24/22.05/16	
16	48/44.1/32/24/22.05/16	
8	48/44.1/32/24/22.05/16	
VBR	48/44.1/32/24/22.05/16	

FLACファイルについて

●SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●FLACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットは、下記の表をご覧ください。

	SDカード	USBメモリー
ビット（bit）	サンプリング周波数（kHz）	
24	192/176.4/128/96/88.2/64/48/44.1※1	
20	192/176.4/128/96/88.2/64/48/44.1※1	
16	192/176.4/128/96/88.2/64/48/44.1※2	

※1　すべてハイレゾ音源
※2　192～64kHzはハイレゾ音源

WAVファイルについて

●SDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●WAVファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれる、または表示されないことがあります。また、ビットによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットは、下記の表をご覧ください。

	SDカード	USBメモリー
ビット（bit）	サンプリング周波数（kHz）	
24	192/176.4/96/88.2/48/44.1※1	
16	192/176.4/96/88.2/48/44.1※2	

※1　すべてハイレゾ音源
※2　192～88.2kHzはハイレゾ音源

本機でMP3・WMA・AAC・FLAC・WAVを再生するためのご注意

●パケットライトには非対応です。
●対応していない音声形式のファイルに再生可能な拡張子を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
●MP3・WMA・AAC・FLAC・WAVのVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
●最大数を超えてフォルダ・ファイル・曲が記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・曲は本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
●フォルダ、ファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
●MP3・WMA・AAC・FLAC・WAVのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残ることがあります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
●ディスク、SDカード、USBメモリーともに、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

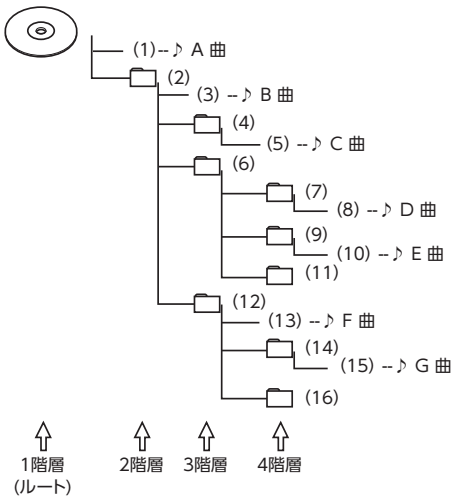
音声ファイルの フォルダ構成について

ディスクのフォルダ構成

ディスク内の最大フォルダ・ファイル・曲数は、以下のとおりです。

フォルダ：255（ルートを含む）
ファイル：1024
曲：1フォルダあたり1024

MP3・WMA・AACファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、（1）→（3）→（5）→（8）→（10）→（13）→（15）となります。



— MEMO —

- ディスクの場合、8階層（ルートフォルダを含む）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SDカード、USBメモリーともに、ルートを除く8階層までです。この階層内にあるMP3・WMA・AAC・FLAC・WAV音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。
フォルダ名、ファイル名の文字数合計は、区切り文字や拡張子を含めて半角で250文字以内にしてください。

— お知らせ —

- MP3・WMA・AAC・FLAC・WAVファイルを含まないフォルダは認識されません。

— MEMO —

- SDカード、USBメモリーは、8階層（ルートフォルダを除く）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上の曲が入っている場合は、パソコンでデータが書き込まれた順序により、認識される曲は変わります。
- 1つのフォルダにMP3・WMA・AAC・FLAC・WAVファイル以外のファイルを入れた場合、認識される曲数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大フォルダ・ファイル・曲数は以下のとおりです。
  フォルダ：512（ルートを含む）
  ファイル：8000
  曲：1フォルダあたり255
- 1つのSDカードでMusic Catcherと共用できます。

本機で再生可能な動画ファイルについて

本機では、以下の動画ファイルを再生できます。
●SDカード、USBメモリーに保存されたWMV、MP4、AVI、MPG、またはFLVファイル
●拡張子が以下のファイル
.WMV/.MP4/.M4V/.AVI/.MKV/.MPG/.FLV/.F4V
●ファイルサイズが4GB未満の動画ファイル

WMVとは…
Windows Media Videoの略称で、Windows Media Playerが標準でサポートしている動画ファイル形式の1つです。
MP4とは…
MPEG-4で規定されているコンテナフォーマット。MPEG-4はMPEGの中で主にモバイル機器によるネットワークでの動画利用に主眼をおいて規定された規格です。ストリーミング再生に対応しており、高圧縮ですが画質の劣化が少なく、CPU負荷も比較的小さいという特徴があります。
AVIとは…
AVIはAudio Video Interleaveの略称で、Windows標準の動画コンテナフォーマットです。
MPGとは…
MPEG（Motion Picture Experts Group）によって制定された標準動画規格の1つです。
FLVとは…
FLVはFlash Video（フラッシュ ビデオ）の略称で、主にFlash Player 6以降を利用してインターネット上で動画を配信するために利用されるコンテナ型のファイルフォーマットです。

再生可能な動画ファイルの仕様について

<table>
<tr><td>コンテナ</td><td>WMV</td><td colspan="2">MP4</td><td colspan="4">AVI</td><td>MPG</td><td>FLV</td></tr>
<tr><td>ビデオ
コーデック</td><td>VC-1、
WMV9</td><td>MPEG-4
Visual</td><td>MPEG-4
AVC</td><td>MPEG-4
Visual</td><td>MPEG-4
AVC</td><td>WMV9</td><td>MPEG-2</td><td>MPEG-2</td><td>MPEG-4
AVC</td></tr>
<tr><td>音声
コーデック</td><td>WindowsMedia
AudioPro、
WMA Lossless、
WMA Voice</td><td colspan="4">AAC/MP3</td><td colspan="3">MP3</td><td>AAC/MP3/
HE-AAC</td></tr>
<tr><td>プロファイル</td><td>Simple/Main/
Advanced</td><td>ASP</td><td>BaseLine/
Main/High</td><td>ASP</td><td>BaseLine/
Main/High</td><td>Advanced</td><td colspan="2">—</td><td>BaseLine/
Main/High</td></tr>
<tr><td>拡張子</td><td>.WMV</td><td colspan="2">.MP4/.M4V</td><td colspan="4">.AVI</td><td>.MPG</td><td>.FLV/.F4V</td></tr>
<tr><td>フレームレート
(fps)</td><td colspan="9">60</td></tr>
<tr><td>最大解像度</td><td colspan="7">1920 x 1080</td><td colspan="2">720 x 480</td><td>1920 x 1080</td></tr>
</table>

本機で動画ファイルを再生するためのご注意

●本機で再生動作を確認したエンコーダソフトは以下のとおりです。
※ エンコーダソフトにより作成可能な動画ファイルに違いがあります。
- EDIUS 6（grass valley社）
- EDIUS Neo 3（grass valley社）
- VideoStudioPro X4（COREL社）
- Roxio Creator 2011（RUNEXY社）

●動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
●以下のファイルは、正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- 極端にサイズの大きい、または小さいファイル
- 極端に再生時間の長い、または短いファイル

●同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
●3チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。
●ファイルはファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。
●対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
●動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
●動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。
●USBメモリーのメディアにより正常に再生できない場合があります。
●後席用モニターに本機と同じSDカード／ USBメモリーの動画ファイルを再生している場合、動画を切り替えた後、数秒間画面が黒く表示される場合があります。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC OF)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685

国名	国コード	入力番号
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
●DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量付けて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。

●液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を固く絞り、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

この製品には、保証書もしくは購入証明書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

保証書に記載の期間をご確認ください。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着に伴う工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz
　　C/A コード
感度　：－130dBm以下
チャンネル数　：パラレル12チャンネル

LCD モニター部

画面サイズ　：10.1型
（表示区域）　：（223.68mm×125.82mm）
表示方式　：透過型AHVA液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）
　　アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：2,764,800画素
　　［水平1280×垂直720×
　　3（RGB）］

12セグ／1セグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13 ～ 62ch
最大感度　：－80dBm以下

地デジアンテナ

総合利得　：11dB
周波数範囲　：470 ～ 710MHz
出力インピーダンス：50Ω
電源電圧　：DC8V
消費電流　：40mA以下

CD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

DVD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.05%

FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz ～ 95.0MHz
実用感度　：8dBμV

AMチューナー部

受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：30dBμV

オーディオ部

定格出力　：18W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力　：47W×4
適合インピーダンス　：4Ω

Bluetooth部

受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　　（1MHzステップ）
受信感度　：－70dBm以下
規格　：Ver.4.1

Wi-Fi部

対応規格　：IEEE 802.11b/g/n
対応周波数　：2.4GHz
対応チャンネル：1 ～ 13ch
対応セキュリティ：OPEN、WEP、WPA、WPA2

共通部

電源電圧　：14.4V
　　（10.8 ～ 15.6V 許容電圧範囲）
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4A（1W出力時）

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audioおよびダブル D記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

Dolby Audio

●DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●SD,SDHC,SDXC,miniSD and microSD Logos are trademarks of SD-3C,LLC.

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

MAPCODE®

●Gracenote®、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および”Powered by Gracenote”ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote,Inc.の登録商標または商標です。

gracenote A NIELSEN COMPANY

●VICS、VICS WIDEは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS VICS WIDE

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●Wi-Fi CERTIFIED™ロゴはWi-Fi Alliance®の認定マークです。

Wi Fi CERTIFIED

●Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. が所有する商標であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

Bluetooth®

●HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interfaceという用語、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国その他の国々における商標または登録商標です。

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

●Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。

●ETCおよびETC2.0は、一般財団法人ITSサービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。

●ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

●NAVITIMEは株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

●Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
iPad, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
App Store is a service mark of Apple Inc.

Made for iPhone | iPod

●iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

●iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

●Google、Android、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。

●本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License に基づきT-Kernel ソースコードを利用しています。

●This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

●This product includes software developed by the OpenSSL project for use in the OpenSSL Toolkit.
(http://www.openssl.org/)
Copyright©1998- The OpenSSL Project. All rights reserved.

●Portions of this software are copyright 1996-2002, 2006. The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

商標について

●本製品には、GNU General Public License2 (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウエアライセンスに基づくソフトウエアが含まれています。
お客様には、当GPL/LGPL適用ソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。

開示条件が適用されるソースコードの入手を希望されるお客様には、弊社ホームページより提供しております。
各オープンソースライセンスとソースコードの入手方法につきましては、以下のURLにアクセスしてください。
https://www.clarion.com/jp/ja/open-source/2017/index.html

●Intelligent Tune®、インテリジェントチューンはクラリオン株式会社の登録商標です。

Gracenote® Music Recognition Service℠について

Gracenote,Inc.提供のCDおよび音楽関連データ:copyright© 2000 to present Gracenote.
Gracenote Software,copyright© 2000 to present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および”Powered by Gracenote”ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2022年1月時点のものです。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

ナビゲーション内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録地リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1. MENU ▶ ツールエリア の 設定 ▶ ＞
2. その他設定
3. 出荷状態に戻す
   確認画面が表示されます。
4. はい ▶ はい
   本機に保存された全データが消去されます。

お知らせ

- 更新を行った場合の地図データやプログラムバージョンは初期化されず、更新後のデータが保持されます。

MEMO

- 盗難防止機能が「ON」に設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

メニューマップ

●メインメニュー

- MENU
  - ルート ▶▶ P.60
  - 目的地 ▶▶ P.42
  - 情報・設定 ▶▶ P.72、P.140
  - AVソース ▶▶ P.96
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - 画質調整
  - 電話 ▶▶ P.82
  - 設定 ▶▶ P.140
  - 昼／夜 ▶▶ P.153
  - 画面消し ▶▶ P.23
  - Smart Access ▶▶ P.93

●現在地地図メニュー

- 現在地
  - 自車位置マーク ▶▶ P.32、P.39
  - 方位マーク ▶▶ P.34
  - 詳細／広域 ▶▶ P.33
  - 現在地名称表示 ▶▶ P.32
  - 現在地メニュー ▶▶ P.33
    - 周辺施設を検索
    - 周辺駐車場
    - ここを登録
    - 地図表示変更
  - NaviCon ▶▶ P.54
  - ナビメニュー ▶▶ P.42
  - 地図をスクロールする ▶▶ P.34
    - スクロール先メニュー
      - ここに行く
      - ルートに追加
      - 周辺施設を検索
      - 周辺駐車場
      - ここを登録
      - 地図表示変更
    - 消去

●検索結果メニュー

- 地点を検索
  - ガイド開始 ▶▶ P.55
  - 複数ルート探索 ▶▶ P.58
    - 有料優先
    - 有料（省エネ）
    - 有料優先（別ルート）
    - 一般優先
    - 一般（省エネ）
    - 一般優先（別ルート）
    - 距離優先
    - ガイド開始
  - 位置を修正 ▶▶ P.56
  - ルートに追加 ▶▶ P.56
  - ここを登録 ▶▶ P.56
  - 周辺駐車場 ▶▶ P.56
  - 情報 ▶▶ P.56
    - 電話をかける

●地図表示変更メニュー

- 地図表示変更
  - 1画面 ▶▶ P.36
  - 2画面 ▶▶ P.36
  - ルート情報 ▶▶ P.37
  - 方位マーク ▶▶ P.34
  - 上がる ▶▶ P.37
  - 下がる ▶▶ P.37
  - ハイウェイモード ▶▶ P.36
  - 一方通行 ▶▶ P.38
  - 施設アイコン ▶▶ P.36、P.145
  - VICS表示 ▶▶ P.36、P.149
    - 渋滞・混雑
    - 順調
    - 事故・規制情報
    - 気象・災害情報
    - 駐車場情報
    - SA・PAの駐車場情報
    - 臨時駐車場情報
  - その他 ▶▶ P.39
    - 昼画面の地図色
    - 夜画面の地図色
    - 地図文字サイズ
    - 自車位置マーク
    - 目的地方向表示

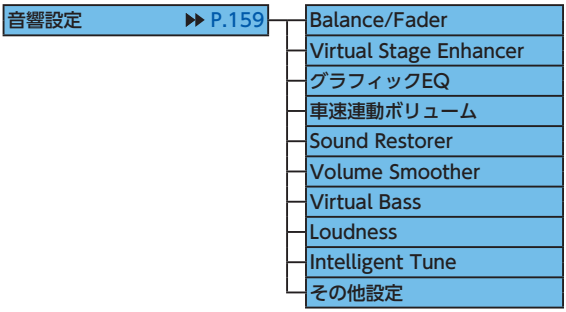
●目的地メニュー

- 目的地
  - ローカル検索 ▶▶ P.49
  - Intelligent VOICE ▶▶ P.50
  - 名称 ▶▶ P.43
  - 住所 ▶▶ P.44
  - 周辺検索 ▶▶ P.46
    - お好み変更 ▶▶ P.47
    - お好みアイコンリスト ▶▶ P.47
    - 自車周辺 ▶▶ P.46
    - 目的地周辺 ▶▶ P.47
    - 目的地周辺の駐車場 ▶▶ P.48
    - ルートサイド ▶▶ P.48
  - 電話番号 ▶▶ P.44
  - 自宅へ戻る ▶▶ P.46
  - 履歴 ▶▶ P.52
  - ジャンル ▶▶ P.45
  - 登録地 ▶▶ P.44
  - >
    - 登録ルート ▶▶ P.53
    - バックアップ登録地 ▶▶ P.53
    - 緯度・経度 ▶▶ P.53
    - マップコード ▶▶ P.53

●ルートメニュー

- ルート
  - ルート消去 ▶▶ P.60
  - 再探索 ▶▶ P.60
  - ガイド中断／ガイド再開 ▶▶ P.60
  - 迂回路探索 ▶▶ P.61
  - 有料優先で探索
  - 一般優先で探索
  - 距離優先で探索
  - <
    - ルート確認・登録
      - ルート情報 ▶▶ P.65
      - ルートシミュレーション ▶▶ P.65
      - 現在のルートを登録 ▶▶ P.66
      - 地図スクロール ▶▶ P.66
    - ルート編集 ▶▶ P.62
      - 行き先の追加・修正
      - 有料区間の修正 ▶▶ P.64
    - 有料（省エネ）で探索
    - 一般（省エネ）で探索

●音響設定メニュー


音響設定
▶▶ P.159
Balance/Fader
Virtual Stage Enhancer
グラフィックEQ
車速連動ボリューム
Sound Restorer
Volume Smoother
Virtual Bass
Loudness
Intelligent Tune
その他設定

●情報・設定メニュー

- 情報・設定
  - ナビ設定
    - 登録データの編集・消去
      - 自宅（未登録）／自宅 ▶▶ P.29
      - 登録地 ▶▶ P.141
      - 登録ルート ▶▶ P.143
      - 登録の消去 ▶▶ P.29、P.142、P.143
      - SDメモリーカードに登録地をバックアップ ▶▶ P.143
      - バックアップデータの取り込み ▶▶ P.143
      - SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集 ▶▶ P.144
      - SDメモリーカード内バックアップデータの消去 ▶▶ P.144
    - 目的地履歴の消去 ▶▶ P.52
      - 最近の行き先の全件消去
      - 最近の行き先の1件消去
      - 前回出発地の消去
    - 地図表示変更 ▶▶ P.36
      - 1画面
      - 2画面
      - ルート情報
      - 方位マーク
      - 上がる
      - 下がる
      - ハイウェイモード
      - 一方通行
      - 施設アイコン
      - VICS表示
      - その他
    - 施設アイコンの表示 ▶▶ P.145
    - 軌跡の設定 ▶▶ P.146
      - 軌跡の表示
      - 軌跡の間隔
      - 軌跡の消去
    - ルートガイドの設定 ▶▶ P.146
      - ガイド音量
      - ガイド・メッセージ音声
      - ルートガイド音声の詳細設定
      - 音声ガイド時にオーディオ音量を下げる
      - バラエティボイス
      - 拡大図設定
      - 到着予想時刻の表示切替
      - 誘導情報の割り込み表示
      - 到着予想時刻の速度設定
      - その他の設定

- 交通情報・VICSの設定 ▶▶ P.149
  - VICS表示の対象道路
  - 地図上のVICS表示設定
  - FM多重情報の受信地域選択
  - 受信情報の割り込み表示
  - 割り込み表示時間
  - 割り込み受信音
  - ETC2.0情報の自動音声読み上げ
  - ETC2.0アップリンク
- ルート探索条件の設定 ▶▶ P.150
  - 探索条件
  - ルートの学習
  - その他の条件
- その他の設定 ▶▶ P.152
  - 高速道路での逆走報知
  - SA/PA発進時の逆走注意喚起
  - 現在地名称プレート表示
  - スクロール地点情報表示
  - 現在地修正
  - センサーの学習リセット
  - 入力履歴の消去
  - 接続チェック
- ガイド音声・探索設定
  - ガイド音量 ▶▶ P.153
  - ガイド・メッセージ音声 ▶▶ P.153
  - 探索条件 ▶▶ P.150
  - ルートの学習 ▶▶ P.151
  - その他の条件 ▶▶ P.151
- FM VICS情報 ▶▶ P.75
  - 図形情報
  - 文字情報
  - 所要時間
  - 緊急情報

- GPS現在地情報 ▶▶ P.78
- メンテナンス ▶▶ P.78
  - 販売店情報
    - お店へ行く
    - 販売店登録
    - 名称
    - 電話番号
    - 担当者
    - 位置
  - 初期化
  - オイル関連
  - タイヤ関連
  - 消耗品
  - 点検・車検
  - 免許証・保険
  - オリジナル1 ～ 3
- ETC情報 ▶▶ P.76
  - 最新利用履歴の読み上げ ▶▶ P.76
  - 最新利用日履歴 ▶▶ P.77
  - 利用履歴 ▶▶ P.77
  - ETC設定 ▶▶ P.77
    - 音声ガイド
    - カード入れ忘れ警告
    - 本体ブザー音
    - アイコン表示
  - セットアップ情報 ▶▶ P.77
- ETC2.0情報 ▶▶ P.75
  - 図形情報
  - 文字情報
  - 緊急・注意警戒情報
  - 多目的情報
  - 電子標識情報
  - 安全運転支援情報
  - 長文読み上げ情報

●設定メニュー

- 設定
  - 明るさ調整 ▶▶ P.153
  - 音量調整 ▶▶ P.153
    - ガイド音量
    - ガイド・メッセージ音声
    - 着信音量
    - 受話音量
    - 送話音量
    - 操作音
    - Intelligent VOICE応答音量
  - Bluetooth設定 ▶▶ P.82
    - Bluetooth
    - 機器登録
    - 接続機器の選択
    - 車載機のBluetooth情報・変更
  - Wi-Fi設定 ▶▶ P.91
    - Wi-Fi
    - 機器登録
    - 接続機器の選択
    - 車載機のWi-Fi情報
  - 言語選択 ▶▶ P.154
    - Text
    - Voice
  - 時計画面表示 ▶▶ P.23
  - 画面消し ▶▶ P.23
  - 昼／夜 ▶▶ P.153
  - ＞
    - 本体情報 ▶▶ P.80
      - バージョン情報
      - 製品情報
      - 本体更新
    - Smart Access設定 ▶▶ P.154
      - お知らせ通知
      - キャッシュデータ消去
    - その他設定
      - 時計 ▶▶ P.23
      - 初期設定 ▶▶ P.157
      - 画面明るさ切替 ▶▶ P.157
      - 盗難防止設定 ▶▶ P.158
      - 販売店
      - スタートアップガイドを表示 ▶▶ P.157
      - 出荷状態に戻す ▶▶ P.222
    - オープニング画面 ▶▶ P.155
    - ショートカット設定 ▶▶ P.156
    - デザインテーマ ▶▶ P.155

●電話メニュー

- 電話
  - 短縮ダイヤル ▶▶ P.89
  - 発着信履歴 ▶▶ P.87
    - 着信履歴
    - 発信履歴
    - 不在着信履歴
  - ダイヤル入力 ▶▶ P.87
  - ハンズフリー電話帳 ▶▶ P.88
    - 電話帳ダウンロード
  - 販売店に電話する ▶▶ P.89
    - 電話をかける
  - 機器登録 ▶▶ P.83
  - 接続機器の選択 ▶▶ P.84
  - 電話設定 ▶▶ P.90
    - 電話音量調整
    - メモリ消去
    - 自動ダウンロード

●オーディオメニュー

- AVソース
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - Radio ▶▶ P.99
    - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
    - AM ▶▶ P.99
    - FM ▶▶ P.99
    - お出かけ ▶▶ P.100
    - オプション
      - 地域選択 ▶▶ P.101
      - オートストア ▶▶ P.100
    - 周波数切替 ▶▶ P.99
    - 音響設定 ▶▶ P.159
    - ソース選択 ▶▶ P.96
  - TV ▶▶ P.102
    - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
    - お出かけ ▶▶ P.105
    - オプション
      - オートストア ▶▶ P.105
      - 系列局サーチ ▶▶ P.103
      - 番組表 ▶▶ P.104
      - データ放送操作キー呼出 ▶▶ P.106
      - 番組内容 ▶▶ P.106
      - 設定 ▶▶ P.108
    - サービス切替 ▶▶ P.106
    - チャンネル切替 ▶▶ P.103
    - 音響設定 ▶▶ P.159
    - ソース選択 ▶▶ P.96
  - Music Catcher ▶▶ P.123
    - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
    - リピート ▶▶ P.126
    - ランダム ▶▶ P.126
    - リスト ▶▶ P.126
    - オプション
      - CD挿入時に自動録音 ▶▶ P.123
      - 曲を消去する ▶▶ P.128
      - 録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得 ▶▶ P.123
      - CDDBのバージョンを表示する ▶▶ P.123
      - 現在演奏中の曲情報を編集 ▶▶ P.127
      - アルバム情報の編集 ▶▶ P.127
      - SDメモリーカードからCDDBを更新 ▶▶ P.129
      - SDメモリーカードに未取得データを転送 ▶▶ P.129
      - センターに接続して未取得タイトルを取得 ▶▶ P.128
    - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.125
    - 再生／一時停止 ▶▶ P.125
    - 音響設定 ▶▶ P.159
    - ソース選択 ▶▶ P.96

※1：2-Zone時のみ

- Bluetooth Audio ▶▶ P.137
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - リピート ▶▶ P.138
  - シャッフル ▶▶ P.138
  - リスト ▶▶ P.138
  - 機器選択 ▶▶ P.139
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.138
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.138
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- DVD/CD(DVD) ▶▶ P.112
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - トップメニュー※4 ▶▶ P.114
  - メニュー※4 ▶▶ P.114
  - メニュー操作※4 ▶▶ P.114
  - 静止画切替※5 ▶▶ P.115
  - リピート ▶▶ P.114
  - オプション
    - 10キーダイレクト入力※4 ▶▶ P.116
    - 音声・字幕・アングル※4 ▶▶ P.116
    - 音声・字幕※5 ▶▶ P.116
    - 画質調整 ▶▶ P.116
    - 画面切替 ▶▶ P.117
    - 初期設定 ▶▶ P.118
    - プレイタイム常時表示 ▶▶ P.117
  - チャプター切替 ▶▶ P.114
  - 再生/停止/一時停止 ▶▶ P.113
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- DVD/CD(CD) ▶▶ P.120
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - REC ▶▶ P.124
    - 全曲録音
    - 現在の曲を録音
    - 曲を指定して録音
  - リピート ▶▶ P.121
  - ランダム ▶▶ P.121
  - リスト ▶▶ P.122
  - オプション ▶▶ P.122
    - CD挿入時に自動録音
    - 録音時にアルバム情報をオンラインで自動取得
    - CDDBのバージョンを表示する
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.121
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.121
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- DVD/CD(ディスク) ▶▶ P.120
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - << ▶▶ P.121
  - >> ▶▶ P.121
  - リピート ▶▶ P.121
  - ランダム ▶▶ P.121
  - リスト ▶▶ P.122
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.121
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.121
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96

※1：2-Zone時のみ
※2：オーディオのみ
※3：ビデオのみ
※4：DVDビデオ再生時のみ
※5：DVD-VR再生時のみ

- SD ▶▶ P.130
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - リピート ▶▶ P.132
  - ランダム ▶▶ P.132
  - リスト ▶▶ P.131
  - オプション
    - ビデオ再生に切替※2 ▶▶ P.130
    - オーディオ再生に切替※3 ▶▶ P.130
    - 画質調整※3 ▶▶ P.133
    - 画面切替※3 ▶▶ P.133
    - プレイタイム常時表示※3 ▶▶ P.133
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.131
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.131
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- USB/iPod(USB) ▶▶ P.130
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - リピート ▶▶ P.132
  - ランダム ▶▶ P.132
  - リスト ▶▶ P.131
  - オプション
    - ビデオ再生に切替※2 ▶▶ P.130
    - オーディオ再生に切替※3 ▶▶ P.130
    - 画質調整※3 ▶▶ P.133
    - 画面切替※3 ▶▶ P.133
    - プレイタイム常時表示※3 ▶▶ P.133
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.131
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.131
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- USB/iPod(iPod) ▶▶ P.134
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - リピート ▶▶ P.135
  - シャッフル ▶▶ P.135
  - リスト ▶▶ P.136
  - 曲切替/早戻し/早送り ▶▶ P.135
  - 再生／一時停止 ▶▶ P.135
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- HDMI ▶▶ P.167
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - オプション
  - 音響設定 ▶▶ P.159
  - ソース選択 ▶▶ P.96
- ＞
  - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
  - 交通情報 ▶▶ P.101
    - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
    - 1620kHz
    - 1629kHz
    - 解除
    - 音響設定 ▶▶ P.159
    - ソース選択 ▶▶ P.96
  - ドライブレコーダー ▶▶ P.167
    - Front/Rear※1 ▶▶ P.98
    - 音響設定 ▶▶ P.159
    - ソース選択 ▶▶ P.96
  - Audio OFF ▶▶ P.97
- 2-Zone ▶▶ P.98、P.170

※1：2-Zone時のみ
※2：オーディオのみ
※3：ビデオのみ

索引

あ

アイコン表示（ETC）…… 77
アルバム情報の更新…… 128
アルバム情報の編集…… 127
アングルの切り替え
（DVDビデオ）…… 116

い

行き先位置を修正…… 63
行き先追加…… 59
行き先の消去…… 63
行き先の並べ替え…… 63
一般道の方面看板表示…… 147
一方通行表示…… 38
緯度・経度検索…… 53

う

迂回路探索…… 61

お

オーディオON/OFF …… 97
オーディオエリア…… 18, 22
オーディオ表示画面の切り替え
…… 97
オートストア
テレビ…… 105
ラジオ…… 100
オートリルート…… 149
オープニング画面の設定… 155
お好みアイコンリスト検索
…… 47
お知らせ設定…… 78
音響設定…… 159
音声ガイド（ETC）…… 77
音声ガイド時にオーディオ音量
を下げる …… 146
音声言語の切り替え
DVDビデオ …… 116
テレビ…… 108
音声検索…… 50
音声の切り替え（DVD-VR）
…… 116
音量の調整
オーディオ・ビジュアル… 96
ガイド音量…… 146, 153
ガイド・メッセージ音声
…… 146, 154
受話音量…… 154
操作音ON/OFF …… 154
送話音量…… 154
着信音量…… 154

か

カード入れ忘れ警告（ETC）
…… 77
ガイド開始…… 55
ガイド中断…… 60
拡大図設定…… 147
確認コード…… 80
画質の調整
DVD-VR …… 116
DVDビデオ …… 116
HDMI …… 169
SDカード …… 133
USBメモリー…… 133
テレビ…… 110
ドライブレコーダー…… 169
ナビゲーション画面…… 153
マルチアラウンドモニター
…… 176
リアカメラ…… 173
画面ON/OFF …… 23
画面明るさ切替…… 157
画面サイズの切り替え
DVD-VR …… 117
DVDビデオ …… 117
HDMI …… 168
SDカード …… 133
USBメモリー…… 133
ドライブレコーダー…… 168
カントリーコード…… 120
簡略図…… 69

き

キーワード入力検索…… 46
軌跡の間隔…… 146
軌跡の消去…… 146
軌跡の表示…… 146
緊急放送…… 108
均等4分割画面 …… 18

く

区間設定…… 64
グラフィックEQ …… 161

け

経由地の追加…… 62
系列局サーチ…… 103
言語の選択…… 154
現在地ボタン…… 32
現在地名称表示…… 32
現在地名称プレート表示… 152
現在地メニュー…… 33
現在のルートを登録…… 66
検索結果画面…… 55
検索地点の位置修正…… 56
検索地点の登録…… 56
検索地点をルートに追加… 56

こ

交差点ガイド設定…… 147
交差点手前の案内表示…… 68
後席用モニター…… 169
高速道路での逆走報知…… 152
高速道路の案内表示…… 68
交通情報…… 101
交通情報・VICSの設定 … 149

さ

細街路案内…… 69
再探索…… 60
サブチャンネル…… 106

し

時間規制道路…… 151
自車位置の修正…… 152
自車位置の精度…… 182
自車位置マーク…… 32, 39
自車周辺検索…… 46
施設アイコンの表示…… 145
施設情報…… 56

施設名称入力検索…… 43
自宅に戻る…… 46
自宅の登録…… 29
自宅の編集…… 29
自動応答保留…… 90
自動で選局
テレビ……103
ラジオ…… 99
字幕言語の切り替え
（DVDビデオ） ……116
字幕表示の切り替え
DVD-VR ……116
テレビ……109
車種選択……158
車速連動ボリューム……159
シャッフル再生
Bluetoothオーディオ……138
iPodミュージック ……135
ジャンル検索…… 45
住所検索…… 44
周辺駐車場検索
検索地点周辺…… 56
自車位置周辺…… 47
スクロール先周辺…… 53
目的地周辺…… 48
受信情報の割り込み表示…149
出荷状態に戻す……222
手動で選局…… 99
手動で放送局登録
テレビ……106
ラジオ……100
省エネルートを考慮……152
状態表示
DVD-VR ……117
DVDビデオ ……117
SDカード ……133
USBメモリー……133
ショートカット設定……156
初期設定……157

す

スクロール検索…… 43
スクロール先周辺検索…… 52
スクロール地点情報表示…152
スタートアップガイド…… 17
ステアリングホイールオーディオ
リモコンスイッチ ……166
スマートICを考慮 ……151
スマートフォンと連携…… 93
スロー再生……114
スワイプ…… 25

せ

静止画の切り替え（DVD-VR）
……115
接続切り替え
Bluetooth対応機器…… 84
Wi-Fi対応機器 …… 92
接続チェック……152
設定情報の初期化（テレビ）
……111
全画面表示…… 18
全画面優先モード…… 21
センサーの学習リセット…152

そ

操作パネル…… 14
操作パネルの開閉…… 17
ソース選択画面表示…… 96

た

タップ…… 20
探索条件…… 58, 61, 150
短縮ダイヤルの消去…… 91
短縮ダイヤルの登録…… 89
短縮ダイヤルの編集…… 90

ち

遅延補正……112
地図上のVICS表示設定 …149
地図色…… 39
地図の拡大／縮小…… 33
地図のスクロール…… 34
地図の表示変更…… 36
地図の向き…… 34
地図文字サイズ…… 39
地点の登録…… 56
地名入力検索…… 44
着信音…… 90
チャンネル番号……104

つ

通過交差点の情報表示……147
ツールエリア…… 18, 22
通話音量…… 90

て

データの書き出し
登録地点……143
データの取り込み
オープニング画面……145
登録地点……143
バラエティボイス……144
データ放送……106
デザインテーマ……155
デバイスID表示 ……111
デバイス名変更…… 85
テレビ……102
テレビの設定……108
電源ON/OFF …… 17
電話受信…… 87
電話の設定…… 90
電話発信
施設情報…… 89
短縮ダイヤル…… 90
電話番号…… 87
発着信履歴…… 87
ハンズフリー電話帳…… 89
販売店情報…… 89
電話番号入力検索…… 44

と

冬季通行止め……151
統計交通情報を考慮……151
到着予想時刻の速度設定…148
到着予想時刻の表示切替…147
盗難防止……158
盗難防止イルミ……158
盗難防止の暗証番号変更…158
登録消去
Bluetooth対応機器…… 85
Wi-Fi対応機器 …… 92
登録地点の位置修正……142
登録地点の消去……142
登録地点の並べ替え……141
登録地点の編集……142
登録地リスト検索…… 44
登録ルート検索…… 53
登録ルートの消去……143
登録ルートの編集……143
時計画面表示…… 23
時計表示設定…… 23
友達マップ…… 35

ドライブレコーダー…… 167
ドラッグ…… 19
トラック情報の編集…… 127

な

ナビエリア…… 18, 22

に

二重音声の切り替え（テレビ）
…… 109

は

ハイウェイモードの自動表示
…… 36
パスキー変更…… 85
バックアップ登録地…… 53
発着信履歴の消去…… 91
バラエティボイスの設定… 148
パレンタルレベル
視聴制限…… 119
パスワードの設定…… 119
番組内容…… 106
番組表…… 104
ハンズフリー電話帳登録… 88
ハンズフリー電話帳の消去
…… 91
販売店情報…… 79

ひ

昼画面…… 153
ピンチアウト…… 25
ピンチイン…… 25

ふ

フェリー航路を使う…… 151
プリセットチャンネル
テレビ…… 104
ラジオ…… 100
フリック…… 25

へ

ペアリング…… 83

ほ

放送局自動サーチ設定…… 109
放送局の自動切り替え（テレビ）
…… 109
本体情報…… 80
本体ブザー音（ETC）…… 77

ま

マップコード検索…… 53
マルチアラウンドモニター
…… 175
マルチメーター情報…… 80

め

メインチャンネル…… 106
メインメニュー画面…… 22
メディアの出し入れ…… 95
メニューから再生…… 114
メモリ全消去…… 91
メンテナンス情報…… 78

も

目的地検索…… 42
目的地周辺検索…… 47
目的地方向表示…… 39
目的地履歴の消去…… 52
モニターサイズの設定…… 118

ゆ

優先エリアの切り替え（テレビ）
…… 110
優先言語の設定（DVDビデオ）
…… 118
誘導情報の割り込み表示… 147
有料区間の修正…… 64
有料道路の出入口選択…… 59

よ

夜画面…… 153

ら

ラジオ…… 99
ラジオの設定…… 101
ランダム再生
AAC …… 121
CD …… 121
MP3 …… 121
Music Catcher …… 126
SDカード …… 132
USBメモリー…… 132
WMA …… 121

り

リアカメラ…… 172
リアルタイム交通情報を考慮
…… 151
リストから再生
AAC …… 122
Bluetoothオーディオ …… 138
CD …… 122
DVD-VR …… 115
iPodミュージック …… 136
MP3 …… 122
Music Catcher …… 126
SDカード …… 131
USBメモリー…… 131
WMA …… 122
リストから選局
テレビ…… 104
ラジオ…… 99
リピート再生
AAC …… 121
Bluetoothオーディオ …… 138
CD …… 121
DVD-VR …… 114
DVDビデオ …… 114
iPodミュージック …… 135
MP3 …… 121
Music Catcher …… 126
SDカード …… 132
USBメモリー…… 132
WMA …… 121
リモコン…… 163
履歴検索…… 52

る

ルートガイド音声の詳細設定
…… 146
ルートガイド中の案内表示
…… 68
ルートガイド中の音声案内
…… 70
ルートガイド中の地図画面
…… 67
ルートサイド検索…… 48
ルートシミュレーション… 65
ルート消去…… 60

ルート上の地図スクロール …… 66
ルート情報…… 65
ルート情報モード
一般道路…… 37
高速道路…… 37
ルートの学習…… 151
ルートの登録…… 66

ろ

ローカル検索…… 49
録音する…… 124
録音の設定…… 122, 123

わ

割り込み受信音…… 150
割り込み表示時間…… 149

A

AAC …… 120, 210
APPエリア…… 18, 22
AVI …… 214

B

Balance…… 160
Bluetooth…… 82
Bluetoothオーディオ…… 137
Bluetooth機能ON/OFF …… 84

C

CD …… 120

D

Door to Doorナビゲーション …… 50
DVD-VR …… 112
DVDビデオ …… 112

E

ETC2.0情報の
自動音声読み上げ …… 150
ETC警告表示…… 76
ETC最新利用履歴の読み上げ …… 76
ETC情報…… 76
ETC設定…… 77
ETC料金表示…… 76
ETC履歴表示…… 77
ETCレーンガイドでの案内表示 …… 69

F

Fader …… 160
FLAC …… 210
FLV …… 214
FM/AMの切り替え …… 99
FM VICS情報 …… 75
FM多重情報の受信地域選択 …… 149

G

GPS現在地情報…… 78

H

HDMI …… 167

I

Intelligent Tune …… 162
Intelligent VOICE …… 50
iPodミュージック …… 134

L

Loudness …… 159

M

MP3 …… 120, 210
MP4 …… 214
MPEG4 …… 214
MPG …… 214
Music Catcher …… 123

N

NaviCon …… 54

O

OPTIONボタン …… 162

Q

Quad View画面 …… 18
Quad View画面優先モード …… 20

S

SA/PA図 …… 38
SA/PA発進時の逆走注意喚起 …… 152
SDカード
オーディオ…… 130
データ編集…… 143
ビデオ…… 130
Smart Access 4Car …… 93
Smart Access設定 …… 154
Sound Restorer …… 159

U

USBメモリー
オーディオ…… 130
ビデオ…… 130

V

VICS情報 …… 73
VICS表示の対象道路 …… 149
Virtual Bass…… 159
Virtual Stage Enhancer …… 160
VISMASTER …… 129
Vocal Image Control …… 160
Volume Smoother …… 161

W

WAV …… 210
Wi-Fi …… 91
WMA…… 120, 210
WMV…… 214

数字

1画面表示 …… 36
1セグ／12セグの切り替え …… 108
2-Zone …… 98, 170
2画面表示 …… 36
3D地図の角度調整 …… 37
3D地図表示 …… 34
4分割画面 …… 18
10キーダイレクト再生 …… 116

Memo

Memo

地図に表示される色やマーク

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

- 山岳
- ゴルフ場・ゴルフ練習場
- 海水浴場・湖水浴場
- 空港・飛行場
- 公園・緑地
- 支庁・都道府県庁
- 区役所・市役所
- 町村役場・東京以外の区役所
- 警察本部・警察署
- 建設公共事業事務所・その他地方自治体の機関・その他国の機関
- 裁判所
- 税務署
- 森林管理署
- 交番・駐在所
- 消防庁・消防本部・消防署
- 保健所・健康相談施設・社会福祉事務所
- 郵便局
- 地方銀行
- 自衛隊関連施設
- 工場
- 発電所・変電所
- 大学院・大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 高等学校
- 中学校
- 小学校
- 幼稚園
- 養護学校・ろう・盲学校
- 病院・医院
- 神社
- 仏閣
- 展望台・タワー
- 灯台
- 城跡
- 名所・観光地・墓・古墳
- 温泉地
- 重要港
- 老人ホーム
- 交差点
- インターチェンジ・出入口（IC）
- サービスエリア（SA）
- パーキングエリア（PA）
- インターチェンジ・出入口（出入口）
- インターチェンジ・出入口（出口）
- 料金所
- 冬季通行止め
- 遊覧船発着場・フェリーターミナル
- ホテル・旅館
- 駐車場
- 道の駅
- 各種資料館・博物館・美術館
- 卸売り市場
- カー用品店
- 教会
- スキー場
- キャンプ場
- 動物園
- 植物園
- スタジアム・野球場
- 水族館
- 図書館
- 霊園・墓地
- 遊園地（テーマパーク）
- 遊園地（テーマパーク）ゲート
- テニス場・その他総合運動施設
- 文化施設
- JA

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

一般地図凡例

	高速道・有料道（青）		モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ（濃いグレー）
	国道（赤）		
	主要地方道・都道府県道（茶）		国境線、都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	一般道・細街路（薄いグレー）		
	JR・私鉄・地下鉄（地上）路線		

市街地図凡例

	歩道（グレー）		一方通行
	有料道路（紫）		

SA/PA図

ATM	コインランドリー	公衆電話
授乳室	駐車場	トイレ
コイン洗車機	郵便ポスト	自動販売機
その他施設	レストラン	情報元のクレジットカード情報
FAX	休憩所	情報元の営業時間
飲食店	ショッピングコーナー	情報元の電話番号
ガソリンスタンド	コインシャワー	特徴情報
宿泊施設	スナックコーナー	イベント情報
ハイウェイ情報ターミナル	温泉、お風呂	
インフォメーション	ショップ	

VICS情報マーク

交通障害情報

事故　障害物・路上障害　工事　故障車　作業　凍結　行事等

交通規制情報

通行止・閉鎖　速度規制　車線規制　入口制限　徐行　進入禁止

片側交互通行　対面通行　入口閉鎖　大型通行止め　チェーン規制

駐車場情報、SA/PA情報

満車（赤）　混雑（黄）　空車（青）　閉鎖　不明（黒）

臨時駐車場情報

満車（赤）　混雑（黄）　空車（青）　閉鎖　不明（黒）

気象・災害エリア情報

気象警報速報　災害速報　特別警報　緊急情報

本製品にはシリアルNo.ラベルが同梱されております。
シリアルNo.ラベルはお客様所有の製品であることを速やかに
判別するために、本体と同じシリアルNo.が記載されています。

ここに貼ってください

● お問い合わせの際には、品番、シリアルNo.を
確認させていただきます。

お問い合わせはフォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社「お客様相談室」へ

フリーダイヤル 0120-112-140

受付時間 9:30〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

保証書で **お買い上げ日、販売店名、製品型名** をご確認頂くと、スムーズな応対ができます。

フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

Clarion ホームページ **https://www.clarion.com**

280-9486-40

QY-9000M

Printed in Japan 2022/12